オンラインユーザーズガイド

RJ-3150
RJ-3050

ご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

本書はお読みになったあとも、いつでも手にとって参照できるようにしてください。

Version 0

JPN

はじめに

重要なお知らせ

- 本書の内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更されることがあります。
- ブラザー工業株式会社は、本書に記載されている仕様および内容を予告なく変更する権利を保有し、誤植やその他の出版関連の誤りを含む (ただし必ずしもこれに限定されない) 記載内容によって生じた、いかなる損害 (間接損害を含む) についても責任は負いません。
- 本書に掲載されている画面イメージは、お使いのパソコンのオペレーティングシステムによって異なる場合があります。
- 安全に正しくお使いいただけるよう、ご使用になる前に必ず本機に付属されているすべての文書をお読みください。
- 本書に掲載のイラストや画面は、RJ-3150 のものを使用していていますが、必要に応じて RJ-3050 ものも使用しています。

本書で使用されている記号

本書では、以下の記号を使用しています。

警告	この記号は、傷害を負う可能性のある危険を避ける方法を表しています。
注意	この記号は、軽傷あるいは本機の故障を避けるために従っていただく手順を表しています。
重要	この記号は、従っていただく情報や手順を表しています。もし手順に従っていただけない場合は、故障や誤動作の原因となる場合があります。
メモ	この記号は、本機をよりよく知っていただくための情報や手順、または機能的に使用していただくための情報や手順を表しています。

登録商標について

BROTHER は、ブラザー工業株式会社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows Vista、Windows Server、Windows は、Microsoft Corp. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Android は、Google Inc. の商標です。

Google Play は、Google Inc. の商標です。

Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、ブラザー工業はライセンスに基づき使用しています。

Blue SDK
Copyright © Extended Systems, Inc., 2000-2005.
Portions copyright © iAnywhere Solutions, Inc., 2005-2013. All rights reserved.

本書に記載されているその他のソフトウェアや製品の名称は、開発した各社の商標または登録商標です。

Wi-Fi および Wi-Fi Alliance は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

Wi-Fi Protected Setup、WPA、および WPA2 は Wi-Fi Alliance の商標です。

本書に記載されているその他のソフトウェアや製品の名称は、開発した各社の商標または登録商標です。

本書にソフトウェア名称が記載されている各社は、財産権の対象となるプログラムのソフトウェア利用許諾契約を所有しています。

ブラザー製品および関連文書等に記載されている会社の商標名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 弊社サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (http://support.brother.co.jp/) にアクセスし、モデルページの [**製品マニュアル**] をクリックして他のマニュアルもダウンロードしてください。
- 本製品は購入した国での使用に限り承認されています。本製品は購入した国以外では使用しないでください。その国の無線通信や電力規則に違反する場合があります。
- 本書の Windows Vista® はすべてのバージョンの Windows Vista® を表します。
- 本書の Windows® 7 はすべてのバージョンの Windows® 7 を表します。
- 本書の Windows® 8 はすべてのバージョンの Windows® 8 を表します。
- 本書の Windows® 8.1 はすべてのバージョンの Windows® 8.1 を表します。
- 本書のWindows Server® 2008はすべてのバージョンのWindows Server® 2008とWindows Server® 2008 R2 を表します。
- 本書のWindows Server® 2012はすべてのバージョンのWindows Server® 2012とWindows Server® 2012 R2 を表します。
- すべての国ですべてのモデルが利用できるわけではありません。

© 2014 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

目次

第 I 編　　基本操作

1　プリンターを設定する　2

各部の名称 2
Li-ion 充電池を使用する 4
　Li-ion 充電池を装着する 4
　Li-ion 充電池を取り外す 4
Li-ion 充電池を充電する 5
　本機に装着した充電池 5
　AC アダプター（別売品）で接続する 6
　カーアダプター（別売品) で接続する 7
　Li-ion 充電池専用充電器（別売品）を使用する 7
　本体用充電台（別売品）を使用する 7
　Li-ion 充電池の充電を中止する 7
　Li-ion 充電池の使用について 8
　ボタン電池を装着する（RJ-3150 のみ） 9
本機の電源を ON/OFF する 10
用紙をセットする 10
　RJ-3150 でハクリユニットを使用しない場合、または RJ-3050 を使用する場合 11
　用紙をカットする 13
　ハクリユニットを使用する場合（RJ-3150 のみ） 13
　プリンタードライバーの設定 16
　印刷の後に 17
用紙を取り外す 18
ベルトクリップを取付ける 20
プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする 21
　無線ネットワークで本機を接続する前に 21
プリンタードライバーをアンインストールする 22
本機とコンピューターを接続する 24
　USB ケーブルで接続する 24
　Bluetooth で接続する 25
　Wi-Fi で接続する 26
LCD について（RJ-3150 のみ） 27
　画面 27
　LCD を設定する 28

2 プリンターを使用する 39

操作パネル 39
ボタンの機能 40
表示ランプ 42
印刷ソリューション 43
コンピューターやモバイル機器から印刷する 43
印刷濃度を設定する 44
プリンタードライバーのオプション 45
本機に保存したラベルを印刷する（RJ-3150 のみ） 45
テンプレートモードを構成する 45
本機の操作パネルを使用して印刷する 45
バーコードリーダーを使用して印刷する 47
本機のラベルレイアウト（削除とログ）（RJ-3150 のみ） 48

3 プリンター設定ツール 49

プリンター設定ツールについて 49
プリンター設定ツールをお使いになる前に 49
プリンター設定ツールを使用する 50
通信設定 52
設定ダイアログボックス 52
メニューバー 54
全般タブ 57
無線 LAN タブ 59
Wireless Direct タブ 63
Bluetooth タブ 64
複数台のプリンターに同様の設定内容を適用する 65
本体設定 66
メニューバー 68
各設定タブ 70
画像の登録（RJ-3150 のみ） 78
メイン画面 78
編集画面 79
P-touch Template 設定 81
P-touch Template について 81
P-touch Template 設定ダイアログボックス 82
用紙サイズ設定 84
用紙サイズ設定ダイアログボックス 84
用紙の形式を配布する 89

4 その他の機能 90

マスストレージ機能 90
内容 90
マスストレージ機能を使用する 90
JPEG 印刷について 91

5 P-touch Template を使用してラベルを印刷する（RJ-3150 のみ） 92

P-touch Template 機能 92
事前準備 93
P-touch Template 設定ツールで設定する 93
バーコードリーダーを接続する 94
定型テンプレート印刷機能 95
バーコード作成（コピー）印刷機能 97
データベース置換印刷機能 99
ナンバリング（連番）印刷機能 102
テキストラベルの場合 102
バーコードラベルの場合 105

6 お手入れ 108

プリントヘッドのお手入れ 108
ローラーのお手入れ 109
用紙排出口のお手入れ 110
ハクリユニットのお手入れ（RJ-3150 のみ） 111

7 付録 112

LED 表示ランプ 112
表示ランプの警告 114
本体設定情報の印刷 115
P-touch Template 機能の基本的な設定の流れ 116
設定用バーコード一覧 117

8 困ったときは 120

概要 120

9 仕様 126

製品仕様 126

第 II 編　ソフトウェア

10　ラベル作成ソフトウェア P-touch Editor 5.1 の使用方法　129

ラベル作成ソフトウェア P-touch Editor 5.1 を使用する 129
P-touch Editor を使用する 129
テンプレート作成について 133
テンプレートの作成 133
データベースとテンプレートをリンクする 137

11　P-touch Transfer Manager と P-touch Library の使用方法　139

P-touch Transfer Manager を使用する 140
ラベルテンプレートを P-touch Transfer Manager に転送する 140
USB を使用してコンピューターからプリンターへテンプレートやその他のデータを転送する 143
プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータをバックアップする 148
プリンター内のすべてのデータを削除する 149
P-touch Library を使用する 150
P-touch Library を起動する 150
テンプレートを開いて編集する 151
テンプレートを印刷する 152
テンプレートやその他のデータを検索する 152

12　P-touch Transfer Express でラベルテンプレートを転送する　154

P-touch Transfer Express を準備する 154
ラベルテンプレートを P-touch Transfer Manager に転送する 155
ラベルテンプレートを Transfer Package ファイル（.pdz）として保存する 156
Transfer Package ファイル（.pdz）と P-touch Transfer Express を利用者に配布する 158
Transfer Package ファイル（.pdz）を プリンターに転送する 159

13　P-touch Update Software を使用する　162

P-touch Editor をアップデートする 162
ファームウェアをアップデートする 164

第 III 編　無線ネットワーク

14　はじめに　167

ネットワーク機能 167

15　プリンターのネットワーク設定を変更する　168

プリンターのネットワーク設定（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ）を変更する 168
BRAdmin Light ユーティリティを使用する 168
その他の管理ユーティリティ 170
ウェブブラウザー（Web Based Management）を使用する 170
BRAdmin Professional ユーティリティを使用する 170

16　無線 LAN を設定する　171

プリンター独自の機能を使用する（RJ-3150 のみ）....171
無線 LAN 接続を確立する 171
ネットワーク設定を表示する 171
WPS を使用して無線 LAN 接続を確立する 171

17　ウェブブラウザー（Web Based Management）で管理する　172

概要 172
ウェブブラウザーを使用して本機を設定する 173

18　困ったときは　174

概要 174
問題を特定する 174

19　付録 A　179

サポートされるプロトコルとセキュリティ機能 179

20　付録 B　180

ネットワーク接続およびプロトコルの種類 180
ネットワーク接続方法について 180
ネットワークの設定について 182
IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイについて 182
無線ネットワークの用語と概念 184
セキュリティ用語 184

第 I 編

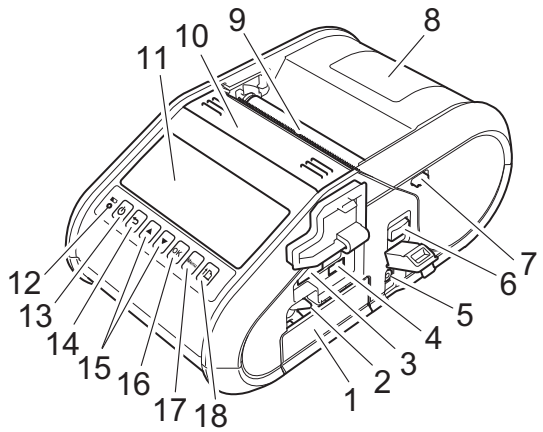
基本操作

プリンターを設定する 2
プリンターを使用する 39
プリンター設定ツール 49
その他の機能 90
P-touch Template を使用してラベルを印刷する（**RJ-3150** のみ） 92
お手入れ 108
付録 112
困ったときは 120
仕様 126

1 プリンターを設定する

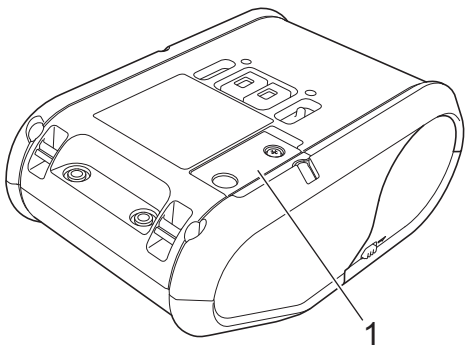
各部の名称

前面（RJ-3150）



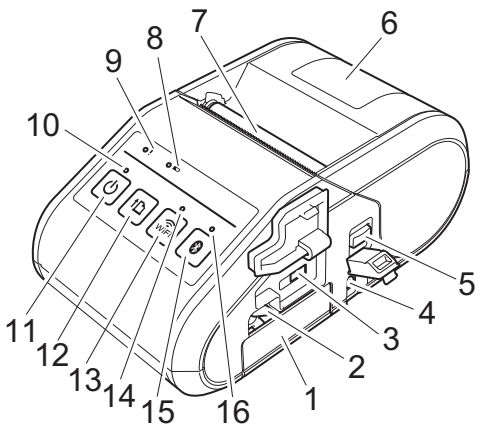
1 充電池収納スペース
2 充電池ロック
3 USB ホストポート
4 ミニ USB ポート
5 DC コネクタ
6 カバーオープンレバー
7 ハクリロック
8 ロール紙カバー
9 用紙排出口
10 ハクリユニット
11 LCD
12 充電表示ランプ
13 電源ボタン（⏻）
（本機の電源 ON/OFF に使用）
14 戻るボタン（⮌）
15 カーソルボタン（▲上 /▼下）
16 OK ボタン
17 メニューボタン
18 フィードボタン（⮉）(用紙の頭出し、本体設定情報の印刷に使用)

背面（RJ-3150）



1 充電池カバー（ボタン電池用）

前面（RJ-3050）

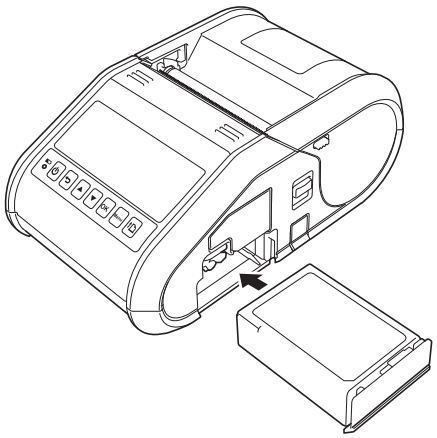


1 充電池収納スペース
2 充電池ロック
3 ミニ USB ポート
4 DC コネクタ
5 カバーオープンレバー
6 ロール紙カバー
7 用紙排出口
8 充電表示ランプ
9 状態表示ランプ（STATUS）
10 電源表示ランプ（POWER）
11 電源ボタン（⏻）（本機の電源 ON/OFF に使用）
12 フィードボタン（）(用紙の頭出し、本体設定情報の印刷に使用)
13 Wi-Fi ボタン（WiFi）（無線機器、無線 LAN アクセスポイント / ルーターとの通信に使用）
14 Wi-Fi 表示ランプ
15 (Bluetooth) ボタン（Bluetooth 機能搭載のコンピューター、アダプターとの通信に使用）
16 Bluetooth 表示ランプ

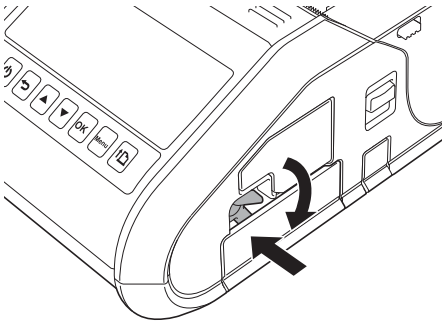
Li-ion 充電池を使用する

Li-ion 充電池を装着する

1. 充電池ロックを確実に持ち上げます。次に充電池カバーを取り外さずに充電池を充電池収納スペースにはめ込みます。充電池のターミナル端子は内側に向けてください。



2. 充電池を挿入し、充電池カバーを軽く押しながら、カチッと音がして充電池が固定するまで充電池ロックを下げます。



Li-ion 充電池を取り外す

充電池を軽く押しながら、充電池ロックを持ち上げてロックを解除し、充電池を取り外します。

Li-ion 充電池を充電する

本機に装着した充電池

充電池は、本機に装着している間に充電できます。

次の手順に従って、充電池を充電してください。

メモ

- 充電池を使用する前に、次の手順に従って充電してください。
- 新しい充電池はフル充電してください。最初の充電には約 3 時間かかります。
- 印刷速度は、電池の電圧によって異なります。

1. Li-ion 充電池が本機に装着されていることを確認します。
2. AC アダプターと電源コードを使用して、本機を電源コンセントに接続します（「AC アダプター（別売品）で接続する」（6 ページ）をご覧ください）。またはカーアダプターを使用して、本機を電源コンセントに接続します（「カーアダプター（別売品) で接続する」（7 ページ）をご覧ください）。

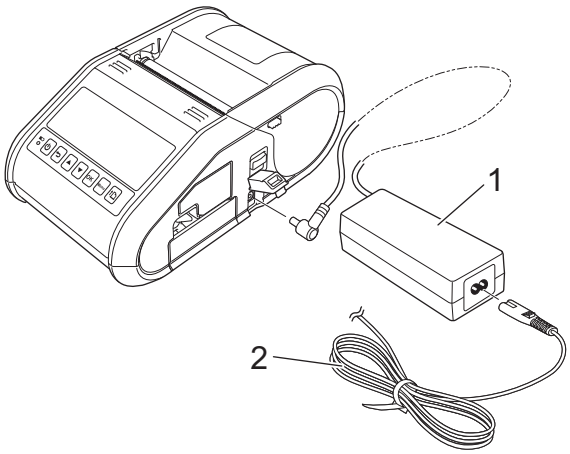
メモ

充電中は、充電表示ランプがオレンジ色に点灯します。充電が完了すると、充電表示ランプが消灯します。DC コネクタから、AC アダプターまたはカーアダプターを取り外してください。

AC アダプター（別売品）で接続する

本機を電源コンセントに接続して、充電池を充電します。

1. AC アダプターに本機を接続します。
2. 電源コードを AC アダプターに接続します。
3. 電源コードを近くの電源コンセントに接続します（AC100V ～ 240V、50 ～ 60Hz）。



1 AC アダプター

2 電源コード

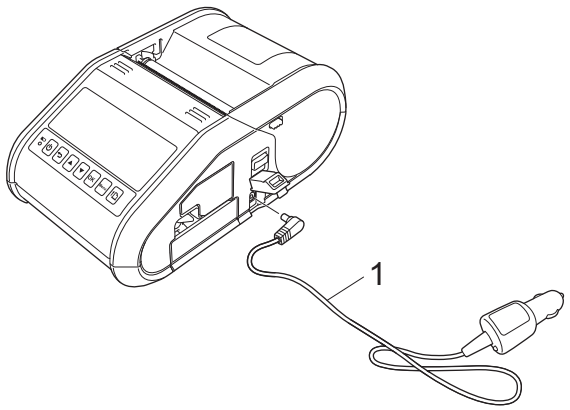
メモ

電源コードと AC アダプターは、別売品です。ご購入の際は、本機を使用する地域に適したアダプターと電源コードをお求めください。

カーアダプター（別売品）で接続する

本機を車の 12V 電源コンセント（シガーソケットライター部など）に接続して、充電池を充電します。

1. カーアダプターを車の 12V 電源コンセントに接続します。
2. カーアダプターを本機に接続します。



1 カーアダプター

メモ

カーアダプターは、別売品です。

Li-ion 充電池専用充電器（別売品）を使用する

Li-ion 充電池は、Li-ion 充電池専用充電器（PA-BC-001）で充電できます。

電源コンセントを使用する場合、最大 4 台の Li-ion 充電池専用充電器を接続して同時に充電できます。

詳しくは、Li-ion 充電池専用充電器に付属の取扱説明書をご覧ください。

本体用充電台（別売品）を使用する

本機に Li-ion 充電池を装着して専用の本体用充電台（PA-CR-001）に置き、電源コードを接続することで、Li-ion 充電池を充電できます。

電源コンセントを使用する場合、AC アダプター 1 つで最大 4 つの本体用充電台を接続して同時に充電できます。

詳しくは、本体用充電台に付属の取扱説明書をご覧ください。

Li-ion 充電池の充電を中止する

Li-ion 充電池の充電を中止するには、電源コードまたはカーアダプターを DC コネクタから取り外してください。

Li-ion 充電池の使用について

- ご使用の前に、Li-ion 充電池をフル充電してください。充電する前に使用しないでください。
- 濃度設定が濃い印刷の場合、濃度が薄い印刷と比較して、Li-ion 充電池が早く放電します。プリンタードライバーのダイアログボックスまたは本体設定で、印刷濃度を調整してください（「本体設定」(66 ページ)をご覧ください)。
- Li-ion 充電池の充電は、0 ℃～ 40 ℃の環境で行うことができます。この温度内で充電するようにしてください。範囲外の温度では、Li-ion 充電池は充電されず、充電ランプは点灯したままになります。
- 本機に Li-ion 充電池と AC アダプターまたはカーアダプターの両方が接続されている場合、Li-ion 充電池が満充電でなくてもバッテリーランプが消灯し、充電が停止する場合があります。

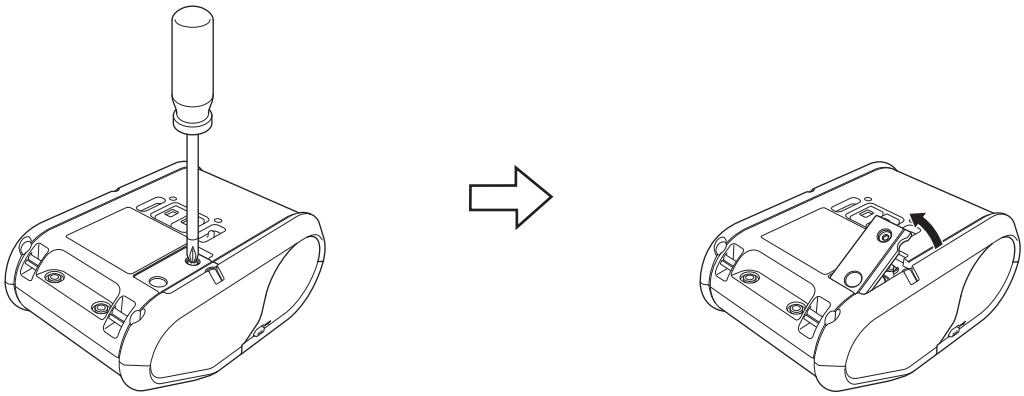
Li-ion 充電池の特徴

Li-ion 充電池の特性を理解すれば、充電池を適正に使用することができます。

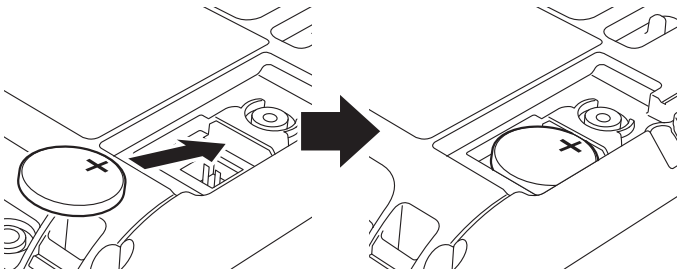
- 高温または低温の場所での使用や保管は、Li-ion 充電池の劣化を早める可能性があります。
  特に、高温の場所で充電率が高い状態（90% 以上）で使用すると、電池の劣化が大幅に早まります。
- 充電中は、印刷しないでください。印刷中は、本機のプラグを取り外してください。
- Li-ion 充電池を本機に保管しないでください。
- Li-ion 充電池は、50% 以下に充電し、直射日光が当たらない涼しく乾燥した場所で保管してください。
- 長期間使用しない場合でも、6ヶ月に一度、充電することをお勧めします。
- その他の注意事項については、Li-ion 充電池に付属の取扱説明書をご覧ください。

ボタン電池を装着する（RJ-3150 のみ）

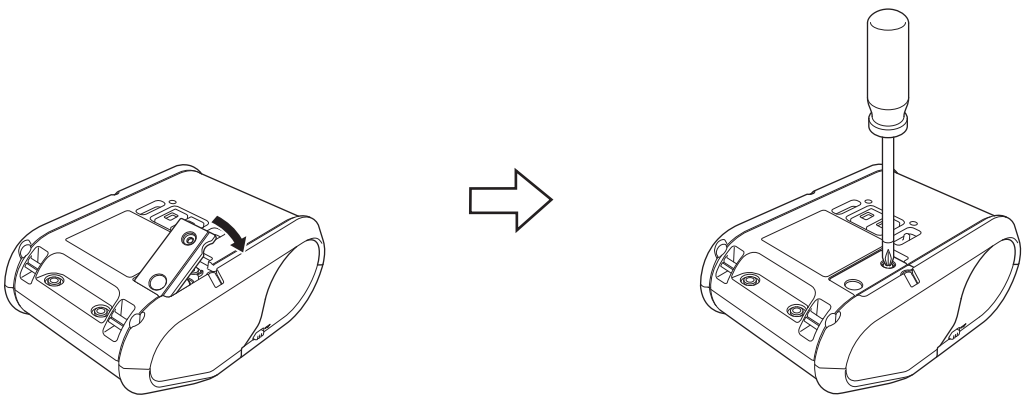
1. プラスドライバーでねじを緩め、充電池カバーを開けます。



2. 付属の充電池を収納スペースに挿入し、電池が水平で、プラス極が上になっていることを確認します。



3. プラスドライバーでねじを締め、充電池カバーを閉じます。



本機の電源を ON/OFF する

	オン（以下の状態になるまで、電源（⏻）ボタンを長押しします。	オフ（以下の状態になるまで、電源（⏻）ボタンを長押しします。
RJ-3150	LCD がオンになる	“ 電源オフ ” と LCD に表示される
RJ-3050	電源表示ランプが緑色に点灯	状態表示ランプが赤色に点灯

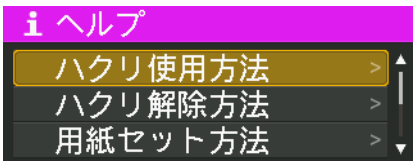
メモ

本機の電源をオフにする場合、RJ-3150 では LCD が消灯するまで、RJ-3050 では状態表示ランプが消灯するまで充電池を取り外さないでください。

用紙をセットする

メモ

- RJ-3150 では、給紙方法が図で表示されます。ロール紙カバーを開き、[Menu] ボタンを押します。

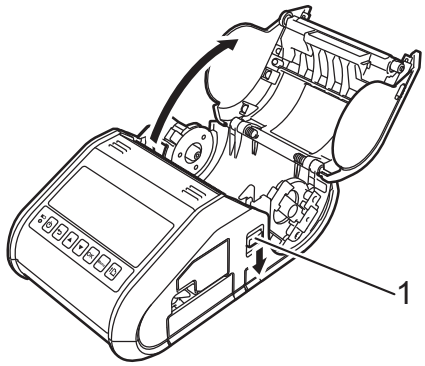


- RJ-3150 には、印刷後にラベルから剥離紙を自動的に剥がすハクリユニットとセンサーが搭載されています。

  ハクリユニットの使用について、詳しくは「ハクリユニットを使用する場合（RJ-3150 のみ）」（13 ページ）をご覧ください。

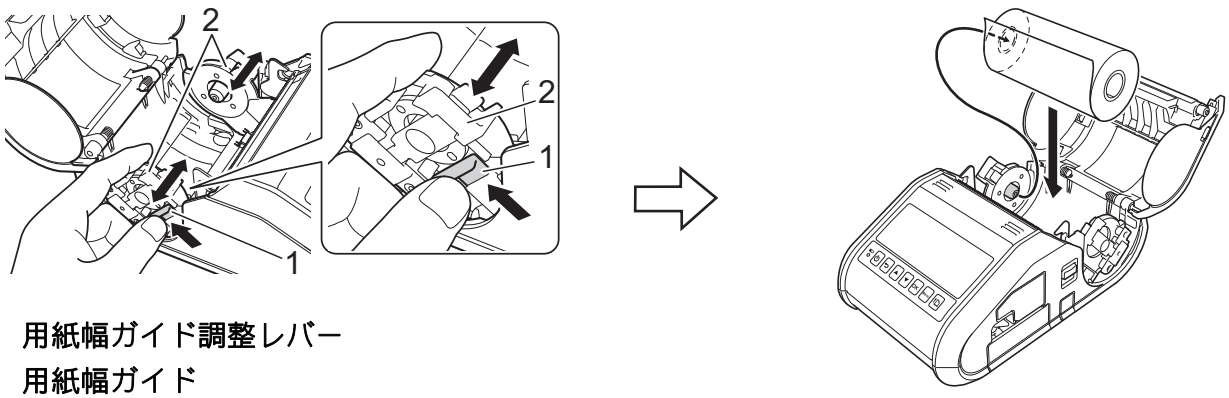
RJ-3150 でハクリユニットを使用しない場合、または RJ-3050 を使用する場合

1 カバーオープンレバーを押して、ロール紙カバーを開けます。



1 カバーオープンレバー

2 用紙幅ガイド調整レバー (1) を持ち上げて用紙幅ガイドを外側に引き、用紙幅ガイドを開きます。図のように、紙が下から供給されるように用紙をロール紙収納スペースにセットします。

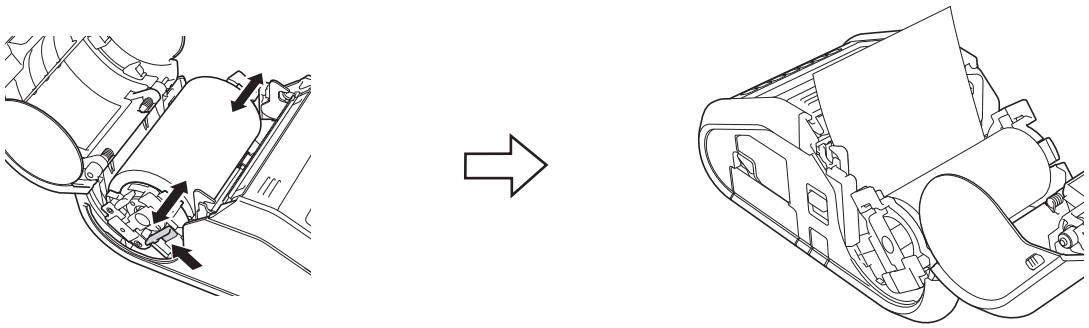


1 用紙幅ガイド調整レバー
2 用紙幅ガイド

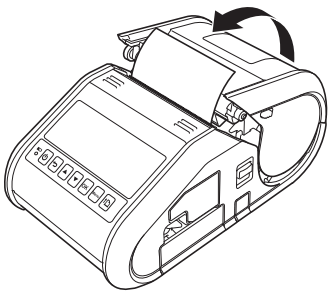
重要

- 用紙が横にずれないように、用紙幅ガイドの位置を確認してください。
- 正しく印刷するには、図のように熱に敏感な面がロールの外側になるようにセットしてください。

3 用紙幅ガイド調整レバー（1）を引き上げながら、用紙幅に合わせて用紙幅ガイド（2）を両側から押します。
用紙がロール紙収納スペース内にまっすぐ納まっていることを確認します。



4 ロール紙カバーの中央をカチッと音がするまで押して、ロール紙収納スペースを閉じます。



メモ

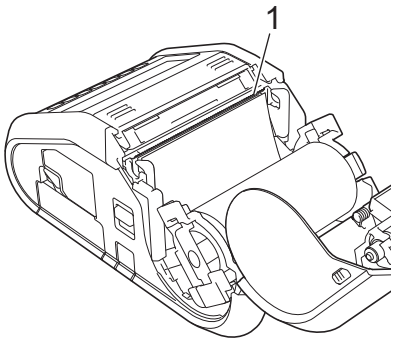
ダイカットラベル（RJ-3150 のみ）を使用する場合は、用紙をセットした後、フィードボタン（↑）を押します。ラベルが、正しい開始位置に配置されます。

重要

用紙は、弊社の純正品をご使用ください。

用紙をカットする

用紙は、本機のティアバーでカットできます。排紙された用紙の端を、もう一方の端に向かって斜めに引き上げます。



1 ティアバー

警告

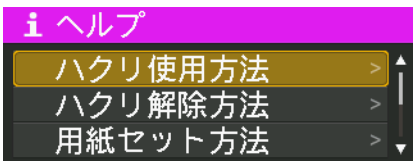
ティアバーは先端が尖っています。直接手を触れないでください。けがをする恐れがあります。

ハクリユニットを使用する場合（RJ-3150 のみ）

ハクリユニットを使用すると、印刷されたラベルは、自動的に剥離紙がはがれた状態で用紙排出口から排出されます。センサーがプリンターから削除されるまで次のラベルを印刷を禁止しているため、ラベルを大量に印刷するときなど便利です。

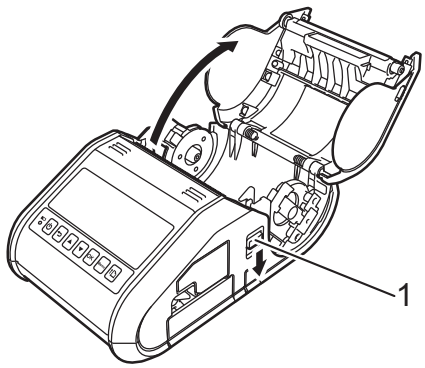
メモ

- ハクリユニットの設定と用紙のセットに関する情報は、ヘルプでも参照できます。本機の電源が入っていることを確認し、ロール紙カバーを開け、[Menu] ボタンを押します。



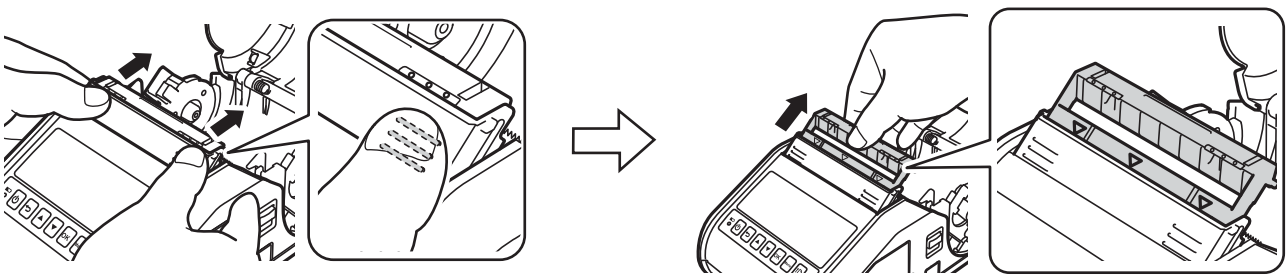
- ハクリユニットの設定に関するビデオは、次のアドレスでご覧になれます。
  http://solutions.brother.com/movie/d532/

1 カバーオープンレバーを押して、ロール紙カバーを開けます。



1 カバーオープンレバー

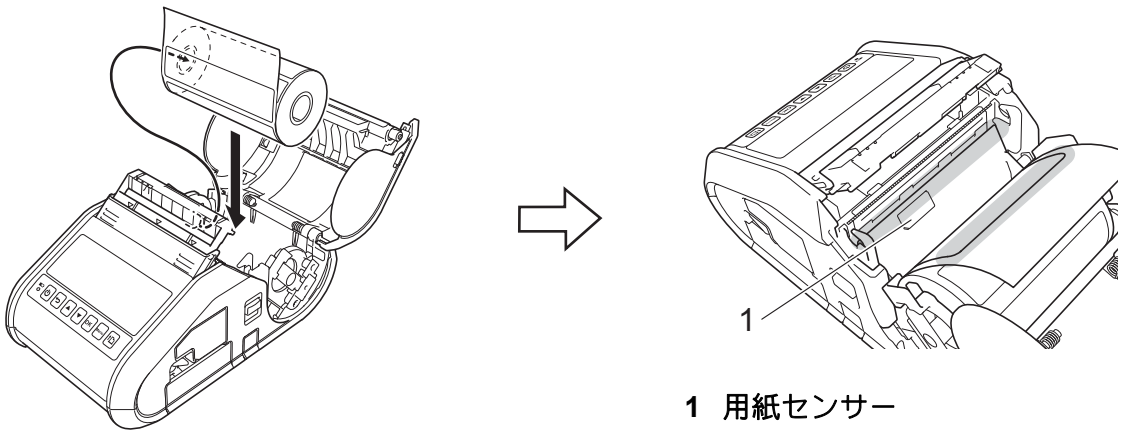
2 ハクリユニットの両側を本機の背面に向かって押します。ハクリユニットが上に上がり、本機から離れます。
次に、図のようにハクリフレームの▽マークが見えるまで、ハクリフレームを本機から完全に引き出します。



重要

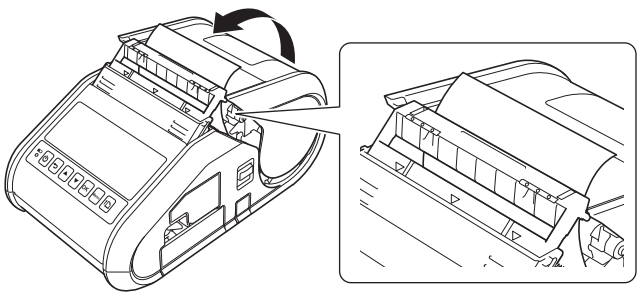
ハクリフレームは、2 段階で引き出すことができます。上図の右側のイラストのように、ハクリフレームを完全に引き出してください。

3 用紙の最初のラベルをはがします。次に、2 枚目のラベルの上端が用紙センサープレートの上端と同じ高さになるように、用紙をセットします。
用紙センサーが検出できる位置に、ラベルを配置します。



1 用紙センサー

4 ロール紙カバーを閉じます。ハクリユニットがカバーの上にあることを確認します。

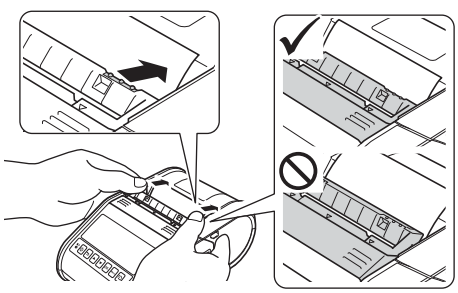


重要

ラベルが、ハクリユニットのローラーに挟まっていないことを確認します。ラベルの剥離紙がはがれない可能性があります。

5 ハクリ紙排出口から排出された部分を用紙が止まるまで軽く引っ張り、用紙のたるみを取ります。

6 カチッと音がするまで、ハクリユニットの両側（•••）を押します。



重要

- ハクリユニットを使用する前に、次の設定を行います。
  - 「**プリンター設定ツール**」の本体設定:[**基本設定**] タブで [**発行方式**] の [**ハクリ**] を指定します。詳しくは、「本体設定」（66 ページ）をご覧ください。
  - プリンタードライバー:[**基本設定**] タブで [**剥離機能を使う**] チェックボックスを選択します。詳しくは、「プリンタードライバーの設定」（16 ページ）と「印刷の後に」（17 ページ）をご覧ください。
- ハクリユニットを使用しない場合は、次の設定を行います。
  - 「**プリンター設定ツール**」の本体設定:[**基本設定**] タブで [**発行方式**] の [**ティアバー**] を指定します。詳しくは、「本体設定」（66 ページ）をご覧ください。
  - プリンタードライバー:[**基本設定**]タブで[**剥離機能を使う**]チェックボックスのチェックを外します。プリンタードライバーの [プロパティ] ダイアログボックスを開く場合は、「プリンタードライバーの設定」（16 ページ）の手順 ❶ をご覧ください。

プリンタードライバーの設定

❶ プリンターの [**印刷設定**] ダイアログボックスを表示します。

■ **Windows Vista®/Windows Server® 2008**

- [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] をクリックし、設定を変更するプリンターを右クリックし、次に [**印刷設定**] をクリックします。

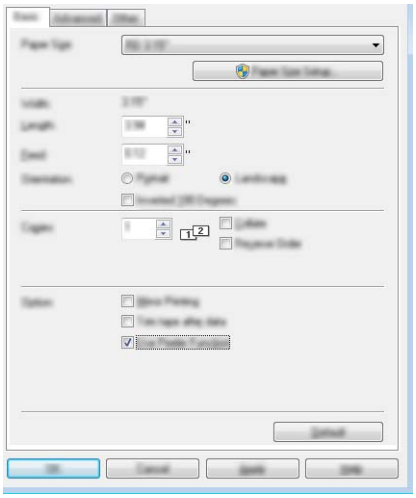
■ **Windows® 7/Windows Server® 2008 R2**

- [デバイスとプリンター] をクリックし、設定を変更するプリンターを右クリックし、次に [**印刷設定**] をクリックします。

■ **Windows® 8/Windows® 8.1/Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2**

[アプリ] 画面の [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド - [デバイスとプリンター] をクリックし、設定を変更するプリンターを右クリックし、次に [**印刷設定**] をクリックします。

2 **[基本設定]** タブで **[剥離機能を使う]** チェックボックスを選択します。



3 **[OK]** をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

印刷の後に

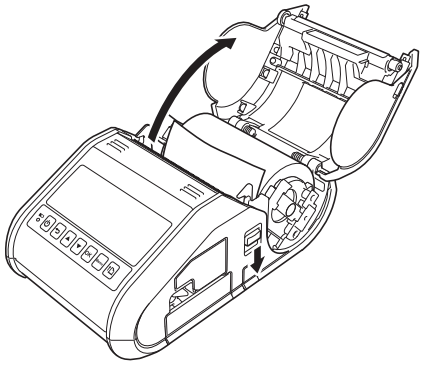
印刷したラベルは、自動的に剥離紙がはがれた状態で、用紙排出口から排出されます。印刷したラベルは必ず取り除いてください。ラベルが用紙排出口に残っていると、次のラベルが印刷されません。

メモ

ハクリユニットを使用すると、センサーにより用紙の剥離が検出され、適切な操作を調整します。センサーの検出精度は調整することができます。詳しくは、「センサー調整タブ」（73 ページ）をご覧ください。

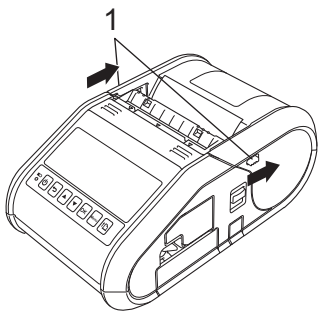
用紙を取り外す

1 カバーオープンレバーを押して、ロール紙カバーを開けます。



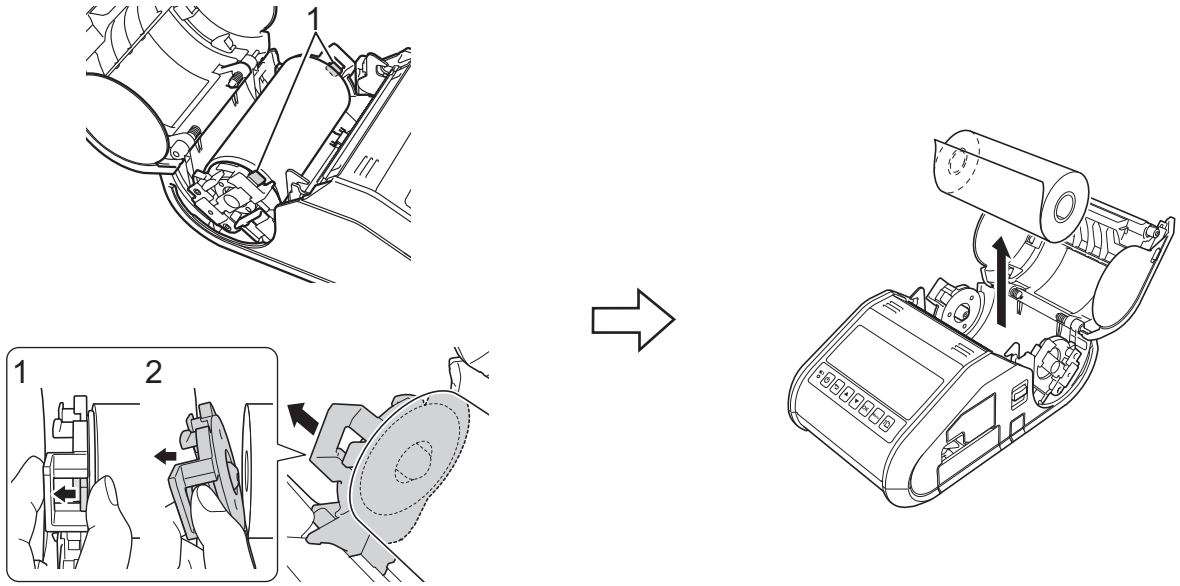
メモ

ハクリユニット（RJ-3150 のみ）を使用する場合は、本機の両側のハクリロックを解除しカバーオープンレバーを押します。



1 ハクリロック

2 用紙リリースレバーを押しながら、用紙幅ガイドを少し傾け、用紙を取り外します。用紙は、用紙幅ガイドの位置を変えずに取り出すことができます。
用紙幅ガイドを強い力で傾けすぎないでください。用紙幅ガイドが破損するおそれがあります。



1 用紙リリースレバー

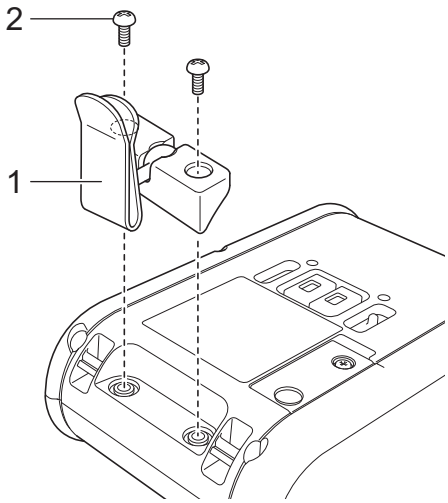
メモ

ハクリユニット（RJ-3150 のみ）を使用する場合は、用紙を取り出すときに剥離紙がはさまらないようにしてください。

ベルトクリップを取付ける

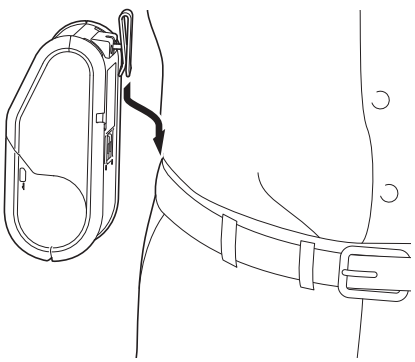
本機を携帯して使用する場合、付属のベルトクリップを取り付けてベルトに固定することができます。

1 図のように、本機の背面にネジを固定します。



1 ベルトクリップ
2 ネジ

2 クリップをベルトにつけます。



重要

ベルトクリップが本機とベルトにしっかり固定されていることを確認します。ベルトクリップがしっかり固定されていないと、本機が落下し、けがをする恐れがあります。

プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする

パソコンから印刷するためには、P-touch Editor 5.1、プリンタードライバーなどのアプリケーションをインストールする必要があります。

1 ソフトウェアのインストーラーとマニュアルは、弊社 Web サイト（http://www.brother.com/inst/ja/）からダウンロードできます。

2 ダウンロードした .exe ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。インストールする項目を選択するダイアログボックスで、必要なソフトウェアを選択します。

無線ネットワークで本機を接続する前に

最初に、本機の無線ネットワーク設定でアクセスポイント / ルーターとの通信を構成する必要があります。無線ネットワークを設定すると、ネットワーク上のコンピューターは本機にアクセスできるようになります。これらのコンピューターから本機を使用するには、ドライバーとソフトウェアをインストールする必要があります。

重要

- 本機をネットワークに接続する場合は、インストールの前に、システム管理者にお問い合わせください。インストールを開始する前に、無線ネットワークの設定についての知識が必要です。
- 今回の無線設定とは別の設定をしていた場合は、今回の無線設定を実行する前にネットワーク設定をリセットしてください。

RJ-3150 の場合

1 [Menu]、[▲]、または [▼] ボタンを押して [管理者設定] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。（初期パスワードは "1111" です。）

2 [▲] または [▼] を使用して、[初期化] - [ネットワーク初期化] - [はい] を選択し、[OK] ボタンを押します。

RJ-3050 の場合

1 （電源）ボタンを長押しして、本機の電源を切ります。

2 （フィード）ボタンを長押しし、（電源）ボタンを約 3 秒間押します。電源表示ランプ、Wi-Fi 表示ランプ、Bluetooth 表示ランプが点滅します（電源：オレンジ色、Wi-Fi と Bluetooth：青色）。

3 電源（）ボタンを押しながら、フィードボタン（）を 1 回押します。

4 （電源）ボタンを離します。

メモ

通常の文書の印刷で最適な結果を得るには、本機をできるだけネットワークアクセスポイント / ルーターの近くで使用し、障害物を最小限にしてください。両装置間に大きな物体や壁があったり他の電子機器からの干渉があると、データ転送速度が影響を受ける可能性があります。

プリンタードライバーをアンインストールする

次の手順の「RJ-XXXX」は、ご購入のモデル名に置き換えてお読みください。

Windows Vista®/Windows Server® 2008

1. （電源）ボタンを長押しして、本機の電源を切ります。
2. スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ]を選択します。
3. [**Brother RJ-XXXXX**] を選択し、[**このプリンタを削除**] をクリック、またはアイコンを右クリックして [**削除**] を選択します。
4. [**プリンタ**] 画面内で右クリックして、[**管理者として実行**] - [**サーバーのプロパティ ...**] を選択します。権限確認画面が表示された場合は、[**続行**] をクリックします。
   [**ユーザーアカウント制御**] ダイアログが表示されたら、パスワードを入力して [**OK**] をクリックします。[**プリントサーバーのプ ロパティ**] 画面が表示されます。
5. [**ドライバ**] タブをクリックして、[**Brother RJ-XXXXX**] を選択します。次に、[**削除 ...**] をクリックします。
6. [**ドライバーとパッケージを削除する**] を選択し、[**OK**] をクリックします。画面の表示に従ってください。
7. [**プリントサーバーのプ ロパティ**] 画面を閉じます。
   プリンタードライバーのアンインストールが完了しました。

Windows® 7/Windows Server® 2008 R2

1. （電源）ボタンを長押しして、本機の電源を切ります。
2. スタートボタンをクリックして、[**デバイスとプリンター**] を選択します。
3. [**Brother RJ-XXXXX**] を選択し、[**デバイスを削除**] をクリック、またはアイコンを右クリックして、[**デバイスを削除**] を選択します。
   ユーザーアカウント制御メッセージが表示された場合は、パスワードを入力して [**はい**] をクリックします。
4. [**デバイスとプリンター**] 画面で、[**FAX**] または [**Microsoft XPS ドキュメントライター**] を選択し、メニューバーに表示された [**プリントサーバープロパティ**] をクリックします。
5. [**ドライバ**] タブをクリックして、[**ドライバー設定の変更**] をクリックします。ユーザーアカウント制御メッセージが表示された場合は、パスワードを入力して [**はい**] をクリックします。[**Brother RJ-XXXXX**] を選択し、[**削除 ...**] をクリックします。
6. [**ドライバーとパッケージを削除する**] を選択し、[**OK**] をクリックします。画面の表示に従ってください。
7. [**プリントサーバーのプ ロパティ**] 画面を閉じます。
   プリンタードライバーのアンインストールが完了しました。

Windows® 8/Windows® 8.1/Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2

1. （電源）ボタンを長押しして、本機の電源を切ります。
2. [アプリ]画面で、[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[デバイスとプリンター]をクリックします。
3. [**Brother RJ-XXXXX**] を選択し、[**デバイスを削除**] をクリック、またはアイコンを右クリックして、[**デバイスを削除**] を選択します。
   ユーザーアカウント制御メッセージが表示された場合は、パスワードを入力して [**はい**] をクリックします。
4. [**デバイスとプリンター**] 画面で、[**FAX**] または [**Microsoft XPS ドキュメントライター**] を選択し、メニューバーに表示された [**プリントサーバープロパティ**] をクリックします。
5. [**ドライバ**] タブをクリックして、[**ドライバー設定の変更**] をクリックします。ユーザーアカウント制御メッセージが表示された場合、パスワードを入力して [**はい**] をクリックします。[**Brother RJ-XXXXX**] を選択し、[**削除**] をクリックします。
6. [**ドライバーとパッケージを削除する**] を選択し、[**OK**] をクリックします。画面の表示に従ってください。
7. [**プリントサーバーのプ ロパティ**] 画面を閉じます。プリンタードライバーのアンインストールが完了しました。

本機とコンピューターを接続する

本機は、USB ケーブル、Bluetooth または Wi-Fi を使用してコンピューターに接続できます。

重要

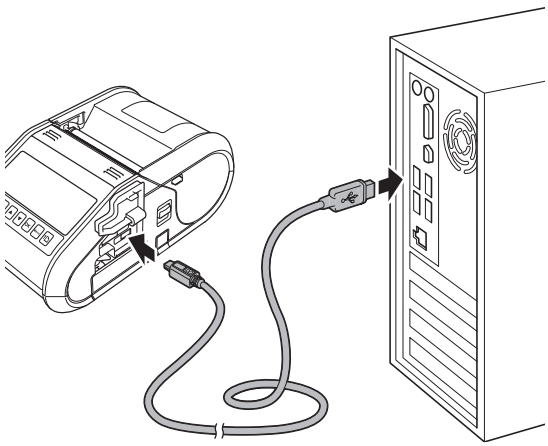
本機をコンピューターに接続する前に、プリンタードライバーをインストールしてください。

メモ

Bluetooth で接続した場合は、本機の電源を切った後も接続設定が保存されます。

USB ケーブルで接続する

1. USB ケーブルを接続する前に本機の電源が入っていないことを確認します。
2. USB ケーブルを本機の側面の USB ポートに接続します。
3. USB ケーブルの反対側をコンピューターの USB ポートに接続します。



Bluetooth で接続する

メモ

Bluetooth を搭載した機器（コンピューター、モバイル機器）や Bluetooth アダプターのメーカーの推奨に従って、必要なハードウェアとソフトウェアをインストールしてください。

Bluetooth 管理ソフトウェアを使用して、次の手順に従って、本機とコンピューターのペアリングを行います。

1. RJ-3150 の場合

   1 [Menu]、[▲] または [▼] ボタンを押して [Bluetooth] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。

   2 [Bluetooth (On/Off)] を [オン] に設定します。

   RJ-3050 の場合
   ⏻（電源）ボタンを長押しして本機の電源を入れ、（Bluetooth）ボタンを押します。

2. お使いの Bluetooth 機器の管理ソフトウェアを使用して本機を検索します。
   Bluetooth 通信が開始されます。

メモ

本機のネットワーク設定は、通信設定を使用して変更することもできます（「通信設定」（52 ページ）をご覧ください）。

Wi-Fi で接続する

重要

本機とお使いのアクセスポイントまたはルーターとで通信するには、まずプリンタードライバーとプリンター設定ツールをインストールする必要があります（「プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする」（21 ページ）をご覧ください）。

1 RJ-3150 の場合

1 [Menu]、[▲] または [▼] ボタンを押して [無線 LAN] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。

2 [無線 LAN (On/Off)] を [オン] に設定します。

これで、Wi-Fi 通信が使用できます。

RJ-3050 の場合

（電源）ボタンを長押しして本機の電源を入れ、（Wi-Fi）ボタンを押します。
Wi-Fi 通信が開始されます。

メモ

- 本機のネットワーク設定は、通信設定を使用して変更することもできます（「通信設定」（52 ページ）をご覧ください）。
- 通信設定を使用すると、簡単に複数台のプリンターに同様の設定内容を適用することもできます。（「複数台のプリンターに同様の設定内容を適用する」（65 ページ）をご覧ください）。

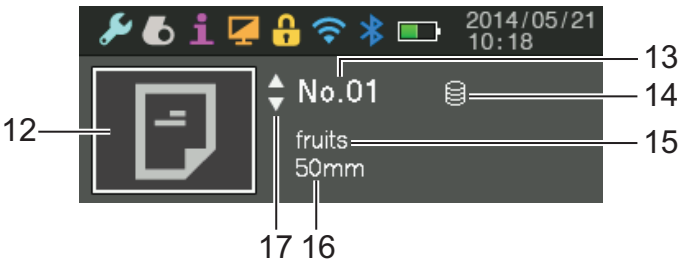
LCD について（RJ-3150 のみ）

画面

本機の電源を入れると、以下のメイン画面が表示されます。

通常モード

テンプレートモード



1 本体設定アイコン
2 用紙設定アイコン
3 本体情報アイコン
4 ディスプレー設定アイコン
5 管理者設定アイコン
6 無線 LAN アイコン
7 Bluetooth アイコン
8 日時
9 電池レベル
電池の残量が表示されます。
- フル充電：
- 半分：
- 残りわずか：
- 充電中：

10 USB アイコン
USB アイコンは、本機が使用可能なホスト装置に接続されている場合に表示されます。

11 プリンターステータス

12 テンプレートアイコン
テンプレートアイコンを表示します。

13 テンプレート番号
現在選択されているテンプレートの番号を表示します。

14 データベースリンクアイコン
テンプレートがデータベースにリンクされていることを示します。

15 テンプレート名
現在選択されているテンプレートの名前を表示します。

16 用紙名
テンプレートが使用する用紙の名前を表示します。

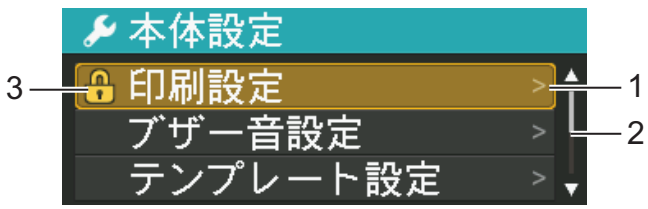
17 スクロールバー

LCD を設定する

LCD は、本機で設定、または本機に接続されたコンピューターの「**プリンター設定ツール**」を使用して設定できます。コンピューターの接続および設定の指定について、詳しくは「プリンター設定ツール」（49 ページ）をご覧ください。

本機から設定する

[Menu]、[▲] または [▼] ボタンを押して [本体設定] を選択し、[OK] ボタンを押します。[▲] または [▼] を押してオプション選択し、[OK] ボタンを押します。



1 現在選択されているオプションが反転表示されます。

2 スクロールバーは、最初の設定項目を上向き矢印で、最後の設定項目を下向き矢印で示します。最後の設定項目が選択されている場合、[▼] を押すと最初の設定項目にスクロールします。最初の設定項目が選択されている場合、[▲] を押すと最後の設定項目にスクロールします。

3 [ロック] が設定されている場合は、選択できない設定項目にロックアイコンが表示されます。ロックされている設定項目を変更する場合は、その設定項目の [ロック] 設定を解除します。

[ロック] 設定について、詳しくは「LCD を設定する」（28 ページ）をご覧ください。

本機のボタンで、次の設定を行うことができます。

メニュー	タイトル	サブタイトル	設定	内容
本体設定	印刷設定	印字濃度	-5	本機の印刷濃度を調整します。
			-4	
			-3	
			-2	
			-1	
			0	
			+1	
			+2	
			+3	
			+4	
			+5	
		発行方式	ティアバー	用紙の出力位置を選択します。
			ハクリ	
		印字基点補正幅方向	*.** mm (または *.** inch)	基準点の位置（印字位置を決める原点の基点）を調整します。プリンターモードの違いやアプリケーションで固定した余白によって印刷結果がずれるような場合に、印字誤差を調整します。ラスター印刷時は補正できませんのでご注意ください。 メモ 表示は、装置の設定により異なります。
		印字基点補正長さ方向	*.** mm (または *.** inch)	
		ティアバー位置補正	*.** mm (または *.** inch)	用紙をカットするためのティアバーの位置を調整します。 メモ 表示は、装置の設定により異なります。
	ブザー音設定		オン	操作パネルのボタンを押したときに警告音を鳴らすかどうかを選択します。
			オフ	

メニュー	タイトル	サブタイトル	設定	内容
本体設定 (続き)	テンプレート設定	テンプレートモード	有効	本機の電源を入れたときにテンプレートモードを開始するかどうかを選択します。 メモ テンプレートモードでは、本機に保存したテンプレートの内容を取り換えて、それらを印刷できます。
			無効	
		印刷前の確認	する	印刷する前にコピーの枚数を確認するメッセージを表示するかどうかを選択します。
			しない	
		印刷の向き	回転しない	印刷の向きを選択します。
			180° 回転する	
		連番後の値	維持する	印刷された最後の番号から順番に並べることを選択します。
			初期値に戻す	印刷するたびに、初期値の番号から順番に並べることを選択します。
		連番リセット	する	連番を初期値の値にリセットします。番号をリセットせずに前の画面に戻るには、[しない] を選択します。
			しない	
		印刷枚数初期値	1 - 999	印刷品質に初期値を指定します。
		日付直接入力	無効	指定された日付を印刷します。 [日付直接入力] が有効になっている場合、本機は実際の時計を使用しません。代わりに、仮想の日付を使用します。
			有効	
		時刻直接入力	無効	指定された時刻を印刷します。 [時刻直接入力] が有効になっている場合、本機は実際の時計を使用しません。代わりに、仮想の日付を使用します。
			有効	

メニュー	タイトル	サブタイトル	設定	内容
本体設定 (続き)	時計設定		年 月 日	日時を指定します。
			AM	
			PM	
			24	
	オートパワーオフ		オフ	本機が自動的にオフになるまでの時間を指定します。
			1 分	
			2 分	
			3 分	
			4 分	
			5 分	
			6 分	
			7 分	
			8 分	
			9 分	
			10 分	
			20 分	
			30 分	
			40 分	
			50 分	
			60 分	

メニュー	タイトル	サブタイトル	設定	内容
用紙設定	用紙情報		****** (用紙名) Type Left Margin Width Top Margin Length Bottom Margin	現在選択されている用紙の情報を表示します。
	用紙リスト選択		戻る 01 ****** 02 ****** 03 ****** 04 ****** 05 ****** 06 ****** 07 ****** 08 ****** 09 ****** 10 ******	用紙情報リストから検索する用紙情報を選択します。 「******」は、最大 16 文字で表示される用紙名を示します。 最後に使用された 10 の用紙を選択できます。 前の画面に戻るには、[戻る] を選択します。
	用紙リスト消去		戻る すべて消去 01 ****** 02 ****** 03 ****** 04 ****** 05 ****** 06 ****** 07 ****** 08 ****** 09 ****** 10 ******	用紙情報リストから削除する用紙情報を選択します。 「******」は、最大 16 文字で表示される用紙名を示します。 最後に使用された 10 の用紙が表示されます。 情報を削除せずに前の画面に戻るには、[戻る] を選択します。

メニュー	タイトル	サブタイトル	設定	内容
本体情報	ヘルプ		ハクリ使用方法	本機の使用方法に関する説明を表示します。
			ハクリ解除方法	
			用紙セット方法	
			用紙取り外し方法	
			I／F コネクタ説明	
	カスタム表示		******	あらかじめ本機に登録された画像を表示することを選択します。 最大 10 のカスタム画像の名前（16 文字まで）が、直近に登録された画像から新しい順に表示されます。
			******	
			******	
			******	
			******	
			******	
			******	
			******	
			******	
	本体情報表示		Printer: RJ-3150 ProgVer: *.** FontVer: *.** ImagVer: *.** HelpVer: *.** Memory: ********bytes Battery: *.*V	プリンター情報を表示します。
	本体情報印刷		する	本体設定情報を印刷します。情報を印刷せずに前の画面に戻るには、[しない] を選択します。
			しない	

メニュー	タイトル	サブタイトル	設定	内容
ディスプレー設定	画面の明るさ		+2	LCD の明るさを選択します。
			+1	
			0	
			-1	
			-2	
	消灯までの時間		オフ	LCD のバックライトが自動的に消灯するまでのアイドル時間を指定します。
			5 秒	
			10 秒	
			20 秒	
			30 秒	
			60 秒	
	カスタム表示設定	壁紙	標準画像	本機の LCD の背景に表示する画像を選択します。 最大で 3 つのカスタム画像の名前（16 文字まで）が表示されます。
			01 ******	
			02 ******	
			03 ******	
		起動時画面	なし	本機に電源を入れたときに、LCD の背景に表示する起動時画面画像を選択します。 最大で 3 つのカスタム画像の名前（16 文字まで）が表示されます。
			標準画像	
			01 ******	
			02 ******	
			03 ******	
		日付表示有無	オフ	本機の LCD に日時を表示するかどうかを選択します。
			オン	
		電池アイコン	大きい	本機の LCD に表示する電池アイコンのサイズを選択します。
			小さい	

メニュー	タイトル	サブタイトル	設定	内容
管理者設定 (初期パスワードは "1111" です。)	コマンドモード		P-touch Template 2.0	コマンドモードのタイプを選択します。
			ESC/P	
			ラスター	
	日付形式		1/31/2099	時計の日付の形式を選択します。
			01/31/2099	
			31/1/2099	
			31/01/2099	
			31.1.2099	
			31.01.2099	
			31-1-2099	
			31-01-2099	
			2099/1/31	
			2099/01/31	
			2099-1-31	
			2099-01-31	
	時刻形式		01:59(24)	時計の時刻の形式を選択します。
			1:59(24)	
			1:59AM	
			01:59AM	
	# 言語		Dansk	LCD の表示言語を選択します。
			Deutsch	
			English	
			Español	
			Français	
			Italiano	
			Nederlands	
			Norsk	
			Português	
			Suomi	
			Svenska	
			日本語	
	単位		ミリ	表示される設定の単位を選択します。
			インチ	

メニュー	タイトル	サブタイトル	設定	内容
管理者設定 (初期パスワードは "1111" です。) (続き)	初期化	戻る		設定をリセットせずに前の画面に戻るには、[戻る] を選択します。
		工場出荷状態に戻す	はい いいえ	[工場出荷状態に戻す] は、通信設定や本体設定など、すべてのプリンター設定を工場出荷時の設定に戻します。プリンターに保存されたテンプレートとデータベースも削除されます。
		登録データ初期化	はい いいえ	[登録データ初期化] は、すべての本体設定を工場出荷時の設定に戻します。プリンターに保存されたテンプレートとデータベースも削除されます。
		ネットワーク初期化	はい 戻る	通信設定を工場出荷時の設定に戻します。
	ロック		印刷設定 テンプレート設定 時計設定 オートパワーオフ 用紙リスト選択 用紙リスト消去 カスタム表示設定 無線 LAN (On/Off) WPS Bluetooth (On/Off) 完了	プリンターの LCD 画面上での変更を禁止したい項目にチェックを入れます。 チェックした後、[完了] を選択して設定を完了します。 [ロック] が設定されると、選択できない値にロックアイコンが表示されます。
	パスワード	パスワード機能設定	有効 無効	管理モードを開始する際にパスワードを要求するかどうかを選択します。
			パスワード変更	[有効] を選択した場合は、4 桁のパスワードを指定します。

メニュー	タイトル	サブタイトル	設定	内容
無線 LAN	無線 LAN (On/Off)		オン オフ	無線 LAN 機能の ON/OFF をします。
	WPS		する しない	WPS 構成を開始します。WPS 構成を開始せずに前の画面に戻るには、[しない] を選択します。
	無線 LAN ステータス		Mode: **** SSID: **** IP Addr: *.*.*.* Subnet: *.*.*.* Gateway: *.*.*.* MAC Addr: **** Channel: **** Net Key: ****	無線 LAN ステータスを表示します。
Bluetooth	Bluetooth (On/Off)		オン オフ	Bluetooth 機能の ON/OFF をします。
	Bluetooth ステータス		Usage: **** Device Name: **** Visible: **** Address: ****	Bluetooth 機能のステータスを表示します。

メモ

- ファームウェア（プリンターソフトウェア）により、設定の一部が異なる場合があります。
- 設定をリセットする場合は、「**プリンター設定ツール**」の [**本体設定**] を使用して、すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。詳しくは、「本体設定」（66 ページ）をご覧ください。

日付と時刻を設定する

時計を現在の時刻と日付に調整します。ここで設定する日時は、メイン画面に表示されます。

1. [Menu]、[▲] または [▼] ボタンを押して [本体設定] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。
2. [▲] または [▼] を使用して [時計設定] を選択し、[OK] ボタンを押します。時計の設定画面が表示されます。
3. [▲] または [▼] を使用して、西暦の下 2 桁を指定し、[OK] ボタンを押します。同じ方法で月と日の 2 桁を指定します。
4. [▲] または [▼] を使用して、時間と分のそれぞれに 2 桁を指定した後、[AM]、[PM] または [24] を選択します。
5. [OK] ボタンを押します。メイン画面が表示され、指定した時刻と日付が表示されます。

メモ

時刻と日付の形式は変更できます。[管理者設定] を選択します。次に [日付形式] または [時刻形式] を選択して設定します。（初期パスワードは "1111" です。）

メニューセキュリティを設定する

メニューセキュリティを設定する場合、管理モードへのアクセスに対するパスワードを設定して制限できます。

1. [Menu]、[▲] または [▼] ボタンを押して [管理者設定] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。（初期パスワードは "1111" です。）
2. [▲] または [▼] を使用して、[パスワード] - [パスワード機能設定] - [有効] を選択し、[OK] ボタンを押します。

パスワードを設定するには、[▲] または [▼] を使用して [管理者設定] メニュー - [パスワード] - [パスワード変更] を選択し、[OK] ボタンを押します。[▲] または [▼] を使用して最初の数字を指定し、[OK] ボタンを押すと、次の桁に進みます。同じ方法で残りの 3 つの数字を指定し、4 桁のパスワードを設定します。

メモ

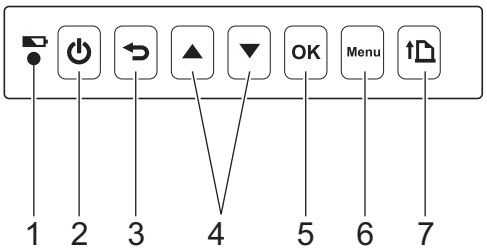
- パスワードを設定した後、[管理者設定] メニューを選択すると、パスワード入力画面が表示されます。[▲] または [▼] を使用して、最初の数字を入力した後、[OK] ボタンを押すと、次の桁に進みます。同じ方法で残り 3 つの数字を入力し、指定された 4 桁のパスワードを入力します。
- パスワードの設定をキャンセルするには、[管理者設定] メニューを選択し、パスワードを入力します。次に、[パスワード] - [パスワード機能設定] - [無効] を選択します。
- パスワードを忘れたときは、「**プリンター設定ツール**」の [**本体設定**] を使用してすべての設定を初期値に戻すか、再度パスワードを指定して送信してください。詳しくは、「本体設定」（66 ページ）をご覧ください。

2 プリンターを使用する

操作パネル

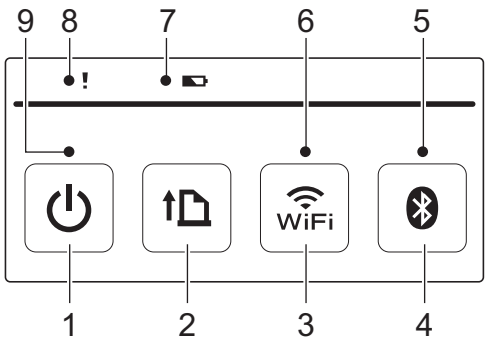
操作パネルには、以下のボタンと指示ランプがあります。

RJ-3150



1 充電表示ランプ
2 (電源) ボタン
3 戻るボタン (⮌)
4 カーソルボタン (▲上 /▼下)
5 OK ボタン
6 メニューボタン
7 フィードボタン (⮉)

RJ-3050



1 (電源) ボタン
2 フィードボタン (⮉)
3 Wi-Fi ボタン (WiFi)
4 Bluetooth ボタン (ᛒ)
5 Bluetooth 表示ランプ
6 Wi-Fi 表示ランプ
7 充電表示ランプ
8 状態表示ランプ (STATUS)
9 電源表示ランプ (POWER)

ボタンの機能

電源（⏻）ボタンの機能	操作
電源を入れる	本機の電源が切れている状態で、RJ-3150 では LCD がオンになるまで、RJ-3050 では電源表示ランプが緑色に点灯するまで、電源（⏻）ボタンを押します。
電源を切る	RJ-3150 では LCD に「電源オフ」というメッセージが表示されるまで、RJ-3050 では状態表示ランプ（STATUS）が赤色に点灯するまで、電源（⏻）ボタンを押します。（本体設定で [**オートパワーオフ**] 機能が有効になっている場合は、選択された時間が経過すると自動的に電源が切れます。）
本機をマスストレージモードで起動する	RJ-3150 では OK ボタン、RJ-3050 では Bluetooth ボタン（ᛒ）を押しながら、このボタンを長押しすると、本機はマスストレージモードで起動します（「マスストレージ機能」（90 ページ）を参照）。

フィード（⇡🗋）ボタンの機能	操作
用紙を送る	用紙の種類が [**ダイカットラベル**] または [**マーク付きメディア**] に設定されている場合： フィードボタン（⇡🗋）を押すと、用紙が印刷位置まで自動的に送られます。 用紙の種類が [**長尺テープ**] に設定されている場合： フィードボタン（⇡🗋）を押すと、用紙が送られます。用紙は、固定された長さが送り込まれます。この長さは、コマンドを使用して変更できます。
本体設定情報を印刷する	用紙がセットされていることを確認し、⇡🗋（フィード）ボタンを長押しします。本体設定情報の印刷が開始されます（「本体設定情報の印刷」（115 ページ）をご覧ください）。

WiFi **(Wi-Fi) ボタンの機能 (RJ-3050 のみ)**	操作
WPS を使用して、無線ネットワークの設定を簡単に行う	Wi-Fi は、このボタンを長押しするだけで設定できるため、プリンタードライバーや他のソフトウェアを簡単にインストールできます（「プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする」（21 ページ）をご覧ください）。
印刷するときに Wi-Fi を使用して通信する	本機とコンピューターが Wi-Fi で接続されていない場合は、このボタンを押して接続し、本機にデータを送信します。
Wi-Fi 接続を終了する	本機とコンピューターが Wi-Fi で接続されている場合は、このボタンを押して接続を終了します。

(Bluetooth) ボタン (RJ-3050 のみ)	操作
印刷するときに Bluetooth を使用して通信する	コンピューターと本機が Bluetooth で接続されているときにこのボタンを押すと、Bluetooth 接続が確立され、データを転送できます。(「Bluetooth で接続する」(25 ページ))
Bluetooth 接続を終了する	本機とコンピューターが Bluetooth で接続されている場合は、このボタンを押して接続を終了します。
本機をマスストレージモードで起動する	(電源) ボタンを長押ししながら、このボタン押すと、本機はマスストレージモードで起動します (「マスストレージ機能」(90 ページ) をご覧ください)。
マスストレージ領域に保存されたファイルを実行する	本機がマスストレージモードで動作しているときに、このボタンを押すと、マスストレージ領域に保存したコマンドファイルを実行できます (「マスストレージ機能」(90 ページ) をご覧ください)。

(戻る) ボタン (RJ-3150 のみ)	操作
	選択をキャンセルし、前の画面に戻ります。

▲(上) カーソルボタン (RJ-3150 のみ)	操作
	前の項目を選択します。
	メニュー選択モードを開始します。

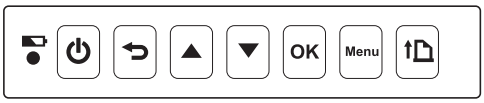
▼(下) カーソルボタン (RJ-3150 のみ)	操作
	次の項目を選択します。
	メニュー選択モードを開始します。

OK ボタン (RJ-3150 のみ)	操作
	選択した項目の機能モードを起動します。
本機をマスストレージモードで起動する	(電源) ボタンを長押ししながら、このボタン押すと、本機はマスストレージモードで起動します (「マスストレージ機能」(90 ページ) をご覧ください)。
マスストレージ領域に保存されたファイルを実行する	本機がマスストレージモードで動作しているときに、このボタンを押すと、マスストレージ領域に保存したコマンドファイルを実行できます (「マスストレージ機能」(90 ページ) をご覧ください)。
WPS を使用して、無線ネットワークの設定を簡単に行う	Wi-Fi は、このボタンを長押しするだけで設定できるため、プリンタードライバーや他のソフトウェアを簡単にインストールできます (「プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする」(21 ページ) をご覧ください)。 詳しくは、「WPS を使用して無線 LAN 接続を確立する」(171 ページ) をご覧ください。

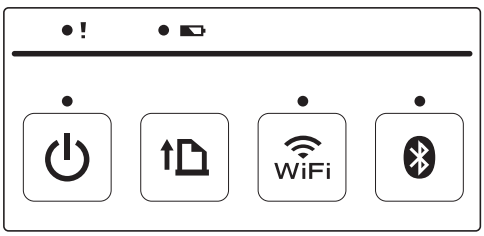
Menu ボタン（RJ-3150 のみ）	操作
	メニュー選択モードを開始します。
	次のメニューオプションを選択します。
ヘルプの情報を参照する	本機の電源が入っていることを確認し、ロール紙カバーを開け、**[Menu]** ボタンを押します。

表示ランプ

RJ-3150



RJ-3050



表示ランプは、点灯または点滅して本機の状態を示します。各表示ランプは緑色、赤色、オレンジ色または青色に点灯、または点滅します。詳しくは、「LED 表示ランプ」（112 ページ）をご覧ください。

印刷ソリューション

本機は、Windows® OS の複数のバージョンに対応しています。

通常、本機には、コンピューターと通信するためにドライバーソフトウェアが必要です。ドライバーソフトウェアは、弊社 Web サイト（http://www.brother.com/inst/ja/）からダウンロードできます。

コンピューターやモバイル機器から印刷する

標準的な印刷の場合は、次の手順に従ってください。

メモ

RJ-3150 は、レシート用紙の印刷だけでなくラベルも印刷できます。ダイカットラベルは、弊社の純正品をご使用ください。

1. 印刷する文書を開きます。
2. 本機に充電された充電池が装着されていることを確認します。
3. (電源）ボタンを長押しして、本機の電源を入れます。
   RJ-3150 の場合は、LCD がオンになります。RJ-3050 の場合は、電源表示ランプが緑色に点灯します。

RJ-3150

RJ-3050

1 (電源）ボタン

2 電源表示ランプ（POWER）

4. 用紙をセットします。（「用紙をセットする」（10 ページ）をご覧ください。）
   用紙は、弊社の純正品をご使用ください。
5. 本機を、USB ケーブル、Bluetooth または Wi-Fi を使用して、コンピューターまたは携帯用端末に接続します。
   （「本機とコンピューターを接続する」（24 ページ）をご覧ください。）
6. 必要に応じ、プリンタードライバーまたは本体設定を使用して印刷設定を変更します。（「本体設定」（66 ページ）をご覧ください。）

7 コンピューターのアプリケーションメニューから [**印刷**] をクリックします。

RJ-3150 の場合は、LCD に「印刷中」とメッセージが表示されます。印刷が終わると、印刷を開始する前のモードに戻ります。

RJ-3050 の場合は、本機がデータを受信すると、電源表示ランプが緑色に点滅し印刷を開始します。

8 RJ-3150 では LCD がオフになるまで、RJ-3050 では状態表示ランプが赤色に点灯するまで、⏻（電源）ボタンを長押しすることで、本機の電源を切ります。

メモ

- 本機の電源を切る場合は、RJ-3150 では LCD がオフになるまで、RJ-3050 では状態表示ランプが消灯するまで、AC アダプタージャックを抜いたり充電池を取り外したりしないでください。
- プリンタードライバーを使用せずに JPEG 画像を印刷する場合は、「JPEG 印刷について」（91 ページ）をご覧ください。

印刷濃度を設定する

印刷濃度は、プリンタードライバーのダイアログボックスまたは [本体設定] で設定できます（「本体設定」（66 ページ）をご覧ください）。

充電池を使用する場合は、印刷濃度の設定を変更すると、印刷速度や 1 回の充電で印刷できるページ数が若干変更される可能性があります。

プリンタードライバーのオプション

プリンタードライバー画面で、用紙サイズ、コピーの枚数など様々な設定ができます。

「**用紙サイズ設定**」と「**本体設定**」を使用して、詳細な設定もできます（「用紙サイズ設定」（84 ページ）と「本体設定」（66 ページ）をご覧ください）。

本機に保存したラベルを印刷する（RJ-3150 のみ）

本機に転送されたラベルのレイアウトは簡単に印刷できます。または、本機に保存した内容をバーコードリーダーで読み込んだ内容に置き換えて印刷できます。

詳しくは、「テンプレート作成について」（133 ページ）をご覧ください。

テンプレートモードを構成する

本機の電源が入ると同時に起動するように、テンプレートモードを構成します。

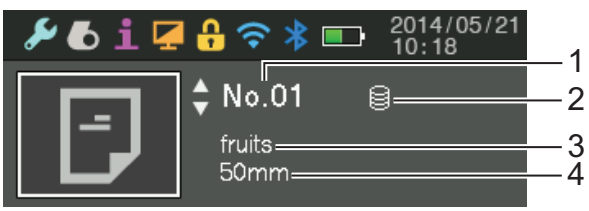
1. [Menu]、[▲]、または [▼] ボタンを押して [本体設定] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。
2. [▲] または [▼] を使用して、[テンプレート設定] - [テンプレートモード] - [オン] を選択し、[OK] ボタンを押します。

メモ

「**プリンター設定ツール**」を使用して、コンピューターから設定することもできます。詳しくは、「本体設定」（66 ページ）をご覧ください。

本機の操作パネルを使用して印刷する

1. 本機の電源を入れます。テンプレートモード画面が表示されます。

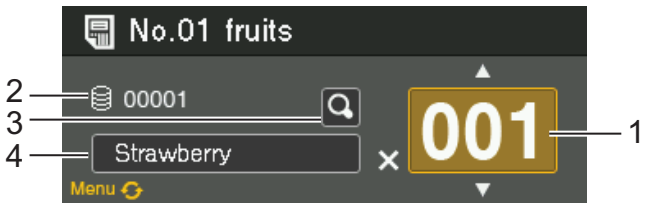


1 テンプレート番号
2 データベースリンクアイコン（データベースがリンクされている場合のみ）
3 テンプレート名
4 用紙名

2. [▲] または [▼] を押して、印刷するテンプレートを選択し、[OK] ボタンを押します。

3 データベースがリンクしている場合：
データベース番号（レコード番号）を選択する画面が表示されます。[▲] または [▼] を押して、印刷するデータベースレコードの番号を選択し、[OK] ボタンを押します。

4 印刷枚数を確認するメッセージが表示されます。



1 印刷枚数
2 データベース番号（データベースがリンクしている場合のみ）
3 プレビューアイコン
4 テンプレートテキスト

メモ

- 選択したフィールドを切り替えるには、[Menu] ボタンを押します。
- プレビューを表示するには、プレビューアイコンを選択し、[OK] ボタンを押します。
- テンプレートのテキストを確認するには、テンプレートのテキストフィールドを選択し、[▲] または [▼] を押します。最初の 16 文字のみが表示されるため、より多くの文字を確認する場合はプレビューアイコンを選択します。
- LCD に表示されるテキストおよび表示の順序は、P-touch Editor 5.1 を使用して設定します。詳しくは、「LCD に表示するテキストおよび順序を設定する」（135 ページ）をご覧ください。

5 [▲] または [▼] を押して、印刷枚数を選択し、[OK] ボタンを押します。ラベルが印刷されます。

メモ

- 印刷枚数は、1 ～ 999 枚まで設定できます。
- テンプレートに連番が含まれている場合、ラベルは、順番に並べられたフィールドを指定された回数だけ増加させて印刷されます。
- [印刷前の確認] が [しない] に設定されていると、手順 ❸ で、[OK] ボタンを押したときに、印刷が開始されます。

バーコードリーダーを使用して印刷する

P-touch Template 機能を使用すると、バーコードを読み込み、本機に転送したテンプレートを表示し、必要に応じてテキストを置き換えることができます。このとき、表示されたテンプレートの内容、または置き換えるテキストを LCD で確認できます。

P-touch Template について、詳しくはブラザーソリューションセンターのホームページから、P-touch テンプレートマニュアルをダウンロードしてください。
http://support.brother.co.jp/
[製品選択] - [製品から探す] - [製品マニュアル]

テンプレートのテキストを確認または置き換える場合は、「本機の操作パネルを使用して印刷する」（45 ページ）をご覧ください。

印刷前にラベルレイアウトの内容を確認できるため、間違ったラベルを印刷することがありません。

本機のラベルレイアウト（削除とログ）（RJ-3150 のみ）

次の手順に従って、本機のラベルレイアウトを削除したり、印刷履歴を参照できます。

ラベルレイアウトを削除する

「**プリンター設定ツール**」の [**本体設定**] を使用して、本機からラベルレイアウトを削除できます。メニューバーで、[**ツール**] - [**テンプレートとデータベースの内容を削除する**] をクリックし、本機に登録したテンプレートまたはデータベースを削除できます。詳しくは、「メニューバー」（68 ページ）をご覧ください。

本機のラベルレイアウトを確認し、削除するデータを選択するには、本機をコンピューターに接続し、P-touch Transfer Manager を使用します。詳しくは、「P-touch Transfer Manager と P-touch Library の使用方法」（139 ページ）をご覧ください。

ラベルレイアウトの印刷履歴を確認する

[**プリンター設定ツール**] の [**本体設定**] を使用して、印刷履歴を確認できます。[**拡張機能**] タブの [**本体の印刷履歴保存**] が [**有効**] に設定されている場合、印刷履歴は本機に保存されます。印刷履歴をエクスポートし、.csv ファイルとして保存するには、[**ツール**] - [**印刷履歴をファイルに保存する**] をクリックします。詳しくは、「本体設定」（66 ページ）をご覧ください。

3 プリンター設定ツール

プリンター設定ツールについて

「**プリンター設定ツール**」を使用すると、本機の通信設定、本体設定、P-touch Template 設定および用紙設定をコンピューターで行うことができます。

メモ

- 「**プリンター設定ツール**」は、プリンタードライバーなど、他のソフトウェアのインストール時に同時にインストールされます。詳しくは、「プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする」（21 ページ）をご覧ください。
- 「**プリンター設定ツール**」は、ショートカットアイコンや［コントロールパネル］の表示では「Printer Setting Tool」と英語で表示されます。

重要

「**プリンター設定ツール**」は、本ツールに対応したブラザーのプリンターにのみ有効です。

プリンター設定ツールをお使いになる前に

- AC アダプターが電源コンセントに接続されていること、または充電池が十分に充電されていることを確認してください。
- プリンタードライバーがインストールされ、使用できる状態であることを確認してください。
- 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

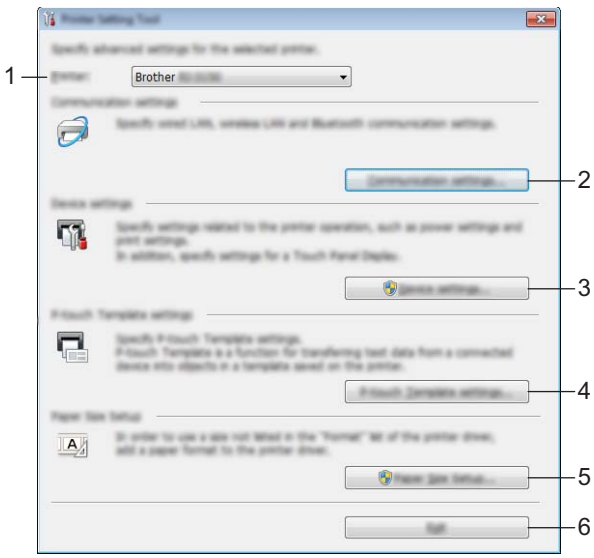
  本ツールでは、無線 LAN または Bluetooth 接続を使用して設定を行うことはできません。

プリンター設定ツールを使用する

1. 設定するプリンターとコンピューターを接続します。
2. Windows Vista®/Windows® 7/Windows Server® 2008/Windows Server® 2008 R2 の場合
   スタートメニューから、[すべてのプログラム] - [**Brother**] - [**Label & Mobile Printer**] - [**Printer Setting Tool**] をクリックします。

   Windows® 8/Windows® 8.1/Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2 の場合
   [アプリ] 画面で [**Printer Setting Tool**] のアイコンをクリックします。

   メイン画面が表示されます。



1 プリンター
設定するプリンターを選択します。接続したプリンターが 1 台のみの場合は、そのプリンターだけが表示されるため、選択する必要はありません。

2 通信設定
無線 LAN と Bluetooth の通信設定を行います。無線 LAN、Bluetooth の接続は、本機にオプションユニットを装着して接続設定が完了している場合にのみ使用できます。

3 本体設定
電源設定や印刷設定など、プリンター本体の設定を行います。LCD の設定も行うことができます (RJ-3150 のみ)。

重要

[**本体設定**] を起動するには、管理者権限でログインする必要があります。

4 P-touch Template 設定
P-touch Template の設定を行います。

5 用紙サイズ設定
プリンタードライバーの [**用紙サイズ**] リストにない用紙サイズを使用する場合、用紙の情報や設定をプリンタードライバーに追加できます。

重要

[**用紙サイズ設定**] を起動するためには、管理者権限でログインする必要があります。

6 終了
設定画面を終了します。

3 設定するプリンターが [**プリンター**] に表示されていることを確認します。他のプリンターが表示されている場合は、ドロップダウンリストから設定するプリンターを選択してください。

メモ

接続したプリンターが 1 台のみの場合は、そのプリンターだけが表示されるため、選択する必要はありません。

4 設定する設定項目を選択し、表示されたダイアログボックスで設定または変更を行います。
各設定ダイアログボックスについて、詳しくは「通信設定」（52 ページ）、「本体設定」（66 ページ）、「P-touch Template 設定」（81 ページ）または「用紙サイズ設定」（84 ページ）をご覧ください。

5 設定を変更したら、設定ダイアログボックスで [**設定**] - [**終了**] をクリックして設定をプリンターに適用します。

6 メイン画面で [**終了**] をクリックして設定を完了します。

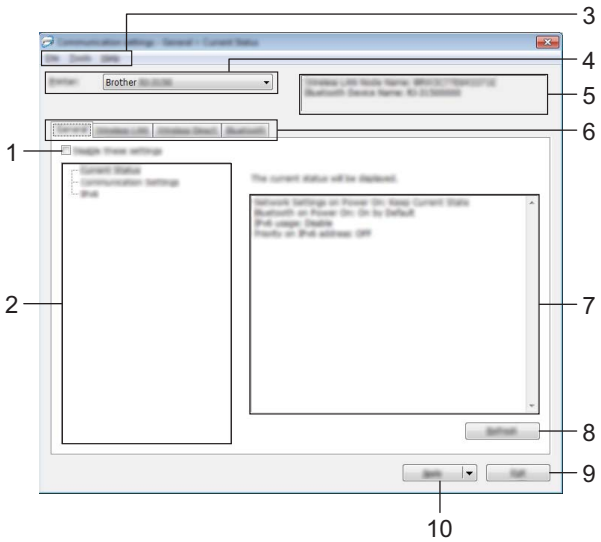
重要

本機が待機状態の場合にのみ、「**プリンター設定ツール**」を使用して設定してください。本機の動作中に設定を実行すると、誤作動の原因になる場合があります。

通信設定

「**プリンター設定ツール**」の [**通信設定**] では、本機とコンピューターを USB ケーブルで接続すると、プリンターの通信情報を設定または変更できます。1 台のプリンターに対して通信設定の変更ができるだけではなく、同じ設定を簡単に複数のプリンターに適用することもできます。

設定ダイアログボックス



1 このページの内容を設定しない

このボックスを選択すると、タブに が表示され、設定や変更ができなくなります。

が表示されているタブの内容は、[**設定**] をクリックしてもプリンターには適用されません。また、[**コマンドファイルに保存**] や [**エクスポート**] を実行した場合にも、タブの内容は保存またはエクスポートされません。

設定をプリンターに適用したり、保存またはエクスポートする場合は、ボックスのチェックが外れていることを確認してください。

2 設定項目

[**現在の状態**] を選択すると、現在の設定内容が表示 / 変更エリアに表示されます。

設定を変更する項目を選択します。

3 メニューバー

各メニューに含まれるコマンドをリストから選択します。

4 プリンター

設定を変更するプリンターを選択します。

接続したプリンターが 1 台のみの場合は、そのプリンターだけが表示されるため、選択する必要はありません。

5 ノード名
ノード名を表示します。ノード名も変更できます。(「メニューバー」(54 ページ) の 7 ノード名 /Bluetooth デバイス名の変更をご覧ください。)

6 各設定タブ
設定または変更する設定内容を含むタブをクリックします。
タブに が表示されている場合は、そのタブの設定内容はプリンターに適用されません。

7 設定表示 / 変更エリア
選択した項目について、現在の設定内容が表示されます。必要に応じて、ドロップダウンメニュー、直接入力またはその他の適切な方法を使用して設定を変更します。

8 表示の更新
クリックすると表示内容を更新し、最新の情報を表示します。

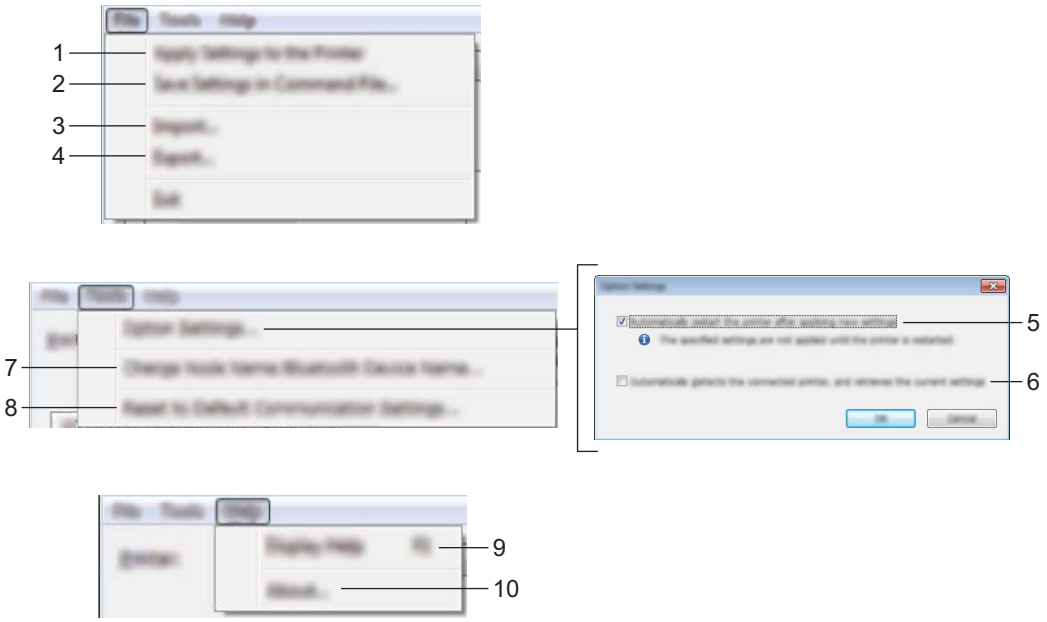
9 終了
[**通信設定**] を終了し、「**プリンター設定ツール**」のメイン画面に戻ります。

重要
設定変更後、[**設定**] ボタンを押さずに [**終了**] を押すと、設定内容がプリンターに適用されません。

10 設定
[**設定**] をクリックすると、設定内容がプリンターに適用されます。
設定した内容をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンメニューから [**コマンドファイルに保存**] を選択します。保存したコマンドファイルをマスストレージ機能で使用して、設定をプリンターに適用できます。(「マスストレージ機能」(90 ページ) をご覧ください。)

重要
[**設定**] をクリックすると、各タブの設定内容がすべてプリンターに適用されます。
[**このページの内容を設定しない**] を選択した場合は、そのタブの設定内容は適用されません。

メニューバー



1 プリンターへ設定する
設定内容をプリンターに適用します。

2 設定内容をコマンドファイルに保存する
設定内容をコマンドファイルに保存します。ファイルの拡張子は「.bin」です。
保存したコマンドファイルをマスストレージ機能で使用して、設定をプリンターに適用できます。(「マスストレージ機能」(90 ページ) をご覧ください。)

メモ

[**このページの内容を設定しない**] を選択した場合は、そのタブの設定内容は保存されません。

重要

- 次の情報は、設定コマンドに保存されません。
  - ノード名
  - IP アドレス、サブネットマスク、既定のゲートウェイ (IP アドレスが **[STATIC]** に設定されている場合)
- 保存された通信設定コマンドは、設定をプリンターに適用するために使用します。このコマンドファイルをインポートしても、設定は適用されません。
- 保存したコマンドファイルには、認証キーとパスワードが含まれています。保存したコマンドファイルは、他のユーザーがアクセスできない場所に保存するなど、取り扱いに十分注意してください。
- コマンドファイルは、エクスポートしたプリンターとは異なる機種のプリンターに送信しないでください。

3 インポート

■ **現在の PC 無線設定からインポートする**

コンピューターから設定をインポートします。

メモ

- コンピューターの無線設定をインポートする場合、コンピューターの管理者権限が必要です。
- インポートできるのは、パーソナルセキュリティ認証の設定（オープンシステム、共有キー認証および WPA/WPA2-PSK）のみです。エンタープライズセキュリティ認証（LEAF、EAP-FAST など）や、WPA2-PSK（TKIP）および WPA-PSK（AES）設定はインポートできません。
- お使いのコンピューター上で複数の無線 LAN が有効になっている場合は、最初に認識された無線設定（パーソナルのみ）をインポートデータと見なします。
- インポートできるのは、**[無線 LAN]** タブ - **[無線設定]** 画面の設定値（接続モード、SSID、認証方式、暗号化方式、認証キー）です。

■ **プロファイルを選択してインポートする**

エクスポートしたファイルをインポートし、設定をプリンターに適用します。

[参照] をクリックすると、ファイル参照ダイアログが表示されます。インポートするプリンターを選択してください。選択したファイルの設定内容が、設定表示・変更エリアに表示されます。

メモ

- 無線設定、TCP/IP 設定など、すべての設定をインポートできます。ただし、ノード名はインポートできません。
- 選択したプリンターに適合するプロファイルのみをインポートできます。
- インポートされたプロファイルの IP アドレスが **[STATIC]** に設定されている場合は、すでにネットワーク上に存在する設定済みのプリンターの IP アドレスと重複しないよう、必要に応じて IP アドレスを変更してください。

4 エクスポート

現在の設定内容をコマンドファイルに保存します。

メモ

[このページの内容を設定しない] を選択した場合は、そのタブの設定内容は保存されません。

重要

エクスポートしたファイルは暗号化されません。

5 適用後、プリンターを自動的に再起動する

このチェックボックスを選択した場合、通信設定が適用されると、プリンターは自動的に再起動します。

選択していない場合は、プリンターを手動で再起動する必要があります。

メモ

複数のプリンターに設定を実行する場合、このチェックボックスのチェックを外しておくと、作業時間を短縮できます。ただし、最初のプリンターを設定するときのみ、設定内容の確認のために選択することをお勧めします。

6 プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する

このチェックボックスを選択した状態で、プリンターをコンピューターに接続すると、プリンターが自動的に検出され、プリンターに設定された現在値が **[現在の状態]** に表示されます。

メモ

接続したプリンターの機種が **[プリンター]** ドロップダウンリストに表示されている機種と異なる場合、各編集画面の設定内容が、接続したプリンターに応じて変更されます。

7 ノード名 /Bluetooth デバイス名の変更

各ノード名を変更できます。

8 通信設定を工場出荷時に戻す

通信設定を工場出荷時の設定に戻します。

9 ヘルプ の表示

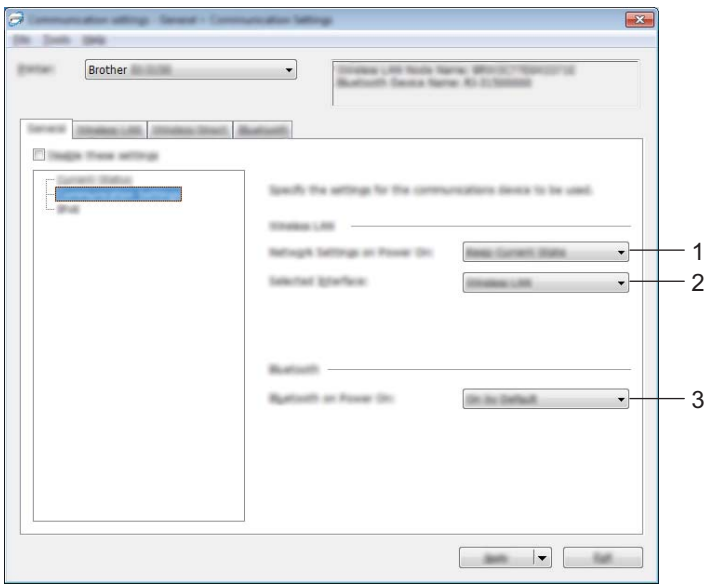
ヘルプを表示します。

10 バージョン情報

バージョン情報を表示します。

全般タブ

通信設定

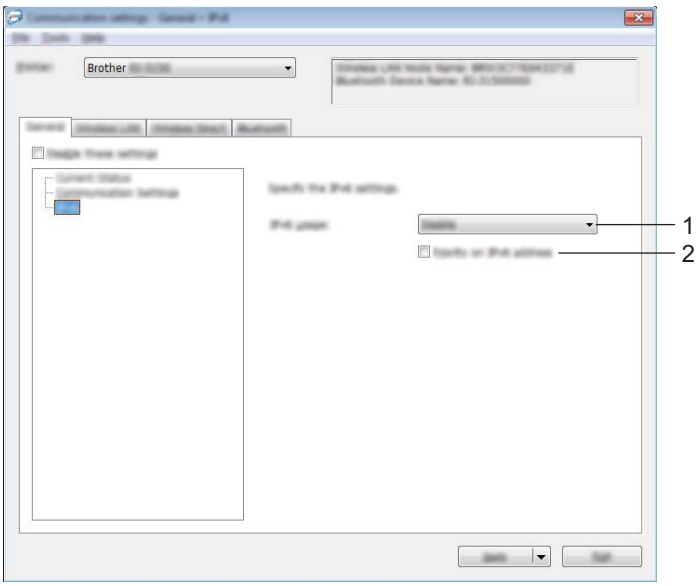


1 パワーオン時のネットワーク設定
本機の電源を入れたときに、Wi-Fi 接続のための条件を特定します。[**常に ON**]、[**常に OFF**] または [**前回の状態維持**] を選択します。

2 インターフェイスの選択
[**無線 LAN**] または [**Wireless Direct**] を選択します。

3 パワーオン時の **Bluetooth**
本機の電源を入れたときに、Bluetooth 接続のための条件を特定します。[**常に ON**]、[**常に OFF**] または [**前回の状態維持**] を選択します。

IPv6



1 IPv6 の使用

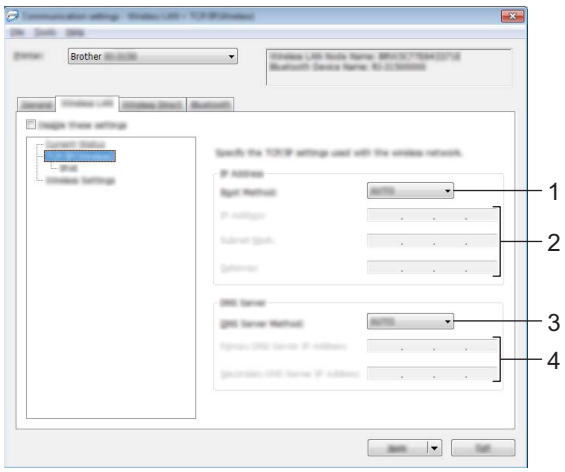
[**有効**] または [**無効**] を選択します。

2 IPv6 アドレスを優先する

IPv6 アドレスを優先することを選択します。

無線 LAN タブ

TCP/IP（無線）



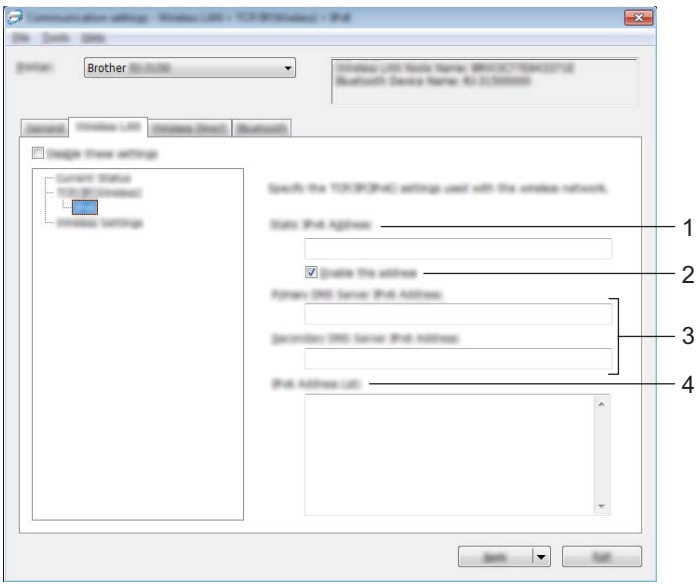
1 IP アドレスの設定
[**AUTO**]、[**BOOTP**]、[**DHCP**]、[**RARP**] または [**STATIC**] を選択します。

2 IP アドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレス
様々な値を指定します。
IP アドレスが [**STATIC**] に設定されている場合にのみ、設定を入力できます。

3 DNS サーバーの設定
[**AUTO**] または [**STATIC**] を選択します。

4 プライマリ DNS サーバーアドレス／セカンダリ DNS サーバーアドレス
DNS サーバーが [**STATIC**] に設定されている場合にのみ、設定を入力できます。

IPv6



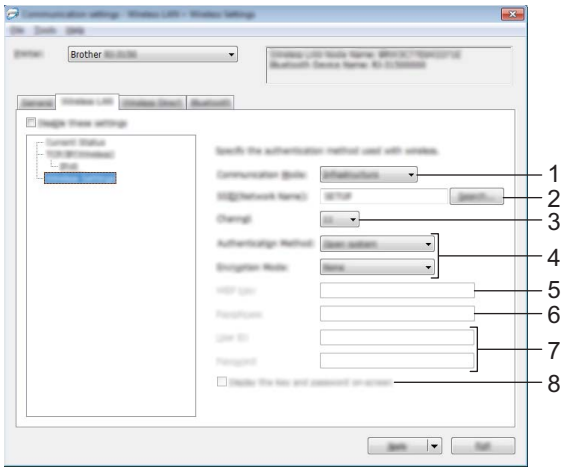
1 固定 IPv6 アドレス
値を指定します。

2 このアドレスを有効にする
指定された静的 IPv6 アドレスを有効にすることを選択します。

3 プライマリ DNS サーバー IPv6 アドレス / セカンダリ DNS サーバー IPv6 アドレス
値を指定します。

4 IPv6 アドレスリスト
IPv6 アドレスのリストを表示します。

無線設定



1 接続モード
[インフラストラクチャ] または [アドホック] を選択します。

2 SSID（ネットワーク名）
[検索] ボタンをクリックすると、別のダイアログボックスに SSID の選択肢が表示されます。

3 チャンネル
表示されたオプションから選択します。

メモ

この設定は、アドホックモードでのみ有効です。

4 認証方式 / 暗号化方式
様々な認証方式でサポートされる暗号化方式を「接続モードと認証方式 / 暗号化方式」（62 ページ）に示します。

5 WEP キー
暗号化方式として WEP を選択した場合にのみ、設定できます。

6 PSK（事前共有キー）
認証方式として WPA/WPA2-PSK を選択した場合にのみ、設定できます。

7 ユーザー ID/ パスワード
認証方式として LEAP、EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS または EAP-TLS を選択した場合にのみ、設定できます。また、EAP-TLS では、パスワードの登録は必要ありませんが、クライアント証明書の登録が必要です。証明書を登録するには、ウェブブラウザーからプリンターに接続し、証明書を指定します。ウェブブラウザーの使用について、詳しくは「ウェブブラウザー （Web Based Management）で管理する」（172 ページ）をご覧ください。

8 キーとパスワードを画面に表示する
このチェックボックスを選択すると、キーとパスワードがプレーンテキスト（暗号化されていないテキスト）で表示されます。

接続モードと認証方式 / 暗号化方式

■ [接続モード] を [アドホック] に設定している場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし /WEP

■ [接続モード] を [インフラストラクチャ] に設定している場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし /WEP
共有キー	WEP
WPA/WPA2-PSK	TKIP+AES / AES
LEAP	CKIP
EAP-FAST/ なし	TKIP / AES
EAP-FAST/MS-CHAPv2	TKIP / AES
EAP-FAST/GTC	TKIP / AES
PEAP/MS-CHAPv2	TKIP / AES
PEAP/GTC	TKIP / AES
EAP-TTLS/CHAP	TKIP / AES
EAP-TTLS/MS-CHAP	TKIP / AES
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	TKIP / AES
EAP-TTLS/PAP	TKIP / AES
EAP-TLS	TKIP / AES

重要

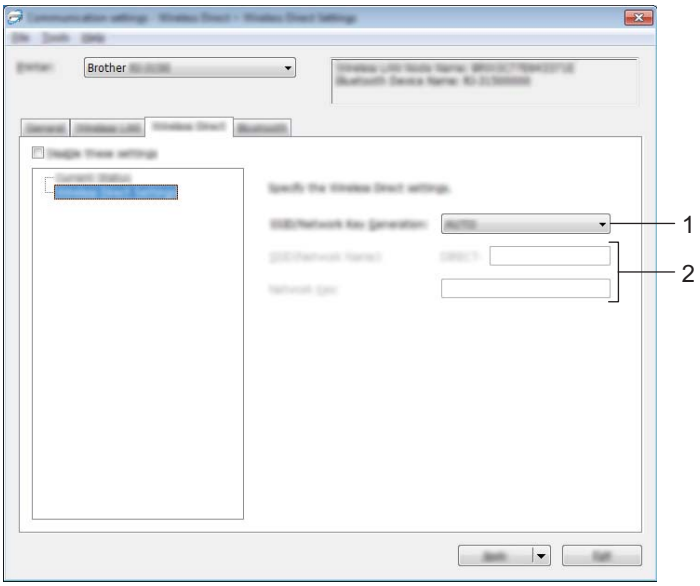
より高度なセキュリティ設定を行う場合

EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS または EAP-TLS 認証方式で証明書を検証する場合、証明書を「プリンター設定ツール」から指定できません。プリンターのネットワーク接続を設定し、ウェブブラウザーからプリンターに接続して証明書を指定してください。

ウェブブラウザーの使用について、詳しくは「ウェブブラウザー （Web Based Management）で管理する」（172 ページ）をご覧ください。

Wireless Direct タブ

Wireless Direct 設定



1 SSID/ ネットワークキーの生成

[**AUTO**] または [**STATIC**] を選択します。

2 SSID（ネットワーク名）/ ネットワークキー

Wireless Direct モードで使用する SSID（25 字以下の ASCII 文字）とネットワークキー（63 字以下）を入力します。

[**SSID/ ネットワークキーの生成**] として [**STATIC**] を選択した場合にのみ、設定できます。

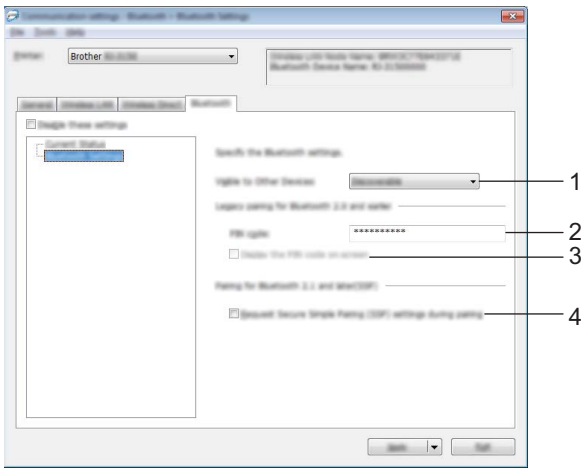
メモ

工場出荷時の SSID とパスワードは、次のとおりです。

SSID：“DIRECT-brRJ-3150****”（RJ-3150）または “DIRECT-brRJ-3050****”（RJ-3050）。“****” は、製造番号の下 4 桁です。
（製造番号のラベルは、プリンターの底面にあります。）

パスワード（ネットワークキー）：00000000

Bluetooth タブ



1 他のデバイスからの検索
他の Bluetooth 機器でプリンターを検索できるかどうかを設定します。
設定項目：[できる], [できない]

2 PIN コード接続
Bluetooth バージョン 2.0 以前に準拠する装置とのペアリングに使用する PIN コードを指定します。

3 PIN コードを画面に表示する
このチェックボックスを選択すると、PIN コードがコンピューターの画面に表示されます。

4 ペアリング時に本体キーの操作を要求する
このチェックボックスを選択した場合、Bluetooth バージョン 2.1 以降に準拠する装置とペアリングする際、プリンターのキー操作（認証作業）が必要です。

複数台のプリンターに同様の設定内容を適用する

1. 1 台目のプリンターに設定内容を適用し、コンピューターから取り外します。次に 2 台目のプリンターをコンピューターに接続します。
2. [**プリンター**] ドロップダウンリストで、新しく接続したプリンターを選択します。

メモ

[**オプション設定**] ダイアログボックスの [**プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する**] チェックボックスを選択すると、USB ケーブルで接続されたプリンターが自動的に選択されます。

詳しくは、「通信設定」（52 ページ）をご覧ください。

3. [**設定**] ボタンを押します。
   1 台目のプリンターと同じ設定が 2 台目のプリンターに適用されます。

メモ

[**適用後、プリンターを自動的に再起動する**] チェックボックスのチェックを外すと、設定の変更後にプリンターが再起動しないため、プリンターの設定に必要な時間が短縮されます。ただし、最初のプリンターを設定するときは、設定により、アクセスポイントとの接続が正しく行われることを確認するために、[**適用後、プリンターを自動的に再起動する**] チェックボックスを選択することをお勧めします。
詳しくは、「通信設定」（52 ページ）をご覧ください。

4. 設定を変更するプリンターすべてに、手順 ❶ - ❸ を行います。

重要

IP アドレスが **[STATIC]** に設定されている場合は、IP アドレスも、最初のプリンターと同じアドレスに変更されます。
必要に応じて IP アドレスを変更してください。

メモ

現在の設定内容をファイルに保存するには、[**ファイル**] - [**エクスポート**] をクリックします。

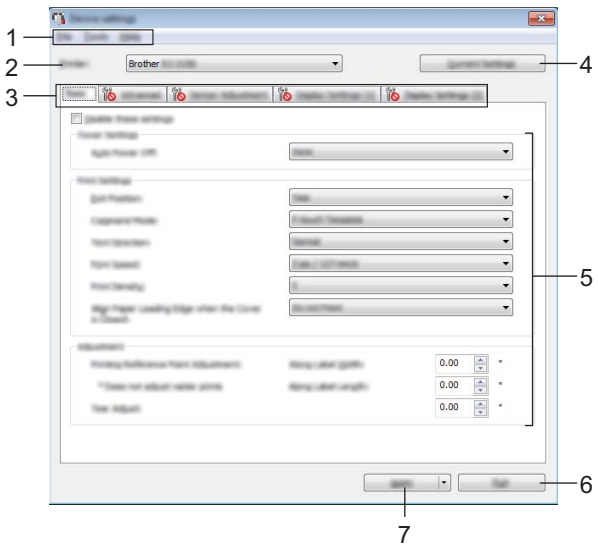
[**ファイル**] - [**インポート**] をクリックし、エクスポートされた設定ファイルを選択すると、同じ設定を他のプリンターに適用できます。（「通信設定」（52 ページ）をご覧ください。）

本体設定

「**プリンター設定ツール**」の [**本体設定**] では、お買い上げ時のプリンター設定、および LCD（RJ-3150 のみ）の設定を変更できます。

コンピューターのアプリケーションから印刷する場合は、プリンタードライバーで様々な印刷設定を行うことができますが、「**プリンター設定ツール**」の [**本体設定**] を使用すると、より詳細な設定が可能です。

[**本体設定**] を開くと、プリンターの現在の設定が取得され表示されます。現在の設定を取得できない場合、前回の設定を表示します。現在の設定を取得できず、かつ前回設定していない場合は、本ツールの初期値を表示します。



1 **メニューバー**
各メニューに含まれるコマンドをリストから選択します。

2 **プリンター**
本体設定を行うプリンターを選択します。
接続したプリンターが 1 台のみの場合は、そのプリンターだけが表示されるため、選択する必要はありません。

3 **各設定タブ**
設定または変更する設定内容を含むタブをクリックします。

メモ

- タブに が表示されている場合は、そのタブの内容について設定や変更はできません。また、[**設定**] をクリックしても、タブの設定内容はプリンターに適用されません。[**コマンドファイルに保存**] や [**エクスポート**] を実行した場合も、そのタブの設定内容は保存またはエクスポートされません。
- [**プリンター**] に RJ-3150 が選択されている場合にのみ、[**画面設定 (1)**] と [**画面設定 (2)**] が表示されます。RJ-3150 を使用する場合は、設定を行います。

4 現在値を取得

このボタンをクリックして、現在接続しているプリンターから設定を取得し、ダイアログボックスに表示します。タブ上に がついている設定項目の内容も取得されます。

メモ

[現在時刻] ボタンをクリックすると、現在の時刻がコンピューターから取得され、**[画面設定 (2)]** タブの **[時計設定]** に表示されます。

5 設定項目

現在の設定を表示します。必要に応じて、ドロップダウンメニュー、直接入力またはその他の適切な方法を使用して設定を変更します。

6 終了

[本体設定] を終了し、「**プリンター設定ツール**」のメイン画面に戻ります。

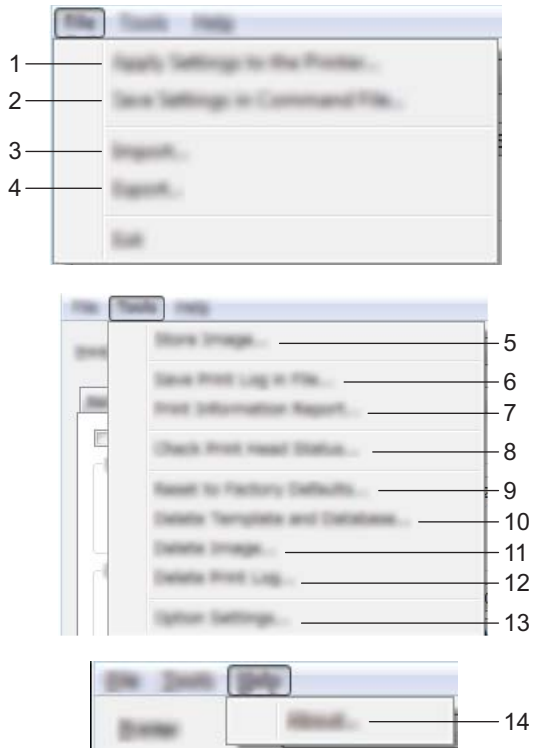
7 設定

[設定] をクリックすると、設定内容がプリンターに適用されます。

設定した内容をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンメニューから **[コマンドファイルに保存]** を選択します。

保存したコマンドファイルをマスストレージ機能で使用して、設定をプリンターに適用できます。(「マスストレージ機能」(90 ページ) をご覧ください。)

メニューバー



1 プリンターへ設定する
設定内容をプリンターに適用します。
[**設定**] ボタンをクリックした場合と同じ操作を実行します。

2 設定内容をコマンドファイルに保存する
設定内容をコマンドファイルに保存します。
[**コマンドファイルに保存**] が [**設定**] ドロップダウンメニューから選択した場合と同じ操作を実行します。

3 インポート
エクスポートしたファイルをインポートし、設定を本ツールに適用します。

4 エクスポート
現在の設定内容をコマンドファイルに保存します。

5 画像を登録する（RJ-3150 のみ）
[**プリンター**] で RJ-3050 が選択されていると、この項目は使用できません。[**画面設定 (1)**] タブで、LCD の背景に表示される画像と、プリンターの電源を入れたときに LCD に表示される起動時画面画像を登録できます。詳しくは、「画像の登録（RJ-3150 のみ）」（78 ページ）をご覧ください。

6 印刷履歴をファイルに保存する

印刷履歴を CSV 形式でファイルに保存します。

印刷履歴には次の情報が含まれます。

- 印刷日時（RJ-3150 のみ。各印刷ジョブが終了した時間を記録します。）
- キー番号 *
- テンプレート名 *
- テンプレートにリンクしたデータベースの名前 *
- データベース内のレコードの数 *
- 印刷枚数
- エラー情報

* プリンターに保存したテンプレートを印刷したときのみ。

メモ

[拡張機能] タブの **[本体の印刷履歴保存]** が **[無効]** に設定され、設定がすでにプリンターに適用されている場合は、印刷履歴をファイルに保存できません。

7 本体情報を印刷する

[拡張機能] タブでプリンター設定情報のために選択した内容が印刷されます。

「本体設定情報の印刷」（115 ページ）をご覧ください。

メモ

プリンター設定情報は、（フィード）ボタンを長押しして印刷することもできます。詳しくは、「本体設定情報の印刷」（115 ページ）をご覧ください。

8 印字ヘッドの状態を確認する

線が途切れていないか印字ヘッドを確認します。

9 工場出荷状態に戻す

通信設定を含むすべての印刷設定を工場出荷時の設定に戻します。ただし、プリンターに保存したテンプレート、データベースおよび画像、印刷ログは削除されません。

10 テンプレートとデータベースの内容を削除する

プリンターに保存したテンプレートとデータベースを削除します。

11 画像を削除する（RJ-3150 のみ）

[プリンター] で RJ-3050 が選択されていると、この項目は使用できません。[本体設定] を使用して登録された画像すべてを削除します。

12 印刷履歴を削除する

プリンターに保存した印刷履歴を削除します。

13 オプション設定

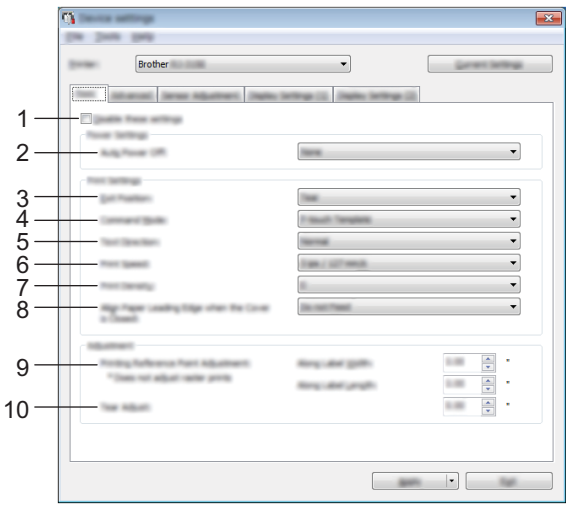
[起動時に現在値を取得できなかった場合、エラーメッセージを表示しない。] チェックボックスを選択した場合、次回はメッセージが表示されません。

14 バージョン情報

バージョン情報を表示します。

各設定タブ

基本設定タブ



1 このページの内容を設定しない

このボックスを選択すると、タブに が表示され、設定や変更ができなくなります。

が表示されているタブの内容は、[**設定**] をクリックしてもプリンターには適用されません。また、[**コマンドファイルに保存**] や [**エクスポート**] を実行した場合にも、タブの内容は保存またはエクスポートされません。
設定をプリンターに適用したり、保存またはエクスポートする場合は、ボックスのチェックが外れていることを確認してください。

2 オートパワーオフ

本機の電源が自動的に切れるまでのまでの時間を指定します。
設定項目：[**なし**]、1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/20/30/40/50/60 分

3 発行方式（RJ-3150 のみ）

[**プリンター**] で RJ-3050 が選択されていると、この項目は使用できません。用紙の出力位置を選択します。
設定項目：[**ティアバー**], [**ハクリ**]

4 コマンド系

プリンターのコマンド形式を選択します。
設定項目：[**ラスター**], [**ESC/P**], [**P-touch Template**]

5 印刷の向き

印刷の向きを選択します。
設定項目：[**回転しない**], [**回転する**]
この設定は、プリンタードライバーを使用しない場合にのみ適用されます。プリンタードライバーを使用する場合は、プリンタードライバーで行った設定が適用されます。

6 印刷速度
プリンターの印刷速度を選択します。
設定項目：[**2 ips / 50.8 mm/s**], [**3 ips / 76.2 mm/s**], [**4 ips / 101.6 mm/s**], [**5 ips / 127 mm/s**]

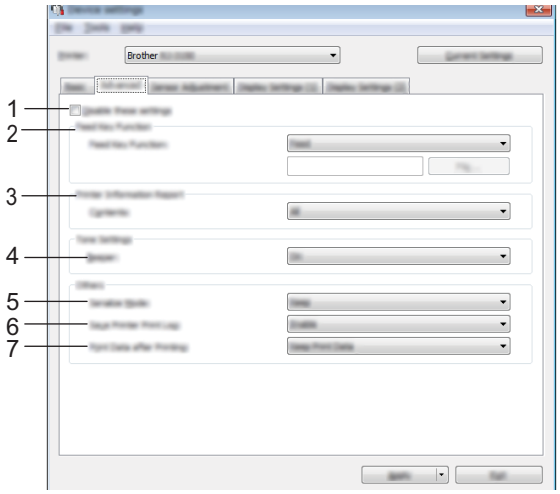
7 印刷の濃さ
本機の印刷の濃さを調整します。
設定項目：-5–+5

8 カバークローズ時の用紙先端合わせ
カバーを閉じたとき、用紙を自動でフィードするかどうかを選択します。
設定項目：[フィードする], [フィードしない]

9 印字基点補正
基準点の位置（印字位置を決める原点の基点）を調整します。プリンターモードの違いやアプリケーションで固定した余白によって印刷結果がずれるような場合に、印字誤差を調整します。
ラスター印刷時は補正できませんのでご注意ください。

10 ティアバー位置補正
用紙をカットするためのティアバーの位置を調整します。
設定項目：-10.0 ～ 10.0 mm

詳細設定タブ



1 このページの内容を設定しない

このボックスを選択すると、タブに が表示され、設定や変更ができなくなります。

が表示されているタブの内容は、[**設定**] をクリックしてもプリンターには適用されません。また、[**コマンドファイルに保存**] や [**エクスポート**] を実行した場合にも、タブの内容は保存またはエクスポートされません。
設定をプリンターに適用したり、保存またはエクスポートする場合は、ボックスのチェックが外れていることを確認してください。

2 フィードキー機能設定

（フィード）ボタンを押したときに実行される操作を選択します。
[**プログラム設定**] が選択されている場合は、[**ファイル**] ボタンをクリックし、コマンドファイルを選択します。
設定項目：[**フィードする**], [**プログラム設定**]

3 本体情報印刷

本体設定情報の印刷時に印刷するセクションを選択します。
設定項目：[**すべて**], [**印刷履歴**], [**本体設定**], [**転送データ**]
（「本体設定情報の印刷」（115 ページ）をご覧ください。）

4 ブザー音

操作パネルのボタンを押したときに警告音を鳴らすかどうかを選択します。
設定項目：[**オン**], [**オフ**]

5 連番モード

印刷された最後の番号から順番に並べるかどうかを選択します。
設定項目：[**維持する**], [**初期値に戻す**]

6 本体の印刷履歴保存

プリンターの印刷履歴を保存するかどうかを選択します。[**無効**] を選択すると、[**ツール**] - [**印刷履歴をファイルに保存する**] を実行できません。

設定項目：[**有効**], [**無効**]

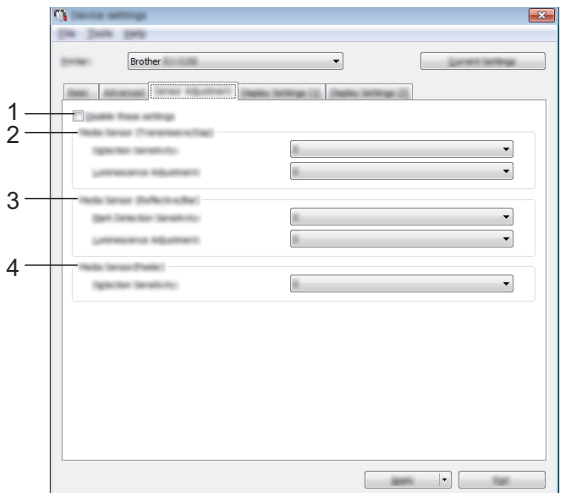
7 印刷後の印字データ

印刷した後、自動的に印刷データを消去するかどうかを選択します。

設定項目：[**消去する**], [**消去しない**]

センサー調整タブ

RD ロールをご使用の場合は、センサーを調整する必要はありません。



1 このページの内容を設定しない

このボックスを選択すると、タブに が表示され、設定や変更ができなくなります。

が表示されているタブの内容は、[**設定**] をクリックしてもプリンターには適用されません。また、[**コマンドファイルに保存**] や [**エクスポート**] を実行した場合にも、タブの内容は保存またはエクスポートされません。

設定をプリンターに適用したり、保存またはエクスポートする場合は、ボックスのチェックが外れていることを確認してください。

2 用紙センサー（透過型 / ギャップ）（RJ-3150 のみ）

[**プリンター**] で RJ-3050 が選択されていると、この項目は使用できません。透過型 / ギャップセンサーのパラメータについて、以下の調整ができます。

[**セパレーター検出レベル補正**]

プレカット紙ラベルのギャップ（隙間）を検出するセンサーの精度を調整します。

設定項目：-2–+2

[**発光量の補正**]

透過型 / ギャップセンサーが放つ光の量を調整します。

設定項目：-2–+2

3 用紙センサー（反射型 / バー）

透過型 / ギャップセンサーのパラメータについて、以下の調整ができます。反射型 / 黒マークセンサーのパラメータを調整できます。

[黒マーク検出レベル補正]

黒マークを検出するセンサーの精度を調整します。

設定項目：-2–+2

[発光量の補正]

反射型 / 黒マークセンサーが放つ光の量を調整します。

設定項目：-2–+2

4 用紙センサー（ハクリ）（RJ-3150 のみ）

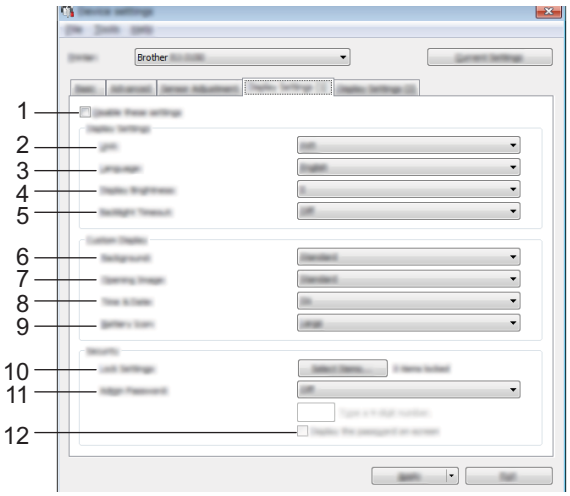
[プリンター] で RJ-3050 が選択されていると、この項目は使用できません。ハクリユニットを使用する場合は、設定を行ってください。

用紙が剥離されたかどうかを検出するセンサーの精度を調整します。

設定項目：-2–+2

画面設定 (1)（RJ-3150 のみ）

[プリンター] で RJ-3150 が選択されている場合にのみ、次の画面が表示されます。



1 このページの内容を設定しない

このボックスを選択すると、タブに が表示され、設定や変更ができなくなります。

が表示されているタブの内容は、**[設定]** をクリックしてもプリンターには適用されません。また、**[コマンドファイルに保存]** や **[エクスポート]** を実行した場合にも、タブの内容は保存またはエクスポートされません。

設定をプリンターに適用したり、保存またはエクスポートする場合は、ボックスのチェックが外れていることを確認してください。

2 単位
表示される設定の単位を選択します。
設定項目：[ミリ], [インチ]

3 言語
LCD の表示言語を選択します。
設定項目：**[English]**, **[Español]**, **[Français]**, **[Português]**, **[Deutsch]**, **[Nederlands]**, **[Italiano]**, **[Dansk]**, **[Svenska]**, **[Norsk]**, **[Suomi]**, [日本語]

メモ

お使いの機種によって、表示可能な言語が異なります。表示できない言語を選択した場合、LCD の表示言語は変更されません。
選択した言語が LCD に表示されることを確認してください。

4 画面の明るさ
LCD の明るさを選択します。
設定項目：-2–+2

5 消灯までの時間
LCD のバックライトが自動的に消灯するまでのアイドル時間を指定します。
設定項目：[オフ], **[5 秒]**, **[10 秒]**, **[20 秒]**, **[30 秒]**, **[60 秒]**

6 壁紙
本機の LCD の背景に表示する画像を選択します。
設定項目：[**標準画像**], [カスタム 1], [カスタム 2], [カスタム 3]

メモ

カスタム 1 ～ 3 を選択する場合は、事前に画像を登録してください。詳しくは、「画像の登録（RJ-3150 のみ）」（78 ページ）をご覧ください。

7 起動時画面
本機に電源を入れたときに、LCD の背景に表示する起動時画面画像を選択します。
設定項目：[オフ], **[Standard]**, [カスタム 1], [カスタム 2], [カスタム 3]

メモ

カスタム 1 ～ 3 を選択する場合は、事前に画像を登録してください。詳しくは、「画像の登録（RJ-3150 のみ）」（78 ページ）をご覧ください。

8 日時表示有無
本機の LCD に日時を表示するかどうかを選択します。
設定項目：[オン], [オフ]

9 電池アイコン
本機の LCD に表示する電池アイコンのサイズを選択します。
設定項目：[大], [小]

10 設定キー禁止

プリンターの LCD 画面上での変更を禁止したい項目にチェックを入れます。[設定キー禁止] が設定されている場合は、選択できない値にロックアイコンが表示されます。

設定項目：[**印刷設定**], [**テンプレート設定**], [**時計設定**], [**オートパワーオフ**], [**用紙リスト選択**], [**用紙リスト消去**], [**カスタム表示設定**], [**無線 LAN (On/Off)**], [**WPS**], [**Bluetooth (On/Off)**]

11 管理パスワード

プリンターを使用して管理メニューを開始する際にパスワードを要求するかどうかを選択します。

設定項目：[**オン**], [**オフ**]

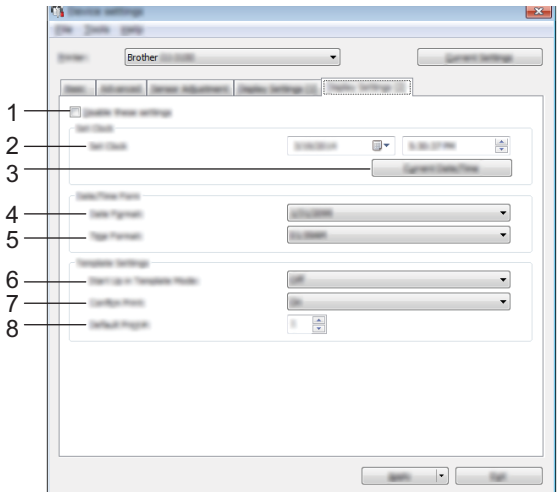
[オン] を選択した場合は、4 桁のパスワードを指定します。

12 パスワードを画面に表示する

このチェックボックスを選択すると、パスワードがコンピューターの画面に表示されます。

画面設定 (2)（RJ-3150 のみ）

[プリンター] で RJ-3150 が選択されている場合にのみ、次の画面が表示されます。



1 このページの内容を設定しない

このボックスを選択すると、タブに が表示され、設定や変更ができなくなります。

が表示されているタブの内容は、[**設定**] をクリックしてもプリンターには適用されません。また、[**コマンドファイルに保存**] や [**エクスポート**] を実行した場合にも、タブの内容は保存またはエクスポートされません。

設定をプリンターに適用したり、保存またはエクスポートする場合は、ボックスのチェックが外れていることを確認してください。

2 時計設定

LCD の日付と時刻を設定します。

3 現在時刻

クリックすると、コンピューターの現在の日付と時刻が取得、表示します。

4 日付形式
時計の日付の形式を選択します。

5 時刻形式
時計の時刻の形式を選択します。

6 テンプレートモードで起動
本機の電源を入れたときにテンプレートモードを開始するかどうかを選択します。
設定項目：[オン], [オフ]

メモ
テンプレートモードでは、本機に保存したテンプレートの内容を取り換えて、それらを印刷できます。

7 印刷前の確認
印刷する前にコピーの枚数を確認するメッセージを表示するかどうかを選択します。
設定項目：[オン], [オフ]

8 印刷枚数初期値
印刷時に表示する印刷枚数の初期値を指定します。
設定項目：1–999

画像の登録（RJ-3150 のみ）

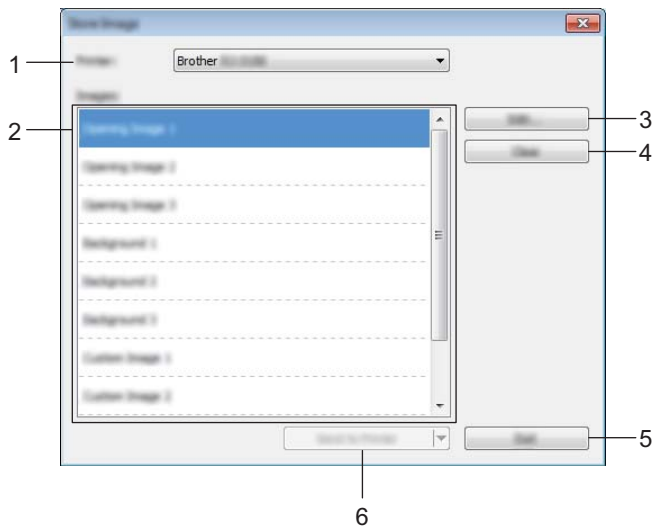
画像をプリンターに登録し、画像にタイトルを追加します。

プリンターに登録されたデータは、コマンドファイルとして保存できます。

登録した画像は、プリンターの電源を入れたときに、LCD の背景、または LCD に表示できます。

登録画像の画面を開くには、プリンター設定ツールの [**本体設定**] を開き、メニューバーの [ツール] から [**画像を登録する**] を選択します。

メイン画面



1 プリンター
設定を行うプリンターを選択します。接続したプリンターが 1 台のみの場合は、そのプリンターだけが表示されるため、選択する必要はありません。

2 **転送画像リスト**
画像とタイトルは、リストで確認できます。編集または削除する画像を選択します。
登録できる画像の数は、次のとおりです。
- 起動時画面画像：3
- 壁紙の画像：3
- カスタム画像：10

3 **編集**
転送画像リストで選択された画像またはタイトルを編集します。
このボタンを押すと、編集画面が表示されます。

4 クリア
選択された画像またはタイトルを転送画像リストから消去します。

5 終了
画像の登録画面を終了します。

6 本体に送信

転送画像リストに登録されている画像とタイトルを、プリンターリストで選択したプリンターへ登録します。

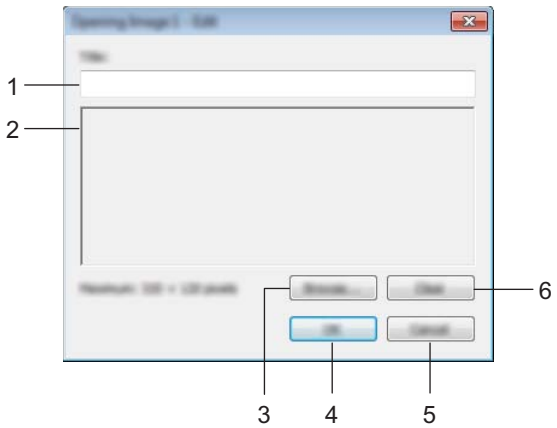
すでにプリンターに登録されており、転送画像リストに登録されていない画像は、プリンターに登録されたままになります。

重要

すでに登録してある、必要な画像に上書きしないよう注意してください。

[**本体に送信**] をクリックすると、設定内容がプリンターに適用されます。設定した内容をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンメニューから [**コマンドファイルに保存**] を選択します。保存したコマンドファイルをマスストレージ機能で使用して、設定をプリンターに適用できます。（「マスストレージ機能」（90 ページ）をご覧ください。）

編集画面



1 タイトル編集ボックス

登録する画像のタイトルを入力します。

タイトルには、最大 16 の半角文字と記号を使用できます。

2 画像プレビュー

選択した画像を参照用に表示します。

3 参照

画像を選択するダイアログボックスを表示します。

メモ

- サポートされる画像の形式は、BMP、PNG、JPEG（JPG）です。
- 登録できる最大の画像サイズは、起動時画面画像とカスタム画像の場合は 320×120 ピクセル、壁紙画像の場合は 320×90 ピクセルです。

  これより大きい画像は選択できません。

  これより小さい画像は、黒いエリアの中心に配置され拡大表示されることはありません。

4 **OK**

ブラウザー機能を使用して設定したタイトルや情報を保存し、メイン画面の転送画像リストに戻ります。

5 キャンセル

変更内容を保存せずに、メイン画面の転送画像リストに戻ります。

6 クリア

タイトルと画像を削除します。[**参照**] ボタンを使用して、他の画像を選択します。

[クリア] ボタンを押した後、[**OK**] ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。削除された画像は、メイン画面からも削除されます。

P-touch Template 設定

P-touch Template モードは、本機に接続したバーコードリーダーなどの機器からのデータを、本機に保存したレイアウトのテキストオブジェクトやバーコードオブジェクトに挿入する機能を提供します。ラベルやバーコードを簡単に印刷できるため便利です。

「プリンター設定ツール」の [**P-touch Template 設定**] では、P-touch Template 機能を使用するための設定や変更を行うことができます。

P-touch Template について

P-touch Template 機能には、次の 3 種類があります。

基本操作

■ 定型テンプレート印刷機能

使用頻度の高いラベルのレイアウトを本機に登録しておくと、バーコードを読み取るだけで同じラベルが印刷できます。

■ バーコード作成（コピー）印刷機能

読み取ったバーコードをあらかじめ本機に登録しておいたテンプレートのサイズや規格に合わせて印刷します。

■ データベース置換印刷機能

ラベルデータのオブジェクトをデータベースに接続して、テンプレートとして本機に登録しておくと、データベースのキーとなるバーコードを読み取ることで、テンプレートのオブジェクトをデータベースの内容に置き換えて印刷します。

応用操作

■ ナンバリング（連番）印刷機能

ラベルの番号、バーコードの番号を自動で 1 カウントアップさせながら印刷します。

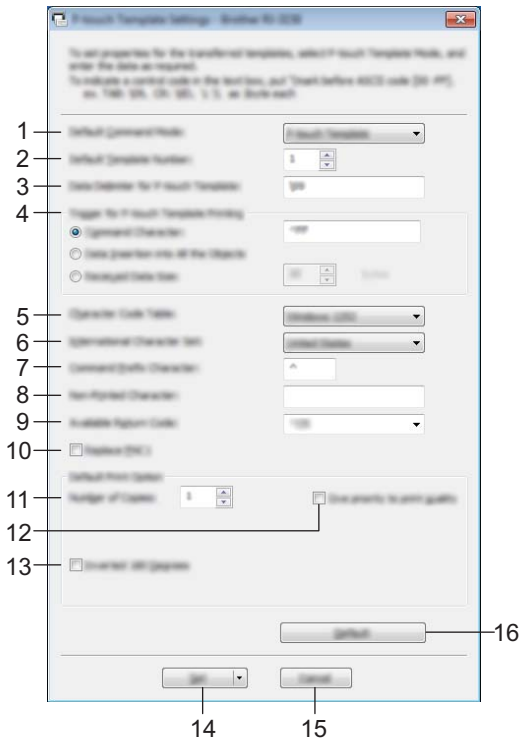
メモ

コマンドリファレンスを使用する場合は、P-touch Template コマンドリファレンスをご覧ください。最新版は弊社サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) からダウンロードできます。

http://support.brother.co.jp/

製品を選択し、[**製品マニュアル**] を選択します。

P-touch Template 設定ダイアログボックス



1 コマンドモード
P-touch Template を使用する場合は、**[P-touch Template]** モードを選択してください。
設定項目：**[P-touch Template]**, **[ESC/P]**, **[Raster]**

2 テンプレート番号初期値
本機の電源を入れたときに、デフォルトで選択されるテンプレート番号を指定します。
ただし、本体に転送されていないテンプレート番号は指定できません。

3 区切り記号
区切り記号を使用して、送信中のデータ内の次のオブジェクトにいつ移行するかを示します。1 ～ 20 文字で指定できます。

4 印刷開始トリガ
印刷開始トリガを、次の 3 つから選択します。
[印刷開始コマンド文字列]：ここで指定したコマンドキャラクターが受信されると、印刷を開始します。
[すべてのオブジェクトのデータ取得後]：最終オブジェクトで区切り記号を受信したとき、印刷を開始します。
[指定データサイズ受け取り後]：ここで指定した文字数を受信すると、印刷を開始します。ただし、区切り文字は、文字数にカウントされません。

5 文字コードセット
次の 3 つの文字セットから 1 つを選択します。
設定項目：**[Windows 1252]**, **[Windows 1250 Eastern Europe]**, **[Brother standard]**

6 国際文字

次の国から 1 つを選択します。

設定項目：**[United States]**, **[France]**, **[Germany]**, **[Britain]**, **[Denmark]**, **[Sweden]**, **[Italy]**, **[Spain]**, **[Japan]**, **[Norway]**, **[Denmark II]**, **[Spain II]**, **[Latin America]**, **[Korea]**, **[Legal]**

上記のリストから選択した国により、次の 12 のコードを差し替えます。

23h 24h 40h 5Bh 5Ch 5Dh 5Eh 60h 7Bh 7Ch 7Dh 7Eh

差し替えられる文字について、詳しくはブラザーソリューションセンターのホームページで、P-touch Template マニュアルをご覧ください。

7 プレフィックス文字列

プレフィックス文字コードを変更します。1 つの文字コードを設定します。

プレフィックス文字とは、P-touch Template モードで使用するコマンドを識別するためのコードです。

8 読み捨て文字列

ここで指定した文字は、データ受信時に印刷されません。1 ～ 20 文字を指定します。

9 改行コード

改行コードは、データの入力時に、次のデータをテキストオブジェクト内の次の行に移動する場合に使用します。次の 4 つの改行コードの 1 つを選択できます。または改行コードとして 1 文字から 20 文字を指定できます。

設定項目：**[^CR]**, **[\0D\0A]**, **[\0A]**, **[\0D]**

10 FNC1 置換

バーコード規格 GS1-128（UCC/EAN-128）などに含まれる GS コードを FNC1 コードに置き換えるかどうかを選択します。

このチェックボックスを選択すると、受信した GS コードを FNC1 コードで置き換えます。チェックを外すと、受信した GS コードはそのまま出力されます。

11 印刷枚数

印刷枚数を設定します。1 ～ 99 の数字を設定できます。

12 品質優先

印刷品質の設定を選択します。このチェックボックスを選択すると、印刷品質が優先されます。

チェックを外すと、印刷速度が優先されます。

13 180 度回転

このチェックボックスを選択すると、180 度回転して印刷します。

14 設定

[設定] ボタンをクリックすると、設定は、ダイアログボックスが閉じるときに .ini ファイルとして保存されます。

設定した内容をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンメニューから **[コマンドファイルに保存]** を選択します。保存したコマンドファイルをマスストレージ機能で使用して、設定をプリンターに適用できます。（「マスストレージ機能」（90 ページ）をご覧ください。）

15 キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定内容は保存されません。

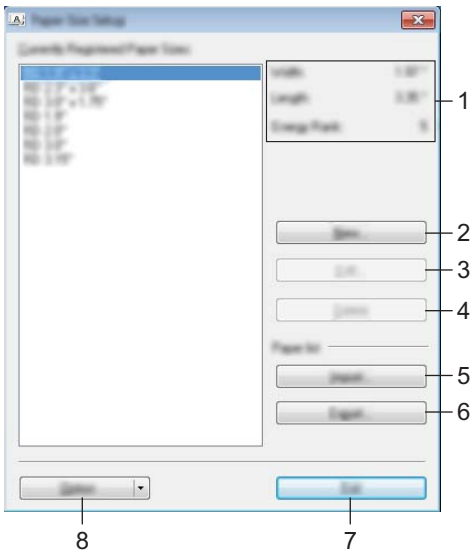
16 既定値に戻す

このボタンをクリックすると、工場出荷時の設定に戻ります。

用紙サイズ設定

「**プリンター設定ツール**」の [**用紙サイズ設定**] では、プリンタードライバーの [**用紙サイズ**] リストにない用紙サイズを追加できます。
本機に用紙サイズを追加するためには、通常のプリンターの用紙設定とは異なり、用紙の形式を本機に送る必要があります。
本機に登録されていない用紙の形式を使用して印刷すると、意図した印刷結果を得られないことがあります。

用紙サイズ設定ダイアログボックス



1 現在の設定
選択した用紙の形式について、現在の設定が表示されます。

2 新規
このボタンをクリックすると、[**新規**] ダイアログボックスが表示され、新しい用紙の形式を登録できます。詳しくは、「新規ダイアログボックス」（86 ページ）をご覧ください。

重要

登録済みの用紙と同じサイズの用紙は、登録しないでください。意図しない印刷結果になることがあります。
現在登録されている用紙と同じサイズの用紙を使用する場合は、[**用紙サイズ設定**] ダイアログボックスの [**現在登録されている用紙**] リストから、必要なサイズを選択し、[**編集**] ダイアログボックスで設定を変更してください。

3 編集
選択した用紙の形式の設定を編集します。
編集した用紙の形式を上書きして保存する場合は、[**上書き**] をクリックします。編集した用紙の形式を追加する場合は、[**追加**] で名前を変更し、[**用紙名**] をクリックします。
あらかじめ設定された RD ロールの形式は編集できません。

4 削除
選択された用紙の形式を削除します。削除した用紙の形式は復元できません。

5 インポート
用紙の形式の設定が記載されたテキストファイルを読み込んで、[**現在登録されている用紙**] リストの内容を置き換えます。

重要
リストをインポートすると、[**現在登録されている用紙**] リストの内容すべてがインポートした用紙の形式で置き換えられます。

6 エクスポート
[**現在登録されている用紙**] リストの用紙の形式をファイルにエクスポートします。エクスポートした形式は、他のコンピューターに配布できます。詳しくは、「用紙の形式を配布する」（89 ページ）をご覧ください。

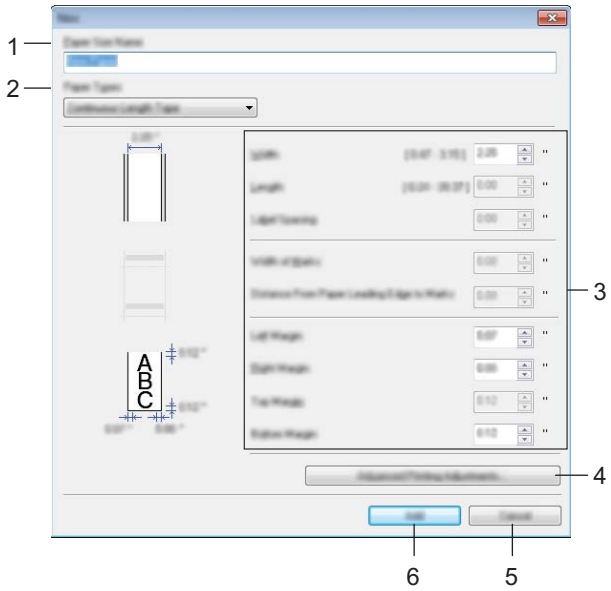
7 終了
[**用紙サイズ設定**] を終了し、「**プリンター設定ツール**」のメイン画面に戻ります。

8 オプション
[▼] ボタンをクリックし、操作を選択します。
[**本体に用紙を登録する**] をクリックすると、選択した用紙の形式が本機に登録されます。
[**コマンドファイルに保存**] をクリックすると、用紙の設定内容がコマンドファイルとしてエクスポートされます。（ファイルの拡張子は「.bin」です。）

メモ
- 本体に用紙を登録し、[**終了**] をクリックすると、[**用紙サイズ設定**] 画面が表示されます。[**現在登録されている用紙**] リストには追加した用紙サイズが表示されます。アプリケーションが実行中の場合は、終了し再起動すると、新しい用紙の形式がリストに表示されます。
- 次の機能を使用すると、これらの設定を簡単に本機に適用できます。
  - マスストレージ機能（90 ページ）
  - Bluetooth（Object Push Profile（OPP））
  - Wi-Fi®（File Transfer Profile（FTP））

重要
これらの設定コマンドは、設定をプリンターに適用するために使用します。これらのコマンドは [**用紙サイズ設定**] にインポートできません。

新規ダイアログボックス



1 用紙名
追加する用紙設定の名前を入力します。

2 用紙種類
用紙種類を選択します。
設定項目：[**長尺テープ**], [**ダイカットラベル**], [**マーク付きメディア**]

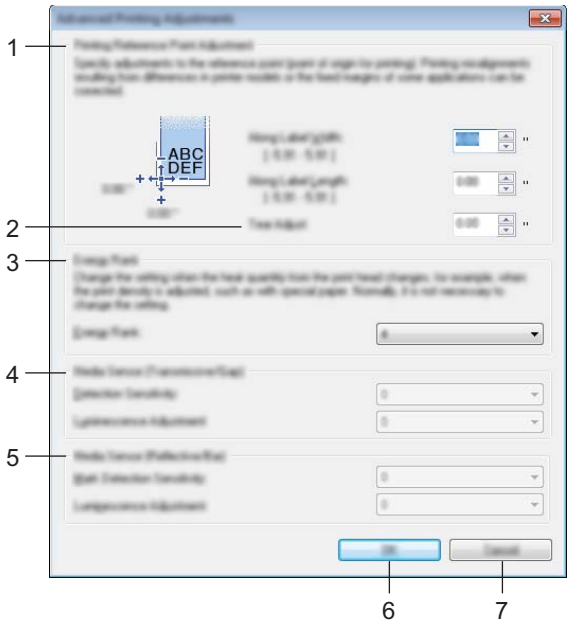
3 詳細設定：
追加する用紙の詳細を指定します。

4 印字調整
このボタンをクリックすると、[**印字調整**] 画面が表示され、用紙ごとに詳細な印刷調整を行うことができます。詳しくは、「印字詳細調整ダイアログボックス」（87 ページ）をご覧ください。

5 キャンセル
設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定内容は保存されません。

6 追加
このボタンをクリックすると、用紙設定が追加されます。

印字詳細調整ダイアログボックス



1 印字基点補正
基準点の位置（印字位置を決める原点の基点）を調整します。プリンターモードの違いやアプリケーションで固定した余白によって印刷結果がずれるような場合に、印字誤差を調整します。

2 ティアバー位置補正
ティアバーで用紙をカットする際のカット位置を調整します。
設定項目：-10.0mm ～ 10.0mm

3 エネルギーランク
特殊な用紙など、印字ヘッドの熱量（エネルギー）調整が必要な場合に設定します。

メモ

- レシート用紙を使用する場合は、[エネルギーランク] を [3] に調整してください。
- お使いの環境や媒体によって、印字結果に濃淡の差が発生する場合があります。必要に応じて設定を変更してください。

4 用紙センサー（透過型 / ギャップ）
透過型 / ギャップセンサーがダイカットラベルのギャップ（隙間）を検出する精度、およびセンサーの光量を調整します。
[**用紙種類**] が [**ダイカットラベル**] に設定されている場合に設定できます。

メモ

[**本体設定**] ダイアログボックス（「センサー調整タブ」（73 ページ）をご覧ください）の [**用紙センサー（透過型 / ギャップ）**] の設定が影響するため、適切な値を指定してください。

設定例：

	設定例 1	**設定例 2**
本体設定	+2	-2
用紙サイズ設定	+2	+2
実際の効果	**4**	**0**

5 **用紙センサー（反射型 / バー）**

反射型 / 黒マークセンサーが黒マークを検出する精度、およびセンサーの光量を調整します。

[**用紙種類**] が [**マーク付きメディア**] に設定されている場合に設定できます。

メモ

[**本体設定**] ダイアログボックス（「センサー調整タブ」（73 ページ）をご覧ください）の [**用紙センサー（反射型 / バー）**] の設定が影響するため、適切な値を指定してください。

設定例：

	設定例 1	**設定例 2**
本体設定	+2	-2
用紙サイズ設定	+2	+2
実際の効果	**4**	**0**

6 **OK**

設定を保存し、前のダイアログボックスに戻ります。

7 **キャンセル**

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定内容は保存されません。

用紙の形式を配布する

エクスポートした [**現在登録されている用紙**] の情報を他のコンピューターに配布できます。

用紙の形式のみを配布する

配布先のコンピューターにプリンタードライバーがインストールされている場合は、用紙の情報のみを配布します。

1. 配布元のコンピューターでフォーマットの各項目を設定し、[**エクスポート**] をクリックします。(詳しくは、「用紙サイズ設定」(84 ページ) をご覧ください。)
   次のファイルが作成されます。
   RJ-3150：
   bsr315ed.txt、bsr315ed.ptd、pdt3437.bin
   RJ-3050：
   bsr305ed.txt、bsr305ed.ptd、pdt3337.bin
2. bsr315ed.txt または bsr305ed.txt を配布先のコンピューターに保存します (任意の場所)。
3. 配布先のコンピューターで、[**インポート**] をクリックします。
   フォーマットが置き換えられます。

4 その他の機能

マスストレージ機能

内容

マスストレージ機能を使用すると、USB を介してデータをコンピューターなどの装置から本機に送信することで、コマンドおよび JPEG 印刷を実行できます。RJ-3150 では OK ボタン、RJ-3050 では (Bluetooth) ボタンを押すと、コンピューターのマスストレージ領域にコピーされたファイルが処理されます。

この機能は、次のような場合に便利です。

- コマンドファイル (.bin 形式) に保存された設定や管理者から配布された .blf 形式のファイルに保存されたテンプレートを、専用のツールを使用せずに適用する場合
- プリンタードライバーをインストールせずに、コマンドまたは JPEG 印刷を実行する場合
- データを印刷し送信するための USB ホスト機能を持つ OS (Windows 以外の OS を含む) を搭載した機器を使用する場合

マスストレージ機能を使用する

1. 本機の電源が入っていないことを確認します。
2. RJ-3150 は OK ボタン、RJ-3050 は (Bluetooth) ボタンを押しながら、(電源) ボタンを長押しします。
   本機をマスストレージモードで起動します。RJ-3150 の場合は、LCD に「マスストレージ」とメッセージが表示されます。RJ-3050 の場合は、電源表示ランプと状態表示ランプが緑色に点灯します。
3. コンピューターなどの装置と本機を USB で接続します。
   本機のマスストレージ領域がコンピューターなどの装置の画面に表示されます。

メモ

マスストレージ領域が自動的に表示されない場合は、表示方法について、お使いのコンピューターなどの装置の取扱説明書をご覧ください。

4. 対象のファイルをドラッグ & ドロップで、マスストレージ領域にコピーします。
5. RJ-3150 は OK ボタン、RJ-3050 は (Bluetooth) ボタンを押します。
   コマンドファイルが実行されます。
   RJ-3150 の場合は、LCD に「転送中」とメッセージが表示されます。RJ-3050 の場合は、Bluetooth ランプが青色に点灯します。
6. ファイルの実行後、RJ-3150 の場合は、LCD に「マスストレージ」とメッセージが再度表示され、RJ-3050 の場合は、Bluetooth ランプが消灯します。
7. マスストレージモードを解除するには、本機の電源を切ります。
   再度起動したときに、本機は通常モードで起動します。

重要

- 電源を切ると、マスストレージモードが解除され、マスストレージ領域内のファイルは削除されます。
- この機能で使用できるファイル形式は、.bin、.blf、.jpeg です。他の形式のファイルは使用しないでください。
- マスストレージ領域内にフォルダーを作成しないでください。フォルダーを作成した場合、フォルダー内のファイルは実行されません。
- マスストレージ領域の容量は、2.5MB です。2MB 以上のファイルの使用は、動作を保証できませんのでご注意ください。
- 複数のファイルをコピーした場合、ファイルの実行順は保証できませんのでご注意ください。
- 本機がマスストレージモードで動作している間は、Wi-Fi 機能と Bluetooth 機能を使用できません。
- コピーしたファイルの実行中は、マスストレージ領域の他のファイルにアクセスしないでください。

JPEG 印刷について

画像データ（JPEG）は、プリンタードライバーを使用せずに印刷できます。

メモ

- JPEG 画像は、マスストレージ機能を使用して印刷できます。
- Bluetooth 接続による印刷には OPP（Object Push Profile）が使用されます。
- 本機は、ディザリング処理を使用して、カラーの JPEG 画像をモノクロの画像に変換します。
- すでにモノクロの JPEG 画像を送信すると、ディザリングによって印刷した画像が不鮮明になることがあります。
- このような画像品質を改善するためには、JPEG 画像の前処理をオフにしてください。

■ 印刷できるのは JPEG 画像のみです。（拡張子 .jpeg のファイルに限定されます。）

■ 最大ファイルサイズは 5MB です。
（マスストレージ機能を使用する場合は 2.38MB。）

■ 最大解像度は次のとおりです。

高さ × 幅 = 8000×576 ドット

これらのドット数を超える場合、プリンターが受信するデータは廃棄され、印刷されません。

■ 印刷は 1 ピクセル = 1 ドットです。

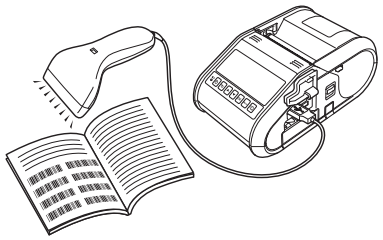
■ 本機は、二値画像処理（シンプルバイナリー）を実行して画像を印刷します。

■ 画像は、受信したデータの高さと幅の比率で印刷されます。

5 P-touch Template を使用してラベルを印刷する（RJ-3150 のみ）

P-touch Template 機能

本機にバーコードリーダーを接続して、バーコードを読み取るだけでパソコンに接続しなくても、ラベルやバーコードを簡単に印刷できます。



基本操作

■ 定型テンプレート印刷機能（95 ページをご覧ください）

使用頻度の高いラベルのレイアウトを本機に登録しておくと、バーコードを読み取るだけで同じラベルが印刷できます。

■ バーコード作成（コピー）印刷機能（97 ページをご覧ください）

読み取ったバーコードをあらかじめ本機に登録しておいたテンプレートのサイズや規格に合わせて印刷します。

■ データベース置換印刷機能（99 ページをご覧ください）

ラベルデータのオブジェクトをデータベースに接続して、テンプレートとして本機に登録しておくと、データベースのキーとなるバーコードを読み取ることで、テンプレートのオブジェクトをデータベースの内容に置き換えて印刷します。

応用操作

■ ナンバリング（連番）印刷機能（102 ページをご覧ください）

ラベルの番号、バーコードの番号を自動で 1 カウントアップさせながら印刷します。

事前準備

本機にバーコードリーダーを接続する前に、「P-touch Template 設定」ツールとバーコードリーダーの設定をしておきます。

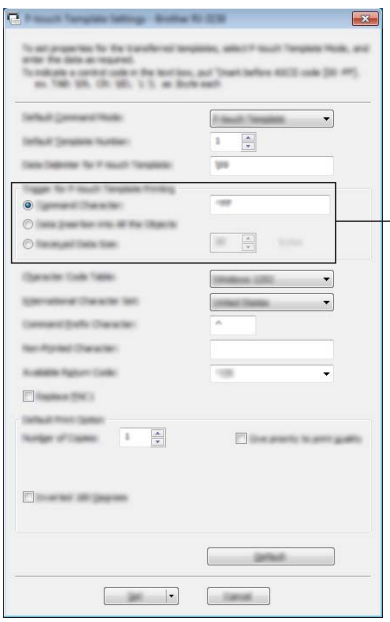
P-touch Template 設定ツールで設定する

1. P-touch Template 設定ツールを開きます。

メモ

P-touch Template 設定ツールを開くには、最初に「**プリンター設定ツール**」を開きます。プリンター設定ツールは、プリンタードライバーなど、他のソフトウェアのインストール時に同時にインストールされます。詳しくは、「プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする」（21 ページ）と「プリンター設定ツール」（49 ページ）をご覧ください。

2. 各項目を設定して、[**設定**] をクリックします。



メモ

初期設定では、バーコードリーダーで「^FF」のコードを読み込んだときに印刷開始します。（これは、A の設定で変更できます。）

[**指定データサイズ受け取り後**] チェックしてバイト数を指定すると指定バイト数のバーコードを読み取り後、自動で印刷させることもできます。設定後に一度でもパソコンから印刷をすると、上記設定がリセットされてしまいます。パソコンから印刷された場合は、再度上記設定を行ってください。

バーコードリーダーを接続する

バーコードリーダーを本機に接続します。

■ バーコードリーダー接続インターフェイス

USB ホストインターフェイスを使用できます。

■ バーコードリーダー動作確認機種（USB 接続で動作確認済み）

- OPI-3601、OPI-2201（オプトエレクトロニクス社）
- LS2208（モトローラ・ソリューションズ社）

■ バーコードリーダーの選択基準

- キーボードとして認識される HID クラスの機種

弊社の推奨機種以外に関しても、前述の基準を満たしていれば、バーコードリーダーが使用できる可能性があります。

バーコードリーダーの仕様を確認後、お客様自身で動作確認を行った上でご使用いただくことをお勧めいたします。

メモ

- 最新の動作確認機種やよくあるご質問（Q&A）は、弊社サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) （http://support.brother.co.jp/）をご覧ください。
- この機能を使用する前に、P-touch Transfer Manager で、使用するラベルレイアウトまたはテンプレートをコンピューターから本機に転送する必要があります。詳しくは、「P-touch Transfer Manager を使用する」（140 ページ）をご覧ください。
- バーコードリーダーは、日本語のキーボードに設定し、プレフィックスまたはサフィックスのないバーコードに設定します。

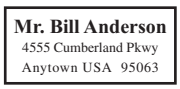
  バーコードリーダーの使用と設定について、詳しくはメーカーにお問い合わせください。

定型テンプレート印刷機能

使用頻度の高いラベルデータをテンプレートとして本機に登録しておくとパソコンに接続してなくてもバーコードを読み取るだけで、同じラベルが簡単に印刷できます。

< 名前ラベル >

< 宛名ラベル >



メモ

- 各設定に必要な読み取り用バーコードは「設定用バーコード一覧」（117 ページ）をご覧ください。
- グループ化されたオブジェクトは変換され、1 つの画像として送られます。

1. 印刷したいラベルデータを P-touch Transfer Manager を使って、P-touch Editor 5.1 から本機に転送します。（詳しくは、「P-touch Transfer Manager を使用する」（140 ページ）をご覧ください。）

メモ

ラベルのテキストオブジェクトを画像にすることができます。画像にすると文字の編集ができなくなるため、よく使うテンプレートを間違って編集してしまうことがなく、便利です。

P-touch Editor のレイアウト画面でテキストオブジェクトを右クリックし、[**プロパティ**] をクリックします。[**拡張**] タブをクリックし、[**文字の編集を禁止する**] にチェックを入れます。

または、[**ツール**] メニューの [**オプション**] を選び、[**全般**] タブをクリックします。次に [**その他**] で [**オブジェクトのプロパティで拡張ページを表示**] を選択します。

チェックボックスのチェックを解除すると、オブジェクトは変換され、編集可能なテキストに戻ります。

2. P-touch Transfer Manager の [**転送用データセット**] にデータを転送すると、[**キー割り当て**] 番号が自動的に設定されます。

メモ

定型テンプレート印刷機能で使用するラベルレイアウトに 1 ～ 10 までの [**キー割り当て**] 番号を指定します。

3. 転送するデータを含むフォルダーを選択し、[**転送**] をクリックして、データを本機に転送します。
4. 設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド（初期設定＋設定開始）」バーコードを読み取ります。
「設定用バーコード一覧」（117 ページ）をご覧ください。
5. 「基本設定」バーコードの中から、設定したい項目のバーコードを読み取ります。

メモ

- 複数の項目を続けて設定できます。
- 何も設定しない場合は、「P-touch Template 設定」ツールでの設定状態に従ってラベルが印刷されます。

  初期設定では、ラベルが 1 枚印刷されます。

  P-touch Template 設定について、詳しくはブラザーソリューションセンターのホームページから、P-touch テンプレートマニュアルをダウンロードしてください。
  http://support.brother.co.jp/
  [製品選択] - **[製品から探す]** - **[ダウンロード]**。
- 印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで 3 桁の数字を読み取ってください。数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

  （例）数字の設定は次のように行います：7 → ［0］［0］［7］、15 → ［0］［1］［5］
- 枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3 桁の数字を読み取りなおしてください。

6 印刷したいラベルの **[キー割り当て]** 番号と同じ番号を持つ「定型テンプレート番号」の下のバーコードを読み込みます。

7 指定したラベルが印刷されます。

バーコード作成（コピー）印刷機能

バーコードリーダーで読み取ったバーコードをあらかじめ本機に登録しておいたテンプレートの規格やサイズに合わせて印刷できます。

メモ

- 各設定に必要な読み取り用バーコードは「設定用バーコード一覧」（117 ページ）をご覧ください。
- バーコードリーダーで読み取るバーコードとあらかじめ本機に登録しておいたテンプレートのバーコード規格が異なる場合は、バーコードを作成して印刷できない場合があります。

1. P-touch Transfer Manager を使用して、印刷するバーコードテンプレートを転送します（P-touch Editor 5.1 から本機へ）。（詳しくは、「P-touch Transfer Manager を使用する」（140 ページ）をご覧ください。）

CODE128/9-digit/69 mm×17 mm

メモ

バーコードを作成する前に、サイズと桁数の制限に準拠したバーコードテンプレートを作成してください。テンプレートで指定した桁数を超えるバーコードは作成できません。

2. P-touch Transfer Manager の [**転送用データセット**] にデータを転送すると、[**キー割り当て**] 番号が自動的に設定されます。
3. 転送するデータを含むフォルダーを選択し、[**転送**] をクリックして、データを本機に転送します。
4. 設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド（初期設定＋設定開始）」バーコードを読み取ります。
   「設定用バーコード一覧」（117 ページ）をご覧ください。
5. 「基本設定」バーコードの中から、設定したい項目のバーコードを読み取ります。

メモ

- 複数の項目を続けて設定できます。
- 何も設定しない場合は、「P-touch Template 設定」ツールでの設定状態に従ってラベルが印刷されます。

  初期設定では、ラベルが 1 枚印刷されます。

  P-touch Template 設定について、詳しくはブラザーソリューションセンターのホームページから、P-touch テンプレートマニュアルをダウンロードしてください。
  http://support.brother.co.jp/
  [製品選択] - [製品から探す] - [ダウンロード]。
- 印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで 3 桁の数字を読み取ってください。数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

  （例）数字の設定は次のように行います：7 → ［0］［0］［7］、15 → ［0］［1］［5］
- 枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3 桁の数字を読み取りなおしてください。

6 「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、バーコードテンプレート **[キー割り当て]** 番号を「テンキー入力」バーコードの数字（3 桁）で読み取ります。

メモ

- 数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

  （例）

  数字の設定は次のように行います：7 → ［0］［0］［7］、15 → ［0］［1］［5］
- 上の（例）では、P-touch Editor 5.1 を用いて「^TS007」や「^TS015」というバーコードを事前に作成して印刷しておきそれを読み取ることで、読み取り回数を 1 回に減らせます。
- 枚数を変更する場合は、もう一度、「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、3 桁の数字を読み取りなおしてください。

7 作成したいバーコードを読み取ります。

（CODE128/9-digit）

8 「印刷開始」のバーコードを読み取ります。

9 テンプレートで設定したサイズ、規格でバーコードが印刷されます。

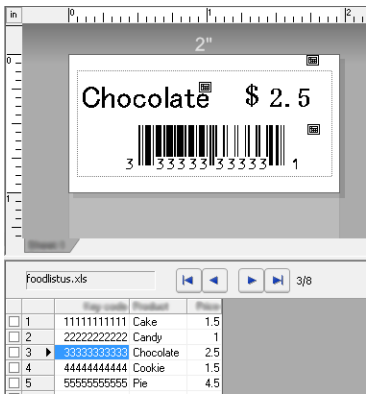
データベース置換印刷機能

ラベルデータのオブジェクトをデータベースに接続して、テンプレートとして本機に登録しておくと、データベースのキーとなるバーコードを読み取ることで、テンプレートのオブジェクトをデータベースの内容に置き換えて印刷します。

メモ

- キーとなるバーコードとは、データベースファイルのレコードビューで左端（フォームビューの "A" 欄）に表示される情報をバーコードにしたものです。事前にこのキーバーコードを作成しておいてください。
- データベースのフォームビュー "A" 欄内の情報は他に同じ内容のものがないようにしてください。また情報が 2 行で入力されていてもバーコードリーダーで読み取ったときには、1 行目の内容しか認識
- できません。フォームビューの "A" 欄の情報は 1 行で入力してください。
- 各設定に必要な読み取り用バーコードは「設定用バーコード一覧」（117 ページ）をご覧ください。

1. 印刷したいラベルデータとデータベースファイルの関連付け（データベース接続）設定を行います。



   設定について、詳しくは [**P-touch Editor ヘルプ**] をご覧ください。

2. ラベルデータを P-touch Transfer Manager を使って、P-touch Editor 5.1 から本機に転送します。（詳しくは、「P-touch Transfer Manager を使用する」（140 ページ）をご覧ください。）
   データベースファイルも転送されます。

3. P-touch Transfer Manager の [**転送用データセット**] にデータを転送すると、[**キー割り当て**] 番号が自動的に設定されます。

4. 転送したいデータを含むフォルダーを選択して、[**転送**] をクリックして、データを本機に転送します。

5. 設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド（初期設定＋設定開始）」バーコードを読み取ります。
   「設定用バーコード一覧」（117 ページ）をご覧ください。

6. 「基本設定」バーコードの中から、設定したい項目のバーコードを読み取ります。

メモ

- 複数の項目を続けて設定できます。
- 何も設定しない場合は、「P-touch Template 設定」ツールでの設定状態に従ってラベルが印刷されます。

  初期設定では、ラベルが 1 枚印刷されます。

  P-touch Template 設定について、詳しくはブラザーソリューションセンターのホームページから、P-touch テンプレートマニュアルをダウンロードしてください。
  http://support.brother.co.jp/
  [製品選択] - [製品から探す] - [ダウンロード]
- 印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで 3 桁の数字を読み取ってください。数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

  （例）数字の設定は次のように行います：7 → ［0］［0］［7］、15 → ［0］［1］［5］
- 枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3 桁の数字を読み取りなおしてください。

❼ 「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、バーコードテンプレート **[キー割り当て]** 番号を「テンキー入力」バーコードの数字（3 桁）で読み取ります。

メモ

- 数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

  （例）

  数字の設定は次のように行います：7 → ［0］［0］［7］、15 → ［0］［1］［5］
- 上の（例）では、P-touch Editor 5.1 を用いて「^TS007」や「^TS015」というバーコードを事前に作成して印刷しておきそれを読み取ることで、読み取り回数を 1 回に減らせます。

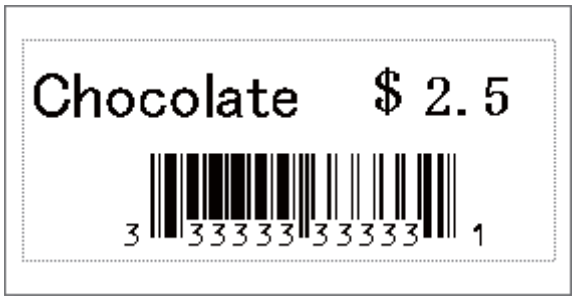
  同様に下の ❾ の「デリミタ」と ❿ の「印刷開始」も 1 つのバーコードとして作成可能です。
- 枚数を変更する場合は、もう一度、「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、3 桁の数字を読み取りなおしてください。

❽ データベースファイルのキーバーコードを読み取ります。

❾ 「デリミタ」（区切り）バーコードを読み取ります。

❿ 「印刷開始」のバーコードを読み取ります。

⑪ 指定したテンプレートのオブジェクトがデータベースファイルのデータに置き換えられて、ラベルが印刷されます。



ナンバリング（連番）印刷機能

ラベルの番号、バーコードの番号を自動で 1 カウントアップさせながら印刷します。

テキストラベルの場合

■ **操作手順**

テキストラベル作成→ラベルデータを本機に転送→ラベル印刷

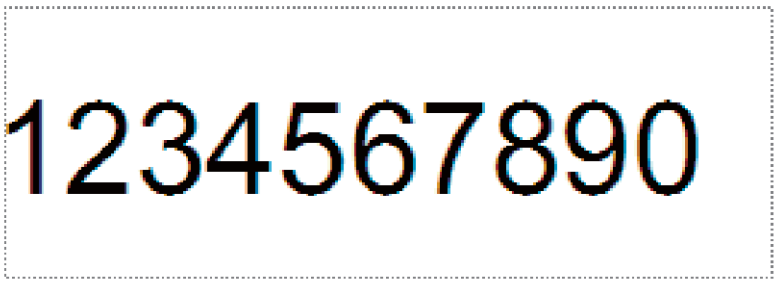
■ **手順**

1 テキストラベルを作成します。

1 P-touch Editor 5.1 を起動します。

2 テキストを入力します。

例：



3 左クリックしながら、ナンバリング範囲を指定します。

4 数字を右クリックし、[**ナンバリング（連番）**] をクリックします。

メモ

- 1 テンプレートにつき 9 オブジェクトまで、ナンバリング範囲を指定することができます。
- ナンバリング範囲で指定できる文字数は最大 15 文字です。

2 本機がコンピューターに接続されていることを確認し、ラベルレイアウトを本機に転送します。

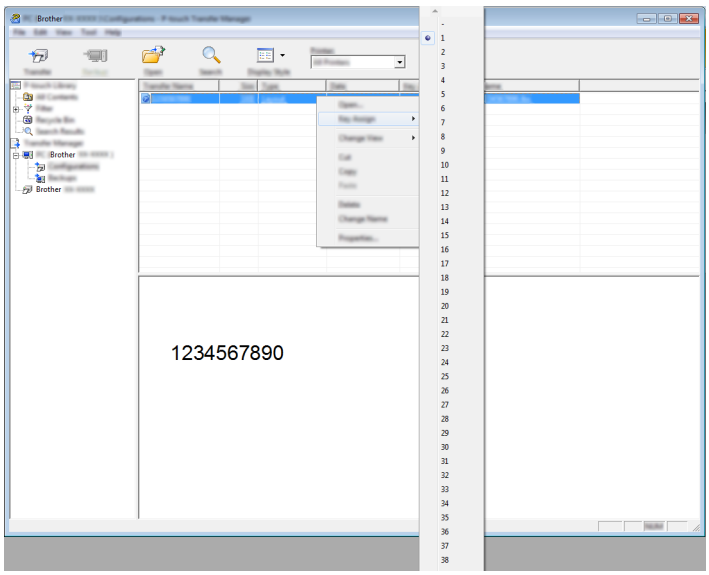
1 [ファイル]- [テンプレートの転送] をクリックして P-touch Transfer Manager を起動します。

メモ

リストからラベルレイアウトを選択し、右クリックでメニューを表示させます。

[キー割り当て] を選択するとキーの番号が選択できます。

この番号は印刷するときのラベルテンプレート番号になります。



2 [転送] をクリックすると、本機にラベルデータが転送されます。

3 バーコードリーダーを接続します。
接続方法の詳細は「バーコードリーダーを接続する」（94 ページ）をご覧ください。

4 ラベルを印刷します。

1 バーコードリーダーで「P-touch Template コマンド（初期化 + 設定の開始）」のバーコードを読み取ります。

2 次の例を参照し、キー割り当てで設定した番号のバーコードを読み取ります。
（例）キー割り当て 5 の場合

■ テンプレートの選択

3 「ナンバリング印刷枚数コマンド」を読み取ります。

4 印刷枚数を指定します。
118 ページの「テンキー入力」を参照し、印刷枚数の 3 桁の数のバーコードを読み取ります。
例）5 枚の場合

5 下記「印刷開始」のバーコードを読み取ります。

この例では、番号が 1234567890 ～ 1234567894 のラベルが印刷されます。

メモ

- ナンバリングのカウントは、印刷するたびに 1 カウントアップされます。
- 本機の電源がオフになっても、カウントは本機に保存されます。
- カウントを元に戻す場合は、下記バーコード「テンプレートデータ初期化」を読み取ります。

バーコードラベルの場合

■ **操作手順**

バーコードラベル作成→ラベルデータを本機に転送→ラベル印刷

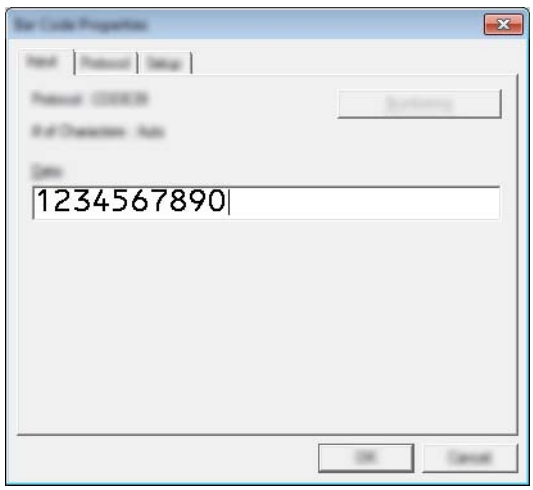
■ **手順**

1 バーコードラベルを作成します。

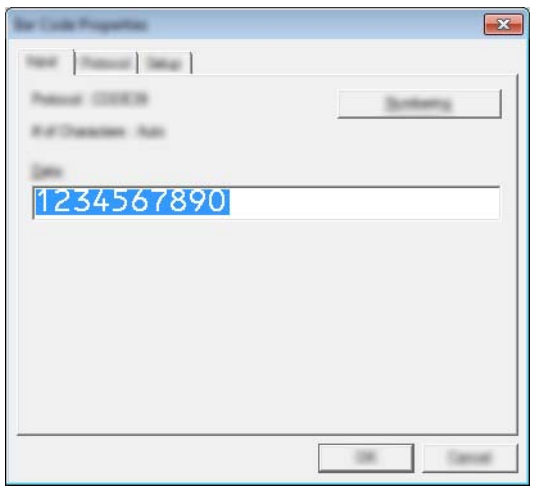
1 P-touch Editor 5.1 を起動します。

2 [**挿入**] - [**バーコード**] をクリックして [バーコードのプロパティ] ダイアログボックスを表示し、データを入力します。

例：



3 左クリックしながら、ナンバリング範囲を指定します。



4 [**ナンバリング（連番）**] ボタンをクリックし、[**OK**] ボタンをクリックします。

メモ

- 1 テンプレートにつき 9 オブジェクトまで、ナンバリング範囲を指定することができます。
- ナンバリング範囲で指定できる文字数は最大 15 文字です。

2 本機がコンピューターに接続されていることを確認し、ラベルレイアウトを本機に転送します。

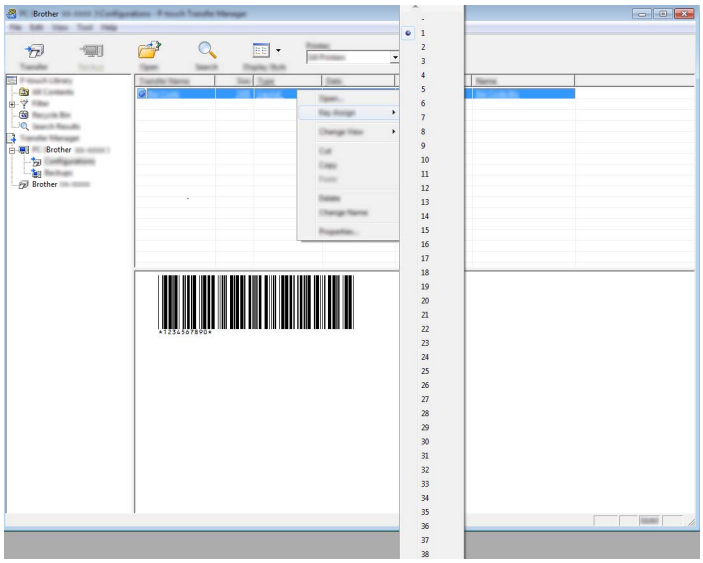
1 [ファイル]- [テンプレートの転送] をクリックして P-touch Transfer Manager を起動します。

メモ

リストからラベルレイアウトを選択し、右クリックしてメニューを表示します。

[キー割り当て] を選択するとキーの番号が選択できます。

この番号は印刷するときのラベルテンプレート番号になります。



2 [転送] をクリックすると、本機にラベルデータが転送されます。

3 バーコードリーダーを接続します。
接続について、詳しくは「バーコードリーダーを接続する」（94 ページ）をご覧ください。

4 ラベルを印刷します。

1 下記「P-touch テンプレートコマンド（初期設定 + 設定開始）」のバーコードをバーコードリーダーで読み取ります。

Esc ia3^II

2 次の例を参照し、キー割り当てで設定した番号のバーコードを読み取ります。
（例）キー割り当て 6 の場合

■ テンプレートの選択

3 「ナンバリング印刷枚数コマンド」を読み取ります。

4 印刷枚数を指定します。
118 ページの「テンキー入力」を参照し、印刷枚数の 3 桁の数のバーコードを読み取ります。
（例）5 枚の場合

5 下記「印刷開始」のバーコードを読み取ります。

この例では、番号が 1234567890 ～ 1234567894 のラベルが印刷されます。

メモ

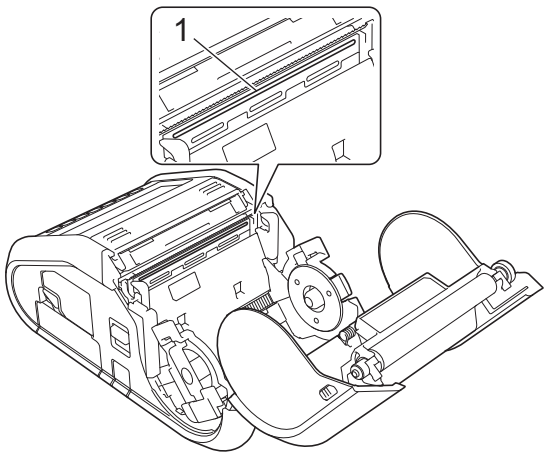
- ナンバリングのカウントは、印刷するたびに 1 カウントアップされます。
- 本機の電源がオフになっても、カウントは本機に保存されます。
- カウントを元に戻す場合は、下記バーコード「テンプレートデータ初期化」を読み取ります。

6 お手入れ

本機は、必要に応じてお手入れをしてください。ほこりの多い場所など、使用される環境によっては、頻繁にお手入れをする必要があります。

プリントヘッドのお手入れ

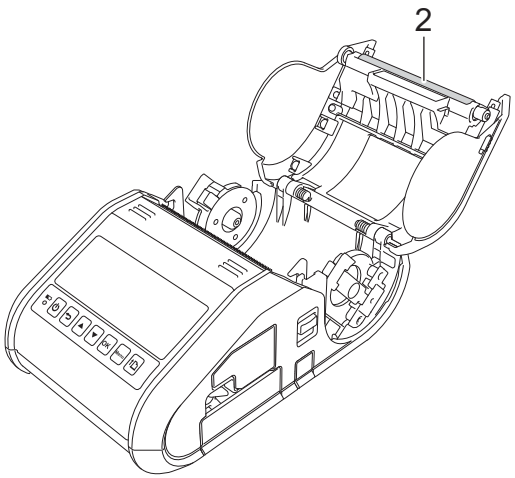
プリントヘッドを乾いた綿棒で拭いてください。



1 プリントヘッド

ローラーのお手入れ

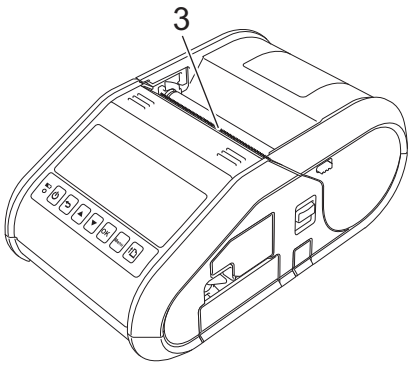
セロハンテープまたは糸くずの出ない布でローラーのほこりを取ってください。清掃したあとは、ローラーに糸くずなどが残っていないことを確認してください。



2 ローラー

用紙排出口のお手入れ

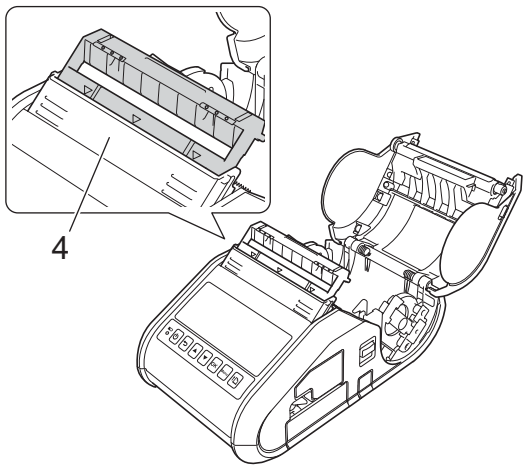
用紙排出口に付着した糊で紙詰まりする場合（RJ-3150）、または用紙排出口が汚れた場合は、用紙排出口をイソプロピルアルコールに浸した布で拭き取ってください。



3 用紙排出口

ハクリユニットのお手入れ（RJ-3150 のみ）

ハクリユニットに糊が付着して紙が詰まる場合は、Li-ion 充電池を取り外す、またはコンセントから電源プラグを取り外し、各部をイソプロピルアルコールで湿らせた布で拭き取ってください。

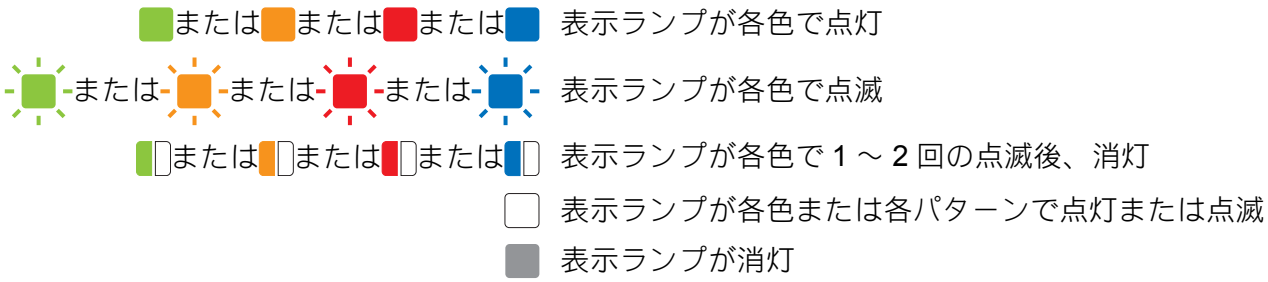


4 ハクリユニット

7 付録

LED 表示ランプ

表示ランプは、点灯または点滅して本機の状態を示します。この章では、以下の記号を使用して、様々な表示ランプの色とパターンの意味を説明します。



RJ-3050

POWER	STATUS	(Wi-Fi)	(Bluetooth)	内容
■	□	□	□	電源オン
□	■	□	□	ロール紙カバーオープン
■	□	□	□	データ受信中 データ転送中
■	■	□	□	エラー 印刷エラー フィードエラー カバーオープンエラー 通信エラー イメージ展開エラー データベース検索エラー テンプレートなしエラー アクセスポイント検索エラー アクセスポイント接続エラー セキュリティエラー
■	■	□	□	エラー 電池エラー マスストレージエラー
■	■	■	■	システムエラー

POWER	STATUS	(Wi-Fi)	(Bluetooth)	内容
□	□	(3 秒に 1 回)	□	無線 LAN オン、未接続
□	□	■	□	無線 LAN オン、接続確立
□	□	(1 秒ごと)	□	WPS 設定中
□	□	□	■	Bluetooth オン
□	□	□	(1 秒ごと)	Bluetooth とペアリング中
■	■	■	■	リセット中
■	■	■	■	初期化完了 ([**印刷後の印字データ**] が [**消去する**] に設定されている場合)
(1 秒ごと)	□	□	□	クーリング中
■	■	■	■	マスストレージモード起動中
■	■	■	■	マスストレージモードでファイル処理中
■	■	■	■	初期化中

RJ-3050 と RJ-3150 共通

(充電池)	内容
(1 秒ごと)	電池の充電が必要
(4 秒ごとに 2 回)	充電池の残量：残りわずか
(4 秒に 1 回)	充電池の残量：半分
■	充電中
■	充電池の残量：フル充電 充電完了

表示ランプの警告

問題	解決方法
電源表示ランプ（POWER）が点灯しない。	電源が供給されていません。 Li-ion 充電池が正しく装着されていることを確認します（「Li-ion 充電池を装着する」(4 ページ）をご覧ください)。 外付け電源をお使いの場合は、AC アダプターまたはカーアダプターが正しく接続されていることを確認し（「Li-ion 充電池を使用する」(4 ページ）をご覧ください)、電源コンセントから電気の供給がされていることを確認してください。 DC 電源をお使いの場合は、ヒューズを確認してください。
プリントヘッドまたはモーターがクールダウン中。	プリントヘッドまたはモーターが高温になりました。 プリントヘッド： プリントヘッドが高温になると、意図しない印刷が実行される場合があります。印字濃度が濃い文書を多量に印刷すると、この現象が起こる場合があります。 本機は印刷を一旦停止します。プリントヘッドがクールダウンすると、印刷を再開します。 この現象の発生頻度の軽減や回避するためには、印字濃度を薄く設定し、黒く印字する部分を減らしてください（例えば、文書から背景の陰影やグラフの色などを省きます)。また、本機は、密閉された場所ではなく十分に換気された環境でご使用ください。 モーター： 本機を連続して使用しないでください。連続使用すると、モーターが過熱します。この場合、本機は印刷を停止します。モーターがクールダウンされると、印刷を再開します。 **メモ** 高所（3,000m 以上）など気圧の低い環境では、本機のクールダウンに使用する空気が薄いため、このような現象が発生しやすくなります。
データ受信エラー。	通信が不安定な場合、データが正しく受信されないことがあります。通信状態を改善し、再度通信を試行してください。
表示ランプがブートモード中を示す。	ファームプログラムを更新している最中に電源アダプターを引き抜くと、次回電源を入れたとき、本機はブートモードで起動します。 販売店またはブラザーコールセンターにお問い合わせください。

本体設定情報の印刷

（フィード）ボタンを使用して、以下のように本体設定情報のレポートを印刷できます。

- プログラムのバージョン情報
- プリンターの使用履歴
- ドット抜け確認用パターン
- プリンター設定情報
- 転送データの一覧
- ネットワークの設定情報

メモ

- 印刷する項目は、事前に本体設定で設定できます（「本体設定」（66 ページ）をご覧ください）。
- 「本体設定」欄には、ノード名が表示されます。お買い上げ時のノード名は、「BRWxxxxxxxxxxxx」となっています。（「xxxxxxxxxxxx」の部分は、本機の MAC アドレス、イーサネットアドレスに基づいています。）

1. 80mm 幅のレシート用紙のロールがセットされ、ロール紙カバーが閉まっていることを確認します。
2. 本機の電源を入れます。
3. RJ-3150 の場合は、LCD に「印刷中」とメッセージが表示されるまで、RJ-3050 の場合は、電源表示ランプが緑色に点滅するまで、（フィード）ボタンを長押しします。
   設定が印刷されます。

メモ

- 本体設定情報の印刷には、80mm 幅のレシート用紙をご使用になることをお勧めします。
- 本体設定を使用して本体設定情報を印刷することもできます（「本体設定」（66 ページ）をご覧ください）。
- RJ-3150 を使用する場合、この操作は、[ガイダンス] メニューからも実行できます。

1 [メニュー]、[▲]、または [▼] ボタンを押して [ガイダンス] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。

2 [▲] または [▼] を使用して、[本体情報印刷] - [する] を選択し、[OK] ボタンを押します。

P-touch Template 機能の基本的な設定の流れ

P-touch Template 機能を使用する際の基本的な流れを説明します。

各種設定の詳細は、「P-touch Template を使用してラベルを印刷する（RJ-3150 のみ）」（92 ページ）をご覧ください。

本機にバーコードリーダーを接続する前に、事前準備として「P-touch Template 設定」ツールとバーコードリーダーの設定をしておく必要があります。詳しい手順については、「事前準備」（93 ページ）をご覧ください。

1. P-touch Editor 5.1 を使用してテンプレートを作成し、本機へ転送します。
2. バーコードリーダーをプリンターに接続します。
3. 「P-touch テンプレートコマンド（初期設定＋設定開始）」バーコードを読み取ります。
   設定の開始もしくは以前の設定を消去します。
4. 「基本設定」バーコードを読み込みます。
   印刷枚数を指定します。
5. 各機能別の設定（A-C）を指定します。

   A. テンプレート印刷機能

   1 「定型テンプレート番号」バーコードを読み取ります。

   B. バーコード印刷機能

   1 「テンプレート設定」と「テンキー入力」バーコードの数字バーコードを読み取ります。
   2 作成・複製したいバーコードを読み取ります。
   3 「印刷開始」バーコードを読み取ります。

   C. データベース置換印刷機能

   1 「テンプレート設定」と「テンキー入力」バーコードの数字バーコードを読み取ります。
   2 データベースファイルのデータに置き換えるためにキーとなるバーコードを読み取ります。
   3 「デリミタ」バーコードを読み取ります。
   4 「印刷開始」バーコードを読み取ります。
6. 指定したラベルが印刷されます。

設定用バーコード一覧

これらは「P-touch Template を使用してラベルを印刷する（RJ-3150 のみ）」（92 ページ）で使用する設定用バーコードです。

メモ

- この一覧のバーコードを使用するときは、P-touch Template 設定の初期設定として、P-touch テンプレートコマンドのバーコードを読み取ってください。
- コマンド読み込み用バーコードとして使用する場合は、高解像度で印刷してください。
- 印刷状況によっては、本書に掲載しているサンプルバーコードが読み取れない可能性がありますのでご注意ください。

P-touch テンプレートコマンド（初期設定 + 設定開始）

基本設定

印刷枚数 [1]

テンキー入力 [1]

1

2

3

4

5

6

7

8

9

0

00

定型テンプレート番号

定型テンプレート **1**

定型テンプレート **2**

定型テンプレート **3**

定型テンプレート **4**

定型テンプレート **5**

定型テンプレート **6**

定型テンプレート **7**

定型テンプレート **8**

定型テンプレート **9**

定型テンプレート **10**

テンプレート選択

ナンバリング印刷枚数コマンド

デリミタ

テンプレートデータ初期化

印刷開始

[1] 印刷枚数設定、テンプレート番号選択時に使用します。
［0］［0］［7］、［0］［1］［5］など 3 桁になるように読み取ってください。
3 桁を読み取ると自動的に確定されます。設定を変更するには、印刷枚数の場合は「印刷枚数」、テンプレート番号の場合は「テンプレート選択」を読み取ってから、もう一度、3 桁の数字を読み取ってください。

8 困ったときは

概要

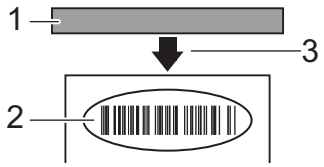
本機に問題が起きた場合は、はじめに次の内容について正しく対応しているかどうかを確認してください。

- 本機に充電池を装着、もしくは AC アダプターを用いて本機を電源コンセントに接続していますか？（「Li-ion 充電池を使用する」（4 ページ）をご覧ください）。
- 適切なプリンタードライバーをインストールしていますか？（「プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする」（21 ページ）をご覧ください）。
- 本機をコンピューターに接続していますか？（「本機とコンピューターを接続する」（24 ページ）をご覧ください）。

上記を確認しても問題が解決しない場合は、この章をご覧ください。

問題	解決方法
印刷できない。または状態表示ランプ（STATUS）が点滅する。	■ ケーブルが外れていませんか（USB ケーブルを使用している場合）？ ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。 ■ 用紙が正しくセットされていますか？ 正しくセットされていない場合は、用紙を取り外してセットしなおしてください。 （「用紙をセットする」（10 ページ）をご覧ください。） ■ 用紙を使い切っていませんか？ 使い切っている場合は、新しい用紙をセットしてください。 ■ ロール紙カバーが開いていませんか？ ロール紙カバーが閉じているか確認してください。 ■ 印刷エラーや送信エラーが発生していませんか？ このような場合は本機の電源を切り、再度電源を入れてください。それでも問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。 ■ 用紙幅ガイドが用紙から離れていませんか？ 用紙幅ガイドを用紙の幅に合わせてください。 （「用紙をセットする」（10 ページ）をご覧ください。）
LCD（RJ-3150）または電源表示ランプ（RJ-3050）が点灯しない。	■ 充電池が正しく挿入されていますか？ 充電池が正しく挿入されていることを確認してください。正しく挿入されている場合は、十分な充電池残量があることを確認してください。 ■ 上記を確認しても、LCD（RJ-3150）または電源表示ランプ（RJ-3050）が点灯しない場合は、販売店にお問い合わせください。

問題	解決方法
印刷した用紙に筋が入る。文字品質が低い。用紙が正しく送られない。	プリントヘッドやローラーが汚れていませんか？ プリントヘッドは通常の使用では汚れませんが、ローラーからのほこりや汚れがプリントヘッドに溜まる場合があります。このような場合は、ローラーを掃除してください（「ローラーのお手入れ」（109 ページ）をご覧ください）。
データ送信エラーがコンピューターに表示される。	■ 正しいポートが選択されていますか？ 正しいポートが選択されているか確認してください。 ■ 本機がクーリングモードになっていませんか？ RJ-3150 の場合、LCD に「クーリング中」とメッセージが表示されます。RJ-3050 の場合は、電源表示ランプがオレンジ色に点滅します。 表示ランプの点滅が停止するまで待ち、再度印刷してください。 ■ 他のユーザーがネットワーク経由で印刷していませんか？ 他のユーザーが大量のデータを印刷している場合、プリンターは処理中の印刷が終了するまで新しい印刷ジョブを受け付けることができません。その場合は、他の印刷ジョブの終了後に、印刷ジョブを再度実行してください。
用紙が詰まる、または印刷後ラベルが正しく排出されない。	■ ローラーにほこりや汚れが溜まり、ローラーの回転を妨げていませんか？ ローラーを掃除してください。（「ローラーのお手入れ」（109 ページ）をご覧ください。） ■ 用紙の排出経路に障害物がないことを確認してください。 ■ 用紙を一旦取り外して、正しくセットしなおしてください。 （「用紙をセットする」（10 ページ）をご覧ください。） ■ ロール紙カバーがきちんと閉じているか確認してください。 ■ ハクリユニット（RJ-3150 のみ）を使用している場合は、[本体設定] の [**発行方式**] オプションが [**ハクリ**] に設定されていることを確認してください。 （「本体設定」（66 ページ）をご覧ください。）
印字品質が低い、印刷に白筋が入る。	■ プリントヘッドまたはプラテンローラーにほこりや汚れが溜まり、プラテンローラーの回転を妨げていませんか？ このような場合は、プリントヘッドまたはプラテンローラーを掃除してください（「プリントヘッドのお手入れ」（108 ページ）と「ローラーのお手入れ」（109 ページ）をご覧ください）。 ■ 印刷濃度を調整します。印刷濃度は、プリンタードライバーのダイアログボックス、または「**プリンター設定ツール**」で調整できます。

問題	解決方法
印刷されたバーコードが読めない。	■ 以下のように、バーコードがプリントヘッドと並ぶようにセットしてください。  **1** プリントヘッド **2** バーコード **3** 印刷の向き ■ 他のスキャナーを試してください。 ■ [**印刷速度**] をより遅いオプションに設定します。印刷速度は、「**プリンター設定ツール**」で設定できます。(「本体設定」(66 ページ) をご覧ください。) ■ [**印字濃度**] を調整してください。印刷濃度は、プリンタードライバーのダイアログボックス、または「**プリンター設定ツール**」で調整できます。(「本体設定」(66 ページ) をご覧ください。) ■ 本機は、バーコードラベルの作成専用に設計されていません。バーコードリーダーがバーコードラベルを読み込めることを必ず確認してください。
プリンターをリセットしたい / コンピューターから転送したデータを削除したい。	本機をリセットするには、次の手順にしたがってください。 RJ-3150 の場合 1 [Menu]、[▲]、または [▼] ボタンを押して [管理者設定] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。(初期パスワードは "1111" です。) 2 [▲] または [▼] を使用して、[初期化] - [工場出荷状態に戻す] - [はい] を選択し、[OK] ボタンを押します。 RJ-3050 の場合 1 (電源) ボタンを長押しして、本機の電源を切ります。 2 (フィード) ボタンを長押しし、(電源) ボタンを約 3 秒間押します。電源表示ランプ、Wi-Fi 表示ランプ、Bluetooth 表示ランプが点滅します (電源：オレンジ色、Wi-Fi と Bluetooth：青色)。 3 (電源) ボタンを押しながら、(フィード) ボタンを 3 回押します。 4 (電源) ボタンを離します。 コンピューターから転送したデータがすべて削除され、プリンターはお買い上げいただいたときの状態にもどります。
現在の印刷ジョブをキャンセルしたい。	本機の電源が入っていることを確認して、(電源) ボタンを押します。

問題	解決方法
USB ケーブル経由で印刷すると、本機がたびたび一時停止した後、印刷を継続する。	本機が連続印刷に設定されていますか？ その場合は、印刷モードをバッファー印刷に設定してください。 Windows Vista®/Windows Server® 2008 の場合 [**コントロールパネル**] - [**ハードウェアとサウンド**] - [**プリンタ**] からプリンタープロパティを開き、[**全般**] タブの [**印刷設定**] ボタンをクリックします。[**その他の設定**] タブをクリックし、[**一ページ分のデータを受信してから印刷を開始する**] を選択します。） Windows® 7/Windows® 8/Windows® 8.1/Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2 の場合 - [**デバイスとプリンター**] から、プリンタープロパティを開き、設定を変更するプリンターを右クリックし、[**印刷設定**] を選択します。オプション [**一ページ分のデータを受信してから印刷を開始する**] を選択します。
用紙の頭出しができない。エラーが起きる。	紙送りエラーが出る場合は、プリンター設定ツールの [用紙サイズ設定] を使用して、本機に正しい用紙サイズを指定してください。
コンピューターのアプリケーションが本機にデータを送信しているはずなのに、電源表示ランプが緑色に点滅しない。 (RJ-3050 のみ)	USB ケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認してください。他の USB ケーブルを試してください。 Bluetooth または Wi-Fi を使用している場合は、Bluetooth 表示ランプ（ ）または Wi-Fi 表示ランプ（ ）が青色に点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、接続を確認してください。 (「本機とコンピューターを接続する」(24 ページ) をご覧ください。)
裏紙が付いたまま用紙が排出される (ハクリユニットの使用時)。 (RJ-3150 のみ)	■ 用紙が正しくセットされていることを確認してください (「用紙をセットする」(10 ページ) をご覧ください)。 ■ ハクリユニットが正しくセットされていることを確認してください (「ハクリユニットを使用する場合 (RJ-3150 のみ)」(13 ページ) をご覧ください)。
エラーが起きる (ハクリユニットの使用時)。 (RJ-3150 のみ)	■ ハクリユニットが正しくセットされていますか？ ハクリユニットが正しくセットされていることを確認してください (「ハクリユニットを使用する場合 (RJ-3150 のみ)」(13 ページ) をご覧ください)。

本機のエラーメッセージ（RJ-3150 のみ）

エラーメッセージ	原因 / 解決方法
パスワードが違います。	■ 管理者パスワードが間違っていませんか？ 正しいパスワードを入力してください。 ■ パスワードを忘れた場合は、[**プリンター設定ツール**] の [**本体設定**] を使用してパスワードをリセットできます。詳しくは、「画面設定 (1)（RJ-3150 のみ）」（74 ページ）の 11 管理パスワードをご覧ください。
指定したテンプレートがありません。	■ 指定した番号のテンプレートがありません。 正しい番号を指定してください。 ■ テンプレートを印刷するときに、指定したテンプレートが存在しないと、エラーランプが表示されます。
データベースの検索に失敗しました。	■ 指定した番号のデータベースがありません。 正しい番号を指定してください。 ■ リンクしているデータベースの検索に失敗すると、エラーランプが表示されます。
用紙の状態を確認してください。	■ 正しい用紙がセットされていますか？ ダイカットサイズの正しい用紙（種類がダイカットラベルまたはロール紙など）がセットされていることを確認してください。 ■ 用紙が正しくセットされていますか？ 正しくセットされていない場合は、用紙を取り外して、セットしなおしてください。詳しくは、「用紙をセットする」（10 ページ）をご覧ください。 ■ 用紙幅ガイドが用紙の両側に接触していますか？ 用紙幅ガイドを用紙の幅に合わせてください。詳しくは、「用紙をセットする」（10 ページ）をご覧ください。 ■ 用紙を使い切っていませんか？ 使い切っている場合は、新しい用紙をセットしてください。
カバーを閉めてください。	ロール紙カバーが開いていませんか？ ロール紙カバーが閉じているか確認してください。
通信に失敗しました。	■ データの転送に失敗しました。.blf ファイルでテンプレートを送るときに、ファイル内のモデル名が違っているとエラーランプが表示されます。 ■ 無線 LAN または Bluetooth の接続が切断されていませんか？ 無線 LAN または Bluetooth の接続が切断されました。本機の電源を切り、再度電源を入れてください。
無線 LAN 設定に失敗しました。 再度やり直してください。	■ アクセスポイントを検索できませんでした。 ■ 接続を確立するアクセスポイントを特定できませんでした。
マスストレージ操作エラーです。	本機がマスストレージモードになっていませんか？ ファイルシステムが壊れたときや、マスストレージのファイルを処理している最中にファイルの処理を行うとエラーになります。電源を切ってください。

本機のエラーメッセージ（RJ-3150 のみ）（続き）

エラーメッセージ	原因 / 解決方法
非対応 USB 装置です。 抜いてください。	USB ホストポートがサポートできない機器が接続されていませんか？ USB ホストポートが過電流を検出しました、またはサポートされていない機器の接続が検出されました。本機の電源を切って、接続されている機器を確認してください。
ＵＳＢ ハブは非対応です。 抜いてください。	本機が USB ハブに接続されていませんか？ RJ-3150 は、USB ハブに対応していません。本機の電源を切り、USB ハブを取り外してください。
充電してください。	充電池の電池残量が少なくなっていませんか？ AC アダプターと電源コードを使用して、本機を電源コンセントに接続、またはカーアダプターを使用して、本機を電源コンセントに接続して充電池を充電します。
０１システムエラーです。	このエラーメッセージが表示される場合は、販売店にお問い合わせください。
０２システムエラーです。	
０３システムエラーです。	
メモリー容量オーバーです。	■ 1m を超える印刷ジョブまたは互換性のないファイルは印刷できません。 ■ ユーザーのストレージ領域の容量を超過するデータが転送されると、エラーが表示されます。
[Menu] キーでヘルプ参照	操作方法は、ヘルプで参照できます。本機の電源が入っていることを確認し、ロール紙カバーを開け、[Menu] ボタンを押します。

9 仕様

製品仕様

モデル名	RJ-3150	RJ-3050
印刷		
印刷方式	感熱方式	
印字解像度	203dpi	
印刷速度（ご使用の用紙によって異なります。）	最高速度 127mm/ 秒 (弊社標準環境下)	
最大印字幅	72 mm	
最大印字長	1 m	
最小印字長	ラベル (ハクリ含まず): 6 mm ラベル (ハクリ含む): 25.4 mm レシート用紙 : 6 mm	
本体サイズ		
重量	充電池付きプリンター： 約 680g	充電池付きプリンター： 約 610g
寸法	約 116 mm（幅）×189 mm（奥行き）×82mm（高さ）	約 113 mm（幅）×186 mm（奥行き）×80mm（高さ）
インターフェイス		
USB	USB Ver. 2.0（フルスピード）（ミニ B タイプ、周辺装置）	
USB ホスト	タイプ A	-
Bluetooth	Ver. 2.1+EDR（クラス 1）	
無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n（インフラストラクチャーモード） IEEE 802.11b（アドホックモード）	
環境		
使用温度	使用時：-10 ℃～ 50 ℃ 充電時：0 ℃～ 40 ℃	
動作湿度	10 ～ 90%（結露なきこと、最高湿球温度：27 ℃）	
保管温度	-20 ℃～ 60 ℃	
保管湿度	10 ～ 90%（結露なきこと、最高湿球温度：45 ℃）	
電源（別売品）		
電池	Li-ion 充電池：7.2V	
充電池出力	5,300 ラベル（USB 接続で、フル充電した新しい充電池を使用した場合） 弊社印刷テスト用データ（76.2×33 mm・印字率 8.5%）を使用し 23 ℃でテスト。	

モデル名	RJ-3150	RJ-3050
充電時間	3 時間（プリンターをオフにし、新しい充電地を使用し、23 ℃で充電した場合）	
アダプター	AC アダプター（15V）	
カーアダプター	シガレットカーアダプターまたは配線タイプ（12VDC）	
用紙仕様		
用紙の種類	レシート用紙、ダイカットラベル	レシート用紙
用紙幅	25mm ～ 80mm	
ラベル間空きスペース	3mm 以上	
用紙厚さ	レシート用紙：0.058mm ～ 0.090mm ファンフォールド紙：0.090mm ～ 0.135mm ラベル：0.080mm ～ 0.170mm* *RJ-3050：黒マークつきのみ。	
直径（最大）	66mm	
コア径（最小）	レシート用紙：12.7mm ラベル：25.4mm	レシート用紙：12.7mm
用紙センサー	透過型 / ギャップ、反射型 / バー、ハクリユニット	反射型 / バー
ソフトウェア		
対応プリンタードライバー	Windows Vista® / Windows® 7 / Windows® 8 / Windows® 8.1 / Windows Server® 2008 / Windows Server® 2008 R2 / Windows Server® 2012 / Windows Server® 2012 R2	

第 II 編

ソフトウェア

ラベル作成ソフトウェア **P-touch Editor 5.1** の使用方法 129
P-touch Transfer Manager と **P-touch Library** の使用方法 139
P-touch Transfer Express でラベルテンプレートを転送する 154
P-touch Update Software を使用する 162

10 ラベル作成ソフトウェア P-touch Editor 5.1 の使用方法

ラベル作成ソフトウェア P-touch Editor 5.1 を使用する

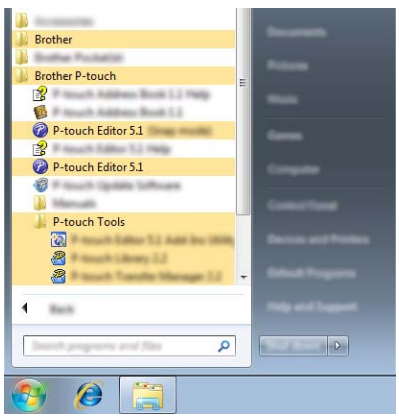
コンピューターを使用してプリンターを使用するには、P-touch Editor とプリンタードライバーをインストールする必要があります。

最新のドライバーとソフトウェアをダウンロードするには、ブラザーソリューションセンターをご覧ください。http://www.brother.com/inst/ja/

P-touch Editor を使用する

P-touch Editor を起動する

1 **Windows Vista®/Windows® 7/Windows Server® 2008/Windows Server® 2008 R2 の場合**
スタートボタンで、[すべてのプログラム]-[**Brother P-touch**]-[**P-touch Editor 5.1**] をクリックします。
P-touch Editor が起動したら、新しいレイアウトを作成するか既存のレイアウトを開くかを選択します。

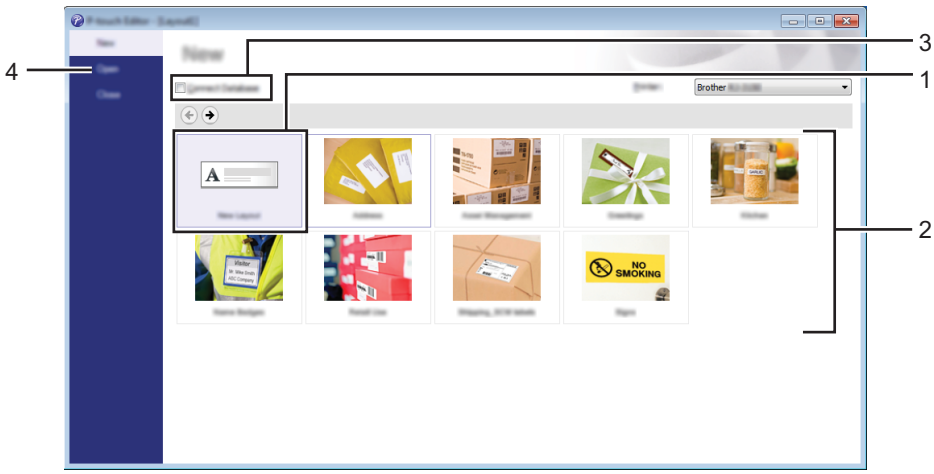


Windows® 8/Windows® 8.1/Windows Server® 2012 Windows Server® 2012 R2 の場合
[アプリ] 画面で [**P-touch Editor 5.1**] をクリックする、またはデスクトップの [**P-touch Editor 5.1**] をダブルクリックします。
P-touch Editor が起動したら、新しいレイアウトを作成するか既存のレイアウトを開くかを選択します。

メモ

- インストール時にショートカットを作成しておくと、ショートカットから P-touch Editor を起動することもできます。
  - デスクトップのショートカットをアイコンダブルクリックします。
  - クイック起動バーのショートカットをアイコンダブルクリックします。
- 起動時にP-touch Editorの機能を変更するには、P-touch Editorのメニューバーで[ツール]-[オプション]をクリックします。[**オプション**] ダイアログボックスが表示されます。[**全般**] のタブの [**起動時の設定**] の [**動作**] プルダウンから必要な設定を選択します。初期設定は [**新規ビューを表示**] です。

2 画面でオプションを選択します。



1 新しいレイアウトを作成するには、[**新しいレイアウト**] ボタンをクリックします。

2 定型レイアウトを使用して新しいレイアウトを作成するには、希望するカテゴリーボタンを選択します。

3 定型レイアウトをデータベースに接続するには、[**データベースを接続する**] の隣のチェックボックスを選択します。

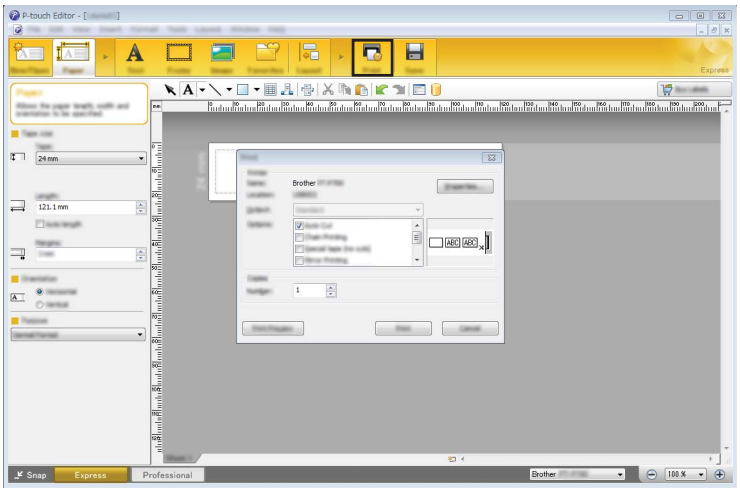
4 既存のレイアウトを開くには、[**開く**] をクリックします。

P-touch Editor を使用して印刷する

Express モード

このモードでは、テキストや画像を使用して簡単にラベルレイアウトを作成できます。

以下に、**[Express]** モード画面について説明します。

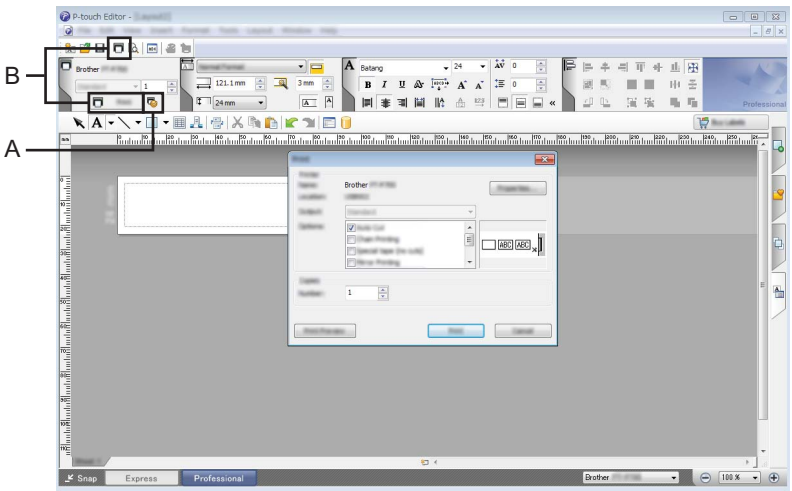


メニューバーの [**ファイル**] から [**印刷**] を選択する、または [**印刷**] のアイコンをクリックすると印刷できます。（印刷する前に [**印刷**] 画面で印刷設定を行ってください。）

Professional モード

このモードでは、多様なツールとオプションを使い、本格的なラベルレイアウトを作成できます。

以下に、**[Professional]** モード画面を説明します。



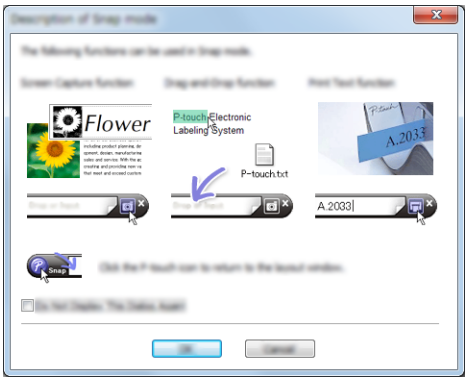
メニューバーの [**ファイル**] から [**印刷**] を選択する、または [**印刷**] のアイコン (A) をクリックすると印刷できます。印刷する前に [**印刷**] 画面で印刷設定を行ってください。

また、印刷設定を選択しなくても、“B” を選択すると印刷を開始できます。

Snap モード

このモードを使用すると、コンピューター画面のコンテンツのすべてまたは一部を取り込み、画像として印刷し、いつでも使用できるように保存できます。

1. **[Snap]** モード選択ボタンをクリックします。
   [Snap モードの説明] ダイアログボックスが表示されます。



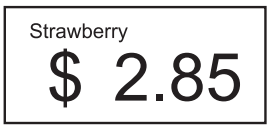
2. **[OK]** をクリックします。
   [Snap] モードパレットが表示されます。

テンプレート作成について

コンピューターから P-touch Editor 5.1 を使用し、ラベルレイアウトを作成します。P-touch Editor 5.1 はブラザーソリューションセンターのサイト http://www.brother.com/inst/ja/ からダウンロードできます。使用の詳細は、「ラベル作成ソフトウェア P-touch Editor 5.1 の使用方法」（129 ページ）をご覧ください。

テンプレートの作成

■ ラベルサンプル

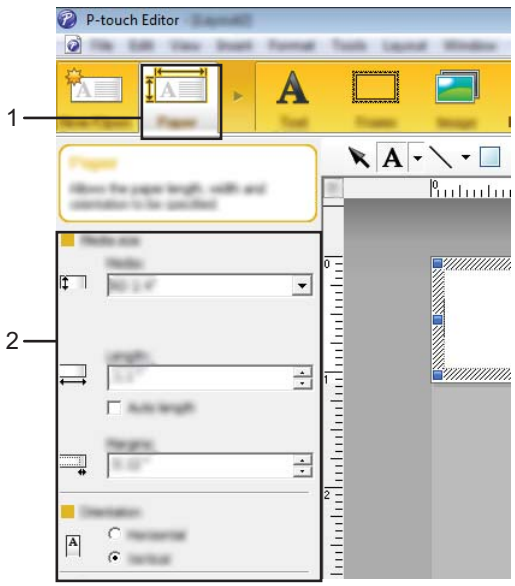


1. Windows Vista®/Windows® 7/Windows Server® 2008/Windows Server® 2008 R2 の場合
   スタートメニューから、[**すべてのプログラム**] - [**Brother P-touch**] - [**P-touch Editor 5.1**] をクリックします。

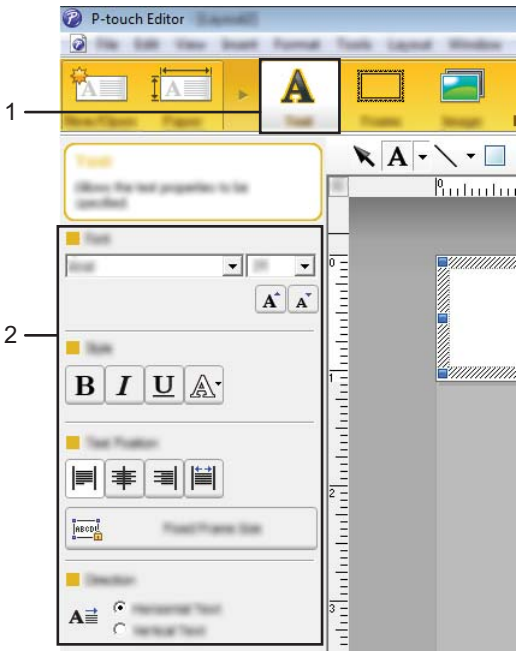
   Windows® 8/Windows® 8.1/Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2 の場合
   [**アプリ**] 画面で [**P-touch Editor 5.1**] をクリックするか、デスクトップの [**P-touch Editor 5.1**] をダブルクリックします。

2. [**新規 / 開く**] ダイアログボックスが表示されたら、新しいレイアウトを作成するか既存のレイアウトを開くかを選択します。

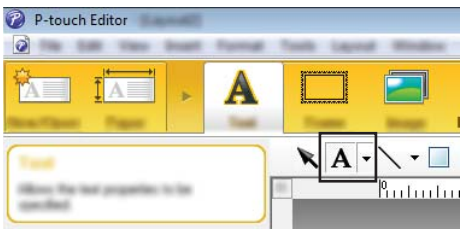
3. [**用紙**] (1) をクリックし、用紙と長さ (2) を指定します。（この画面は [**Express**] モードで表示されます。）



4 [テキスト] (1) をクリックし、フォントとスタイル (2) を指定します。



5 A をクリックするとカーソルが表示されますので、テキストを入力します。



6 テキストを挿入し、テキストボックスをクリックしてテキストをテンプレートに移動します。

7 手順 ❺ と ❻ を繰り返して、テキストを入力しレイアウトを整えます。
テキストを入力します。次にメニューバーの [ファイル] - [名前を付けて保存] をクリックし、ファイル名を指定してデータを保存します。

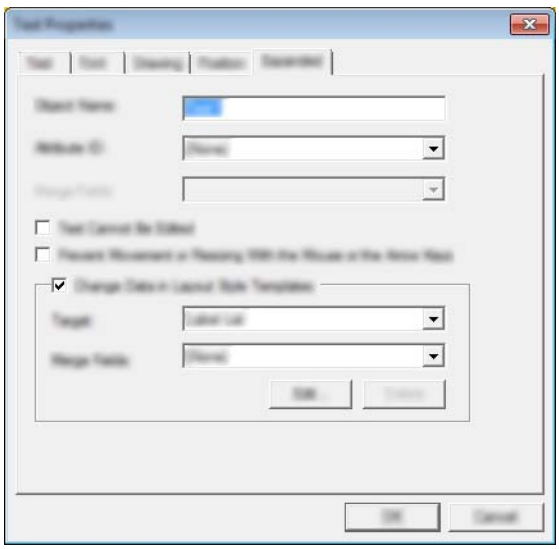
メモ

ファイル名の最初の 15 文字がテンプレート名として LCD に表示されます。

LCD に表示するテキストおよび順序を設定する

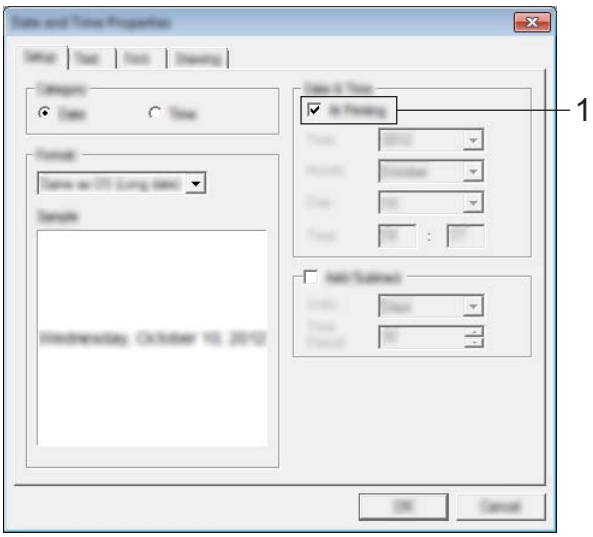
LCD に表示するテキストおよび表示の順序は、P-touch Editor 5.1 を使用して設定します。

1. P-touch Editor 5.1 で、編集するラベルレイアウトを開きます。
2. テキストを LCD に表示するテキストボックスを選択して右クリックし、[**プロパティ**] をクリックすると、[**テキストのプロパティ**] ダイアログボックスが表示されます。[**拡張**] タブの [**オブジェクト名**] で、必要な番号（テキスト 1、テキスト 2、テキスト 3 など）を設定します。テキストは設定番号順に LCD に表示されます。
   LCD にテキストを表示しないように設定するには、[**拡張**] タブの [**文字の編集を禁止する**] を選択します。



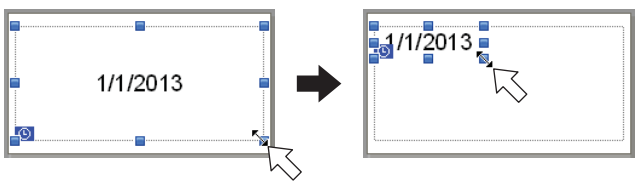
日付と時間をラベルに挿入する

1. P-touch Editor 5.1 で、編集するラベルレイアウトを開きます。
2. メニューバーで、[**挿入**] - [**日付と時刻**] をクリックして [**日付と時刻のプロパティ**] ダイアログボックスを表示します。挿入するテキスト形式の設定を選択します。



重要

- [**印刷時の日付時刻**] チェックボックス (1) を選択すると、印刷の日付と時間が挿入されます。チェックボックスのチェックを外すと、現在の日付と時間が挿入され、更新されません。
- ラベルに挿入した日付と時間は、プリンターに内臓された文字サイズで印刷されます。文字サイズは日付と時間のオブジェクトのサイズにより決定されるため、P-touch Editor 5.1 でオブジェクトを必要なサイズに調整します。その後、ラベルレイアウトをプリンターに転送してください。



データベースとテンプレートをリンクする

■ ラベルサンプル

Strawberry	Orange	Apple
$ 2.85	$ 1.55	$ 2.15

作成したテンプレートにデータベースをリンクできます。テンプレートのテキストはデータベースのテキストと置き換えられるため、テンプレートを 1 つ作成することで複数のラベルを簡単に印刷できます。

データベースの設定について、詳しくは [**P-touch Editor ヘルプ**] を参照してください。

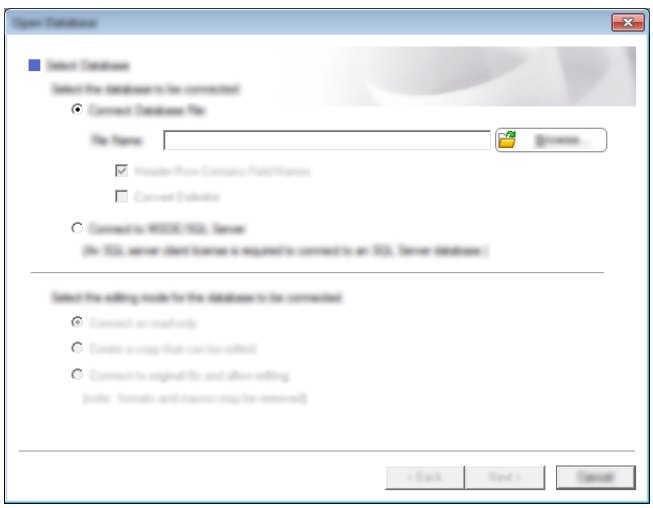
1 あらかじめデータベースファイルを準備します。

メモ

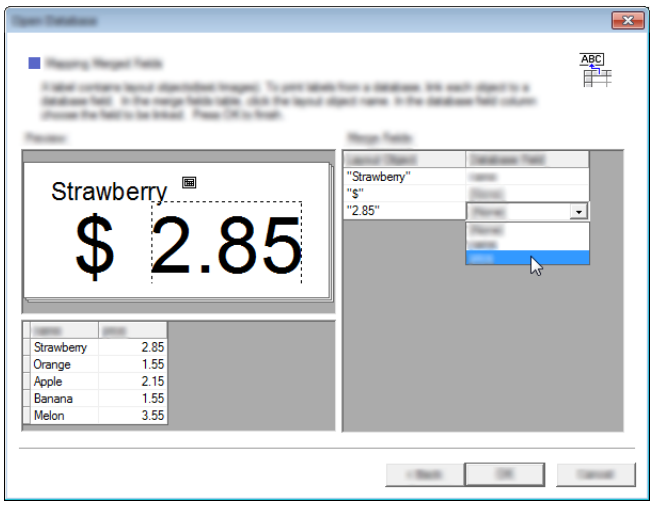
- XLS、MDB、CSV、TXT 形式で保存したファイルがデータベースとして使用できます。
- XLSX 形式または ACCDB 形式のファイルを使用するには、Microsoft® Office 2007、32 ビット Microsoft® Office 2010、2007 Office System Driver：Data Connectivity Components、または 32 ビット 2010 Office System Driver：Data Connectivity Components をインストールする必要があります。
- 1 つのテンプレートに 1 つのデータベースをリンクできます。そのデータベースには、最大 65,000 レコードを作成できます。（テンプレートとデータベースの合計サイズは 6MB です。）
- データベースに入力したデータは LCD に表示できます。最初の 16 文字のみ表示できます。

2 P-touch Editor 5.1 で、データベースにリンクさせたテンプレートを開きます。

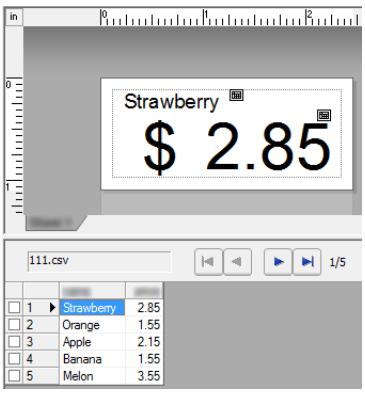
3 メニューバーで、[**ファイル**] - [**データベース**] - [**接続**] をクリックして [**データベースを開く**] ダイアログボックスを表示します。[**データベースファイルに接続する**] を選択し、[**参照**] をクリックし、リンクさせたデータベースを選択します。



4 [次へ] をクリックして、設定ダイアログボックスを表示します。[フィールドの割り当て] の下の [データベースフィールド] で、どのデータベースコラムをどのオブジェクトにリンクさせるかを指定し、[OK] をクリックします。



5 テンプレートとデータベースがリンクし、メイン画面が表示されます。チェックするデータベース行をクリックし、テキストを置き換えたラベルを表示します。



最後に、P-touch Transfer Manager を使用して作成したテンプレートをプリンターに転送します。

詳しくは、「P-touch Transfer Manager を使用する」（140 ページ）をご覧ください。

11 P-touch Transfer Manager と P-touch Library の使用方法

P-touch Transfer Manager

このアプリケーションを使用すると、テンプレートやその他のデータをプリンターに転送し、データのバックアップをコンピューターに保存できます。

P-touch Transfer Manager を使用してデータをプリンターに転送後、P-touch Template を使用して、テンプレートに挿入し印刷するテキストデータをプリンターに送信します。P-touch Template について、詳しくはブラザーソリューションセンターのホームページから、P-touch テンプレートマニュアルをダウンロードしてください。http://support.brother.co.jp/
[製品選択] - [製品から探す] - [製品マニュアル]

P-touch Template を使用するには、転送機能が必要です。

テンプレートはネットワーク経由でも転送できます。

ネットワーク経由でテンプレートを転送するには、P-touch Transfer Manager または BRAdmin Professional を使用します。BRAdmin Professional は、ブラザーのウェブサイトからダウンロードできます。

P-touch Library

このアプリケーションを使用すると、コンピューターを使用して P-touch Template やその他のデータを管理できます。
P-touch Library はテンプレートの印刷に使用できます。

ネットワーク経由でテンプレートを転送するには、P-touch Transfer Manager または BRAdmin Professional を使用します。BRAdmin Professional は、ブラザーのウェブサイトからダウンロードできます。

P-touch Transfer Manager を使用する

P-touch Transfer Manager を使用するには、最初に P-touch Editor で作成したラベルテンプレートを P-touch Transfer Manager に転送する必要があります。

ラベルテンプレートを P-touch Transfer Manager に転送する

1. テンプレートとして使用するラベルレイアウトを P-touch Editor 5.1 で作成し、[**ファイル**] - [**名前を付けて保存**] メニューを選択してテンプレートファイル（*.lbx）として保存します。
2. [**ファイル**] - [**テンプレートの転送**] - [**転送**] をクリックします。

P-touch Transfer Manager が起動すると、メイン画面が表示されます。

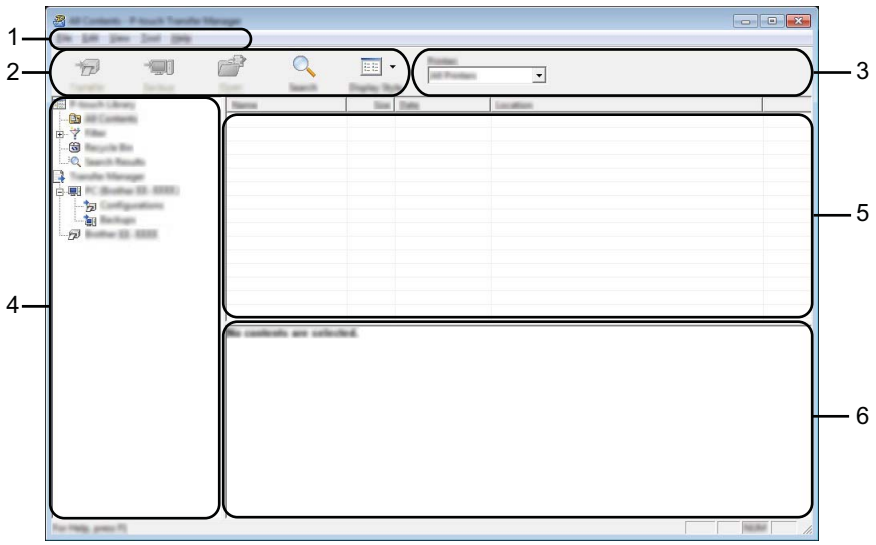
メモ

次の方法でも P-touch Transfer Manager を起動できます。

Windows Vista®/Windows® 7/Windows Server® 2008/Windows Server® 2008 R2 の場合
スタートボタンから、[**すべてのプログラム**] - [**Brother P-touch**] - [**P-touch ツール**] - [**P-touch Transfer Manager 2.2**] をクリックします。

Windows® 8/Windows® 8.1/Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2 の場合
[**アプリ**] 画面で [**P-touch Transfer Manager 2.2**] をクリックします。

メイン画面



1 メニューバー
各機能に従って、各メニュータイトル（[**ファイル**]、[**編集**]、[**表示**]、[**ツール**]、[**ヘルプ**]）の下にグループ化された様々なコマンドにアクセスできます。

2 ツールバー
頻繁に使用するコマンドへアクセスできます。

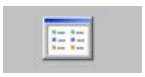
3 プリンター機種選択メニュー
データ転送先のプリンターを選択できます。プリンターを選択すると、選択したプリンターに送信できるデータのみがデータリストに表示されます。

4 フォルダーリスト
フォルダーとプリンターのリストを表示します。フォルダーを選択すると、選択フォルダー内のテンプレートがテンプレートリストに表示されます。
プリンターを選択すると、現在のテンプレートとプリンターに保存されているその他のデータが表示されます。

5 テンプレートリスト
選択フォルダー内のテンプレートのリストを表示します。

6 プレビュー
テンプレートリスト内のテンプレートのプレビューを表示します。

ツールバーアイコンの説明

アイコン	ボタン名	機能
	転送 (P-touch Transfer Manager 用のみ)	テンプレートやその他のデータをコンピューターからプリンターに転送します。
	バックアップ (P-touch Transfer Manager 用のみ)	プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータを検索し、コンピューターに保存します。
	開く	選択テンプレートを開きます。
	印刷 (P-touch Library 用のみ)	選択ラベルテンプレートをプリンターで印刷します。
	検索	P-touch Library に登録されているテンプレートやその他のデータを検索できます。
	**スタイル表示**	ファイル表示スタイルを変更します。

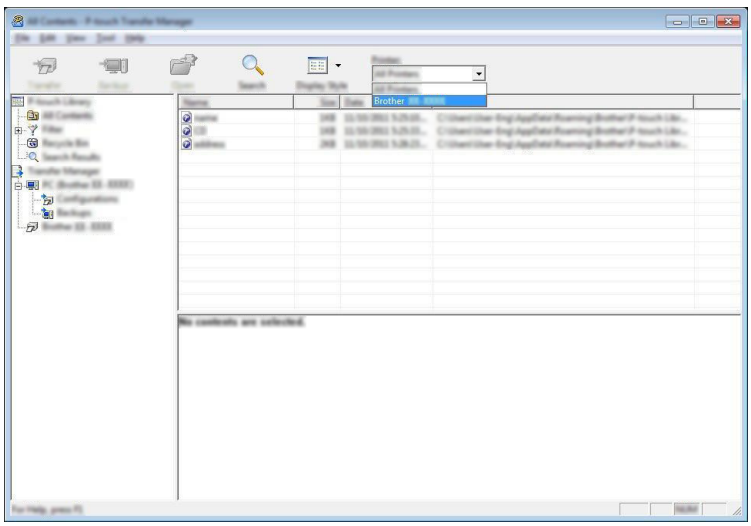
USB を使用してコンピューターからプリンターへテンプレートやその他のデータを転送する

次の手順を使用して、テンプレート、データベース、画像をコンピューターからプリンターに転送します。

重要

USB を使用してプリンターをコンピューターに接続するときは、ここに記載する指示に従ってください。

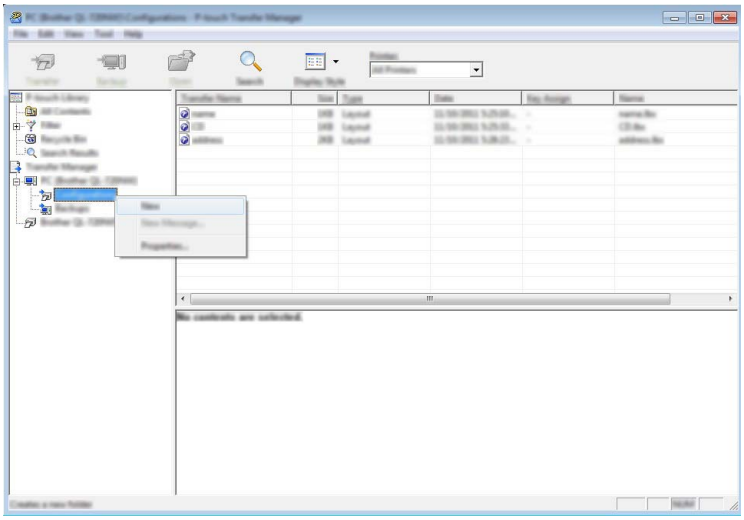
1. USB を使用してコンピューターとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。
   プリンターの機種名が、フォルダーリスト内に表示されます。
   フォルダーリスト内のプリンターを選択すると、そのプリンターに保存されているテンプレートやその他のデータが表示されます。
2. テンプレートやその他のデータを転送するプリンターを選択します。



メモ

データを転送する前に、コンピューターとプリンターが USB を使用して正しく接続されていること、およびプリンターの電源が入っていることを確認します。

3 [**転送用データセット**] を右クリックし、[**新規作成**] を選択し、新しいフォルダーを作成します。



上記の例では、**[Transfer]** のフォルダーが作成されます。

4 転送するテンプレートやその他のデータをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。

転送機能仕様

データタイプ	最大転送可能項目数	制限詳細
テンプレート	99	■ 各テンプレートには最大 1,000 オブジェクトを収納できます。
データベース	99	■ *.csv ファイルのみ転送できます。 ■ 各 *.csv ファイルには、最大 100 ファイル、65,000 レコードを収納できます。
画像 (ユーザー定義文字)	99	■ *.bmp ファイルのみ転送できます。 ■ モノクロ *.bmp ファイルを推奨します。 ■ サイズ制限は 576X7992 ピクセルです。 ■ ワイド画像を切り取りできます。

メモ

プリンターセットアップ情報を印刷することで、転送ファイルメモリの空き領域を確認できます。
プリンターの↑(フィード) ボタンを長押しして、プリンターセットアップ情報を印刷します。
空き領域については [**RomFree**] を参照してください *。

RJ-3150 を使用する場合は、プリンターの LCD で転送ファイルメモリの空き領域を確認できます

1 [Menu]、[▲]、または [▼] ボタンを押して [本体情報] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。

2 [▲] または [▼] を使用して [本体情報表示] を選択し、[OK] ボタンを押します。

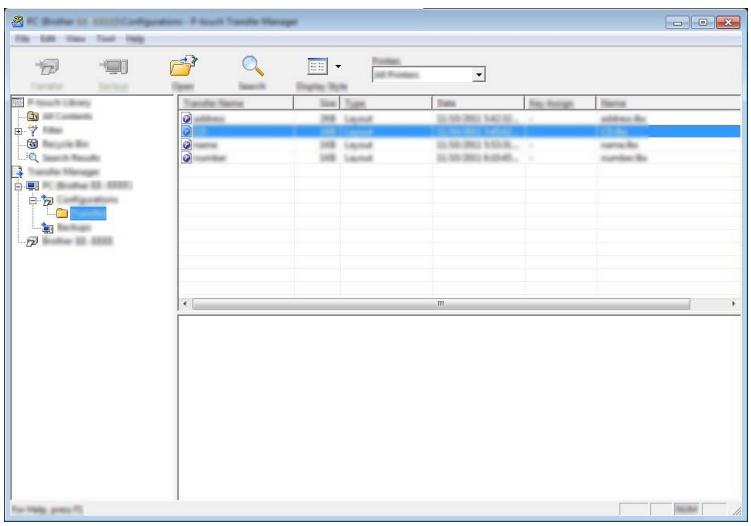
空き領域については、[RomFree] を参照してください *。

* 「RomFree = *******byte」に表示される空き領域は、実際の空き領域とは異なることがあります。

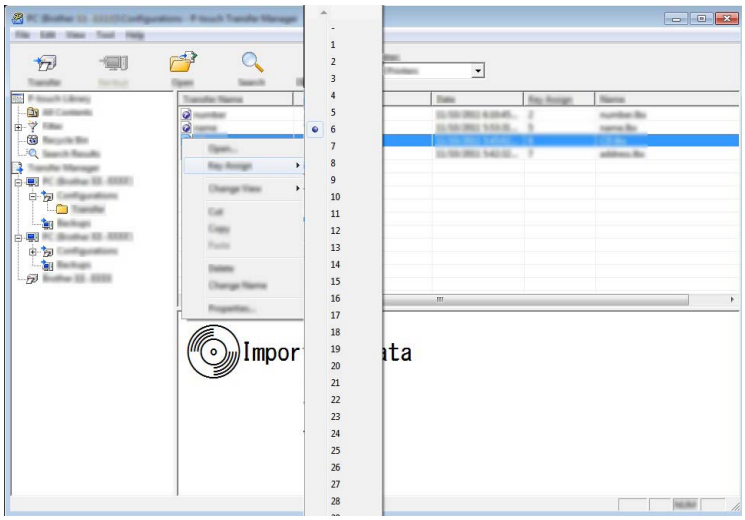
[**転送用データセット**] フォルダー内のフォルダーを選択し、[**すべてのコンテンツ**] を選択する、または [**レイアウト**] など、[**フィルター**] にあるカテゴリの 1 つを選択することで、テンプレートやその他のデータを表示できます。

複数のテンプレートやその他のデータを転送する場合は、転送するすべてのファイルをドラッグし、新しいフォルダーに格納します。

各ファイルを新しいフォルダーに格納すると、キー割り当て番号（プリンター内のメモリ場所）が割り当てられます。



5 キー割り当て番号を変更する場合は、ファイルを右クリックし、[**キー割り当て**] を選択して、キー割り当て番号を選択します。



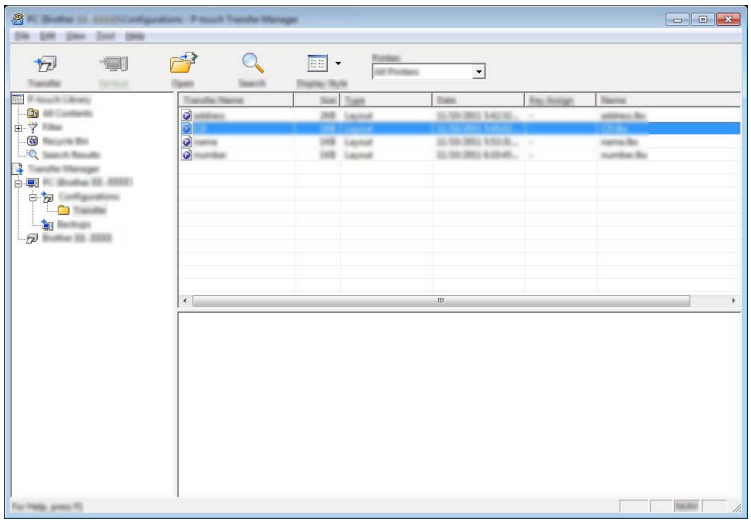
メモ

- プリンターに転送するすべてのデータに、キー割り当て番号が割り当てられます。
- テンプレートアイコンに表示された画像は変更できます。P-touch Transfer Manager を使用して、プリンターに表示する画像の .bmp ファイルを転送します。[**キー割り当て**] 番号には、テンプレートのキー番号と同じ番号を指定します。

  テンプレートアイコンについて、詳しくは「画面」（27 ページ）を参照してください。
- プリンターに転送されたテンプレートやその他のデータが、すでにプリンターに保存されている他のテンプレートと同じキー番号の場合は、新しいテンプレートが上書きされます。プリンターに保存されたテンプレートキー番号の割り当ては、テンプレートやその他のデータをバックアップすることで確認できます（「プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータをバックアップする」（148 ページ）をご覧ください）。
- メモリがいっぱいの場合は、プリンターに保存されているテンプレートを 1 ～ 2 ファイル削除してください。（「プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータをバックアップする」（148 ページ）をご覧ください）。

6 転送するテンプレートなどのデータ名を変更するには、該当のデータをクリックして新しい名前を入力します。プリンターの機種によっては、データ名として使用可能な文字数に制限がある場合があります。

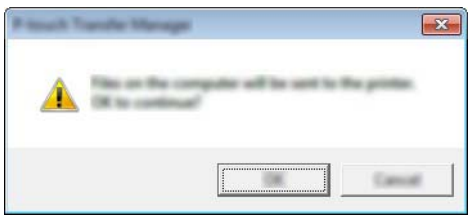
7 転送したいデータを含むフォルダーを選択し、[**転送**] をクリックします。確認メッセージが表示されます。



メモ

- 個別のファイルを、フォルダーにまとめずにプリンターに転送することもできます。転送したいファイルを選択し、[**転送**] をクリックします。
- 複数の項目とフォルダーを選択し、1 回の操作で転送できます。

8 **[OK]** をクリックします。



選択したテンプレート、フォルダー、その他のデータがプリンターに転送されます。

プリンターに保存されたテンプレートやその他のデータをバックアップする

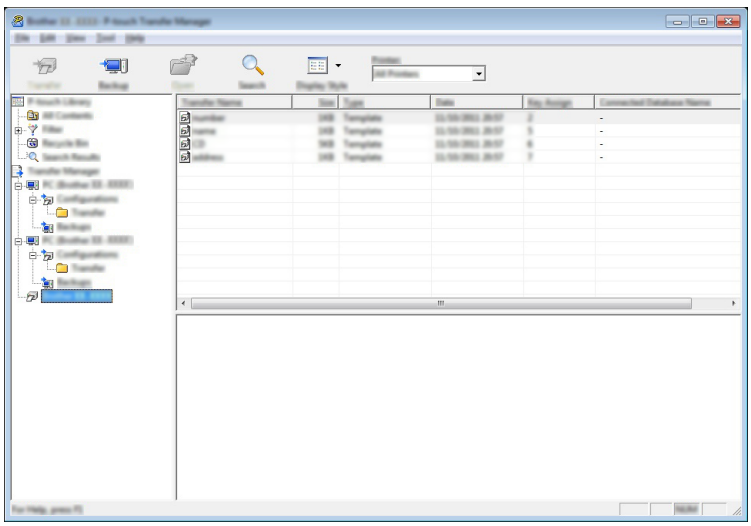
プリンターに保存したテンプレートやその他のデータをコンピューターに保存するには、以下の操作を行います。

重要

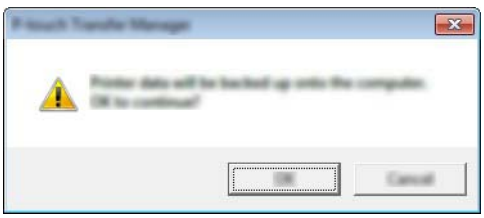
- バックアップしたテンプレートやその他のデータは、コンピューター上では編集できません。
- 一部のプリンターの仕様では、オリジナルデータのバックアップ元と異なるモデルのプリンターにバックアップデータを再転送できない場合があります。

1. コンピューターとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。
   プリンターの機種名が、フォルダーリスト内に表示されます。
   フォルダーリスト内のプリンターを選択すると、そのプリンターに保存されているテンプレートやその他のデータが表示されます。

2. バックアップするプリンターを選択し、[**バックアップ**] をクリックします。
   確認メッセージが表示されます。



3. **[OK]** をクリックします。
   フォルダーリスト内のプリンターのフォルダーの下に、新しいフォルダーが作成されます。バックアップの日時がフォルダー名になります。
   プリンターのテンプレートなどのデータが、すべて新しいフォルダーに転送され、コンピューターに保存されます。



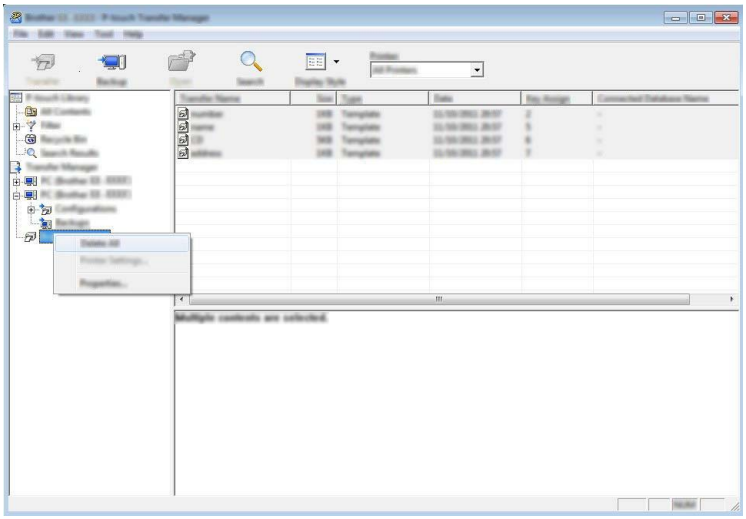
プリンター内のすべてのデータを削除する

プリンターに保存されたすべてのテンプレートやその他のデータを削除するには、以下の操作を行います。

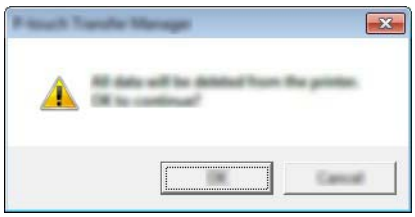
重要

この機能は、コンピューターとプリンターを USB で接続しているときにのみ使用できます。

1. コンピューターとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。
   プリンターの機種名が、フォルダーリスト内に表示されます。
2. プリンターを選択して右クリックし、[**全削除**] を選択します。



確認メッセージが表示されます。



3. **[OK]** をクリックします。
   プリンターに保存されているすべてのテンプレートやその他のデータが削除されます。

P-touch Library を使用する

P-touch Library を起動する

Windows Vista®/Windows® 7/Windows Server® 2008/Windows Server® 2008 R2 の場合

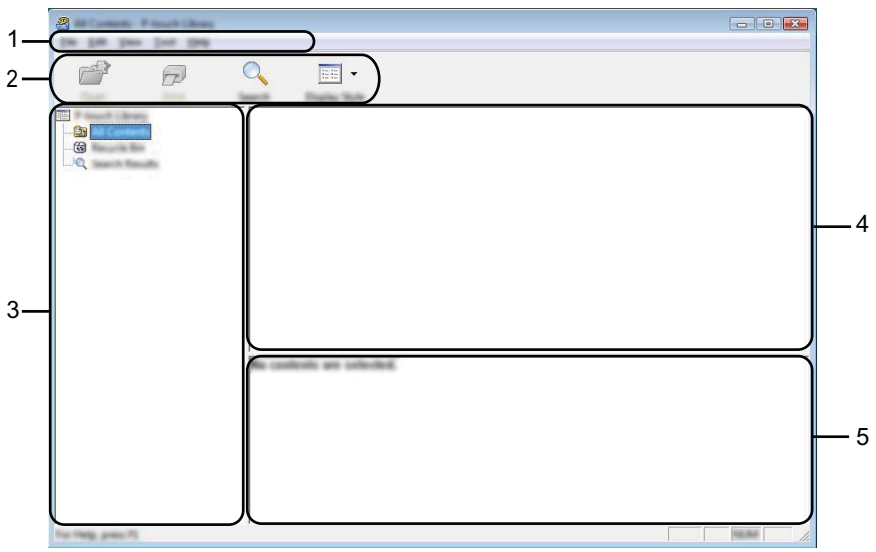
[スタート] ボタンから、[すべてのプログラム]-[**Brother P-touch**]-[**P-touch ツール**]-[**P-touch Library 2.2**] をクリックします。

Windows® 8/Windows® 8.1/Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2 の場合

[アプリ] 画面で、[**P-touch Library 2.2**] をクリックします。

P-touch Library が起動すると、メイン画面が表示されます。

メイン画面



1 メニューバー
各機能に従って、各メニュータイトル（[**ファイル**]、[**編集**]、[**表示**]、[**ツール**]、[**ヘルプ**]）の下にグループ化された使用可能なすべてのコマンドにアクセスできます。

2 ツールバー
頻繁に使用するコマンドへアクセスできます。

3 フォルダーリスト
フォルダーのリストを表示します。フォルダーを選択すると、選択フォルダー内のテンプレートやその他のデータがテンプレートリストに表示されます。

4 テンプレートリスト
選択フォルダー内のテンプレートやその他のデータのリストを表示します。

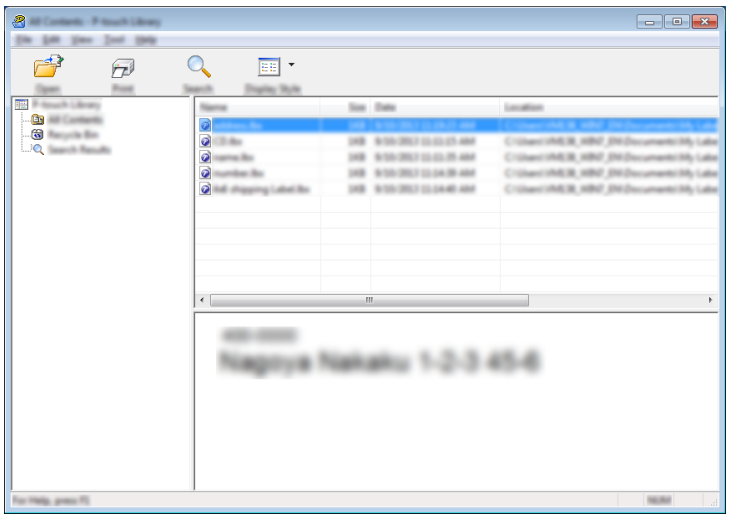
5 プレビュー
テンプレートリストで選択したテンプレートやその他のデータのプレビューを表示します。

ツールバーアイコンの説明

アイコン	ボタン名	機能
	開く	選択テンプレートを開きます。
	印刷 (P-touch Library 用のみ)	選択ラベルテンプレートをプリンターで印刷します。
	検索	P-touch Library に登録されているテンプレートやその他のデータを検索できます。
	スタイル表示	ファイル表示スタイルを変更します。

テンプレートを開いて編集する

開く、または編集するテンプレートを選択し、[**開く**] をクリックします。



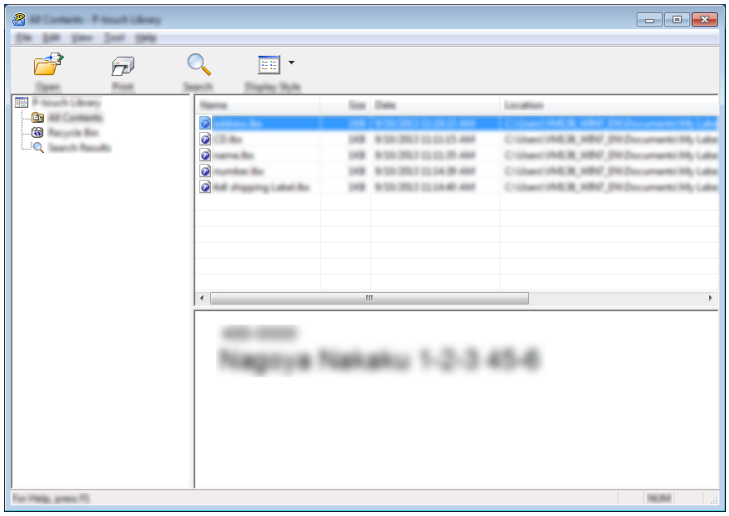
テンプレートに関連するアプリケーションが起動し、テンプレートの編集が可能になります。

メモ

起動するアプリケーションは選択するファイルの種類によって異なります。たとえば、P-touch Template を選択すると、P-touch Editor が起動します。

テンプレートを印刷する

印刷するテンプレートを選択し、[**印刷**] をクリックします。

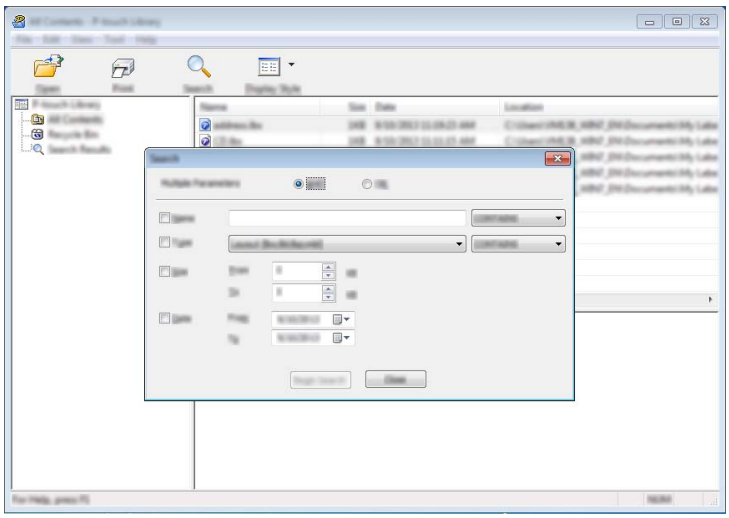


接続されたプリンターでテンプレートが印刷されます。

テンプレートやその他のデータを検索する

P-touch Library に登録されているテンプレートやその他のデータを検索できます。

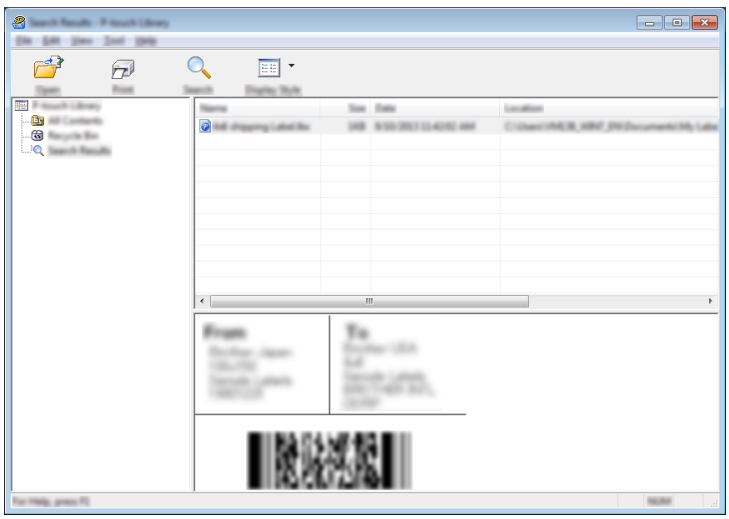
1. [**検索**] をクリックします。
   [**検索**] ダイアログボックスが表示されます。



2 検索基準を指定します。
設定可能な検索項目は、以下の通りです。

設定	詳細
複数の条件項目の扱い	複数の検索項目の組合せ方法が設定されます。[**かつ**] を選ぶと、すべての条件を満たすファイルが検索されます。 [**または**] を選ぶと、条件のいずれか 1 つを満たすファイルが検索されます。
名前	ファイル名を指定することで、テンプレートやその他のデータを検索できます。
種類	ファイルの種類を指定することで、テンプレートやその他のデータを検索できます。
サイズ	ファイルサイズを指定することで、テンプレートやその他のデータを検索できます。
更新日付	ファイルの更新日付を指定することで、テンプレートやその他のデータを検索できます。

3 [**検索開始**] をクリックします。
検索が開始されます。



4 [**検索**] ダイアログボックスを閉じます。
検索結果は、フォルダーリスト内の [**検索結果**] で確認できます。

メモ

テンプレートやその他のデータを P-touch Library に登録するには、[**すべてのコンテンツ**] フォルダーまたはフォルダーリストにドラッグアンドドロップします。テンプレートを自動的に P-touch Library に登録する場合は、以下の操作を行ってください。

1 P-touch Editor のメニューで [**ツール**]-[**オプション**] を選択します。

2 [**オプション**] ダイアログボックスの [**全般**] タブで、[**登録条件の設定**] をクリックします。

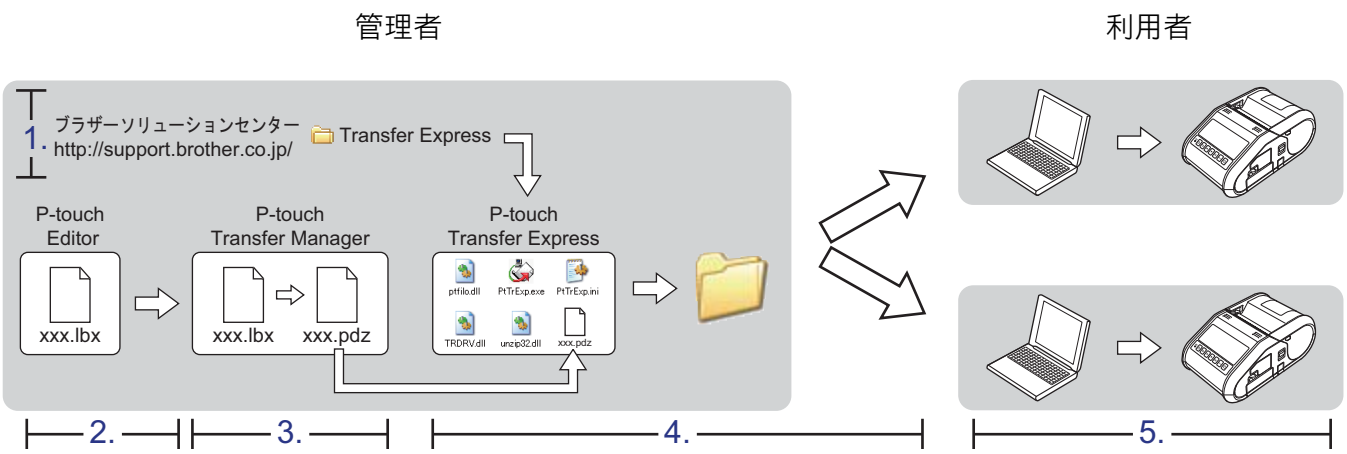
3 P-touch Editor で作成したテンプレートを登録するタイミングを選択し、[**OK**] をクリックします。

12 P-touch Transfer Express でラベルテンプレートを転送する

P-touch Transfer Express を使って、ラベルテンプレートをプリンター に簡単に転送することができます。管理者がラベルテンプレートを作成し、ラベルテンプレートと P-touch Transfer Express を利用者に配布します。
利用者は P-touch Transfer Express を使って、テンプレートをプリンターに転送します。
1 人の管理者がラベルを作成するので、それぞれの利用者がラベルを作成する手間を省くことができます。

重要

- テンプレートを新しいテンプレートとして転送する場合は、必ず、P-touch Transfer Manager で現在使用していない [**キー割り当て**] 番号を指定してください。指定した [**キー割り当て**] 番号がすでに使用されている場合は、既存のテンプレートは新しいテンプレートで上書きされます。
- この機能には、USB 接続が必要です。



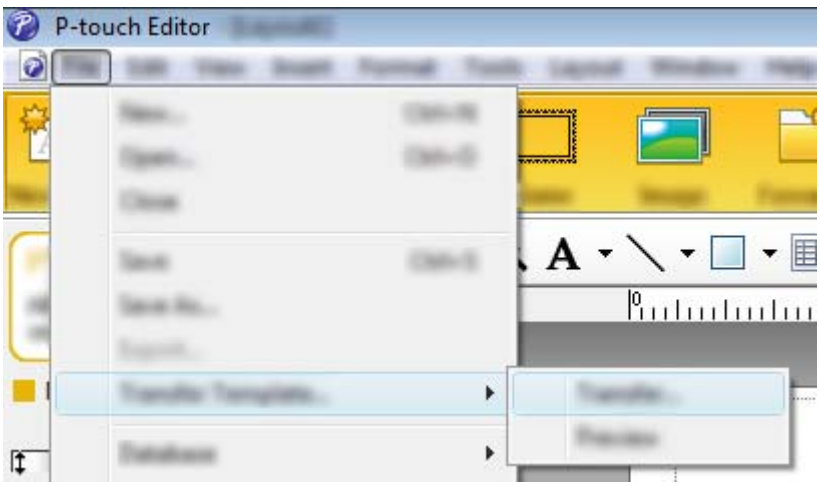
P-touch Transfer Express を準備する

ラベルテンプレートをブラザープリンターに転送するには、P-touch Transfer Express の準備をする必要があります。

1. 最新の P-touch Transfer Express は、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。http://support.brother.co.jp/
   [**製品から探す**] - [**モバイルプリンター**] - [RJ-3xxxxx] で製品を選択し、[**ソフトウェアダウンロード**]
2. P-touch Transfer Express をコンピューターの任意の場所にダウンロードします。

ラベルテンプレートを P-touch Transfer Manager に転送する

1. テンプレートとして使用するラベルレイアウトを P-touch Editor 5.1 で作成し、[ファイル] - [**名前を付けて保存**] メニューを選択してテンプレートファイル（*.lbx）として保存します。
2. [ファイル] - [**テンプレートの転送**] - [**転送**] をクリックします。



ラベルテンプレートが P-touch Transfer Manager に転送されます。
P-touch Transfer Manager が自動的に起動します。

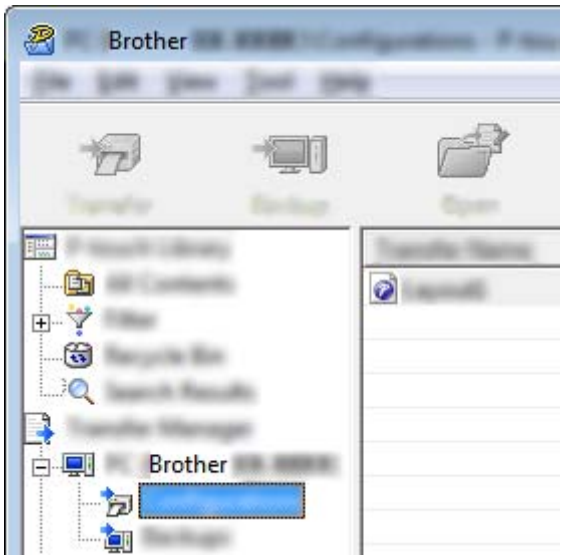
メモ

- **Windows Vista®/Windows® 7/Windows Server® 2008/Windows Server® 2008 R2 の場合**
  スタートボタン -[すべてのプログラム] - [**Brother P-touch**] - [**P-touch ツール**] - [**P-touch Transfer Manager 2.2**] をクリックして P-touch Transfer Manager を起動し、.lbx ファイルを P-touch Transfer Manager 画面にドラッグすることでも、ラベルテンプレートを P-touch Transfer Manager に転送できます。
- **Windows® 8/Windows® 8.1/Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2 の場合**
  [アプリ] 画面で [**P-touch Transfer Manager 2.2**] をクリックして P-touch Transfer Manager を起動し、.lbx ファイルを P-touch Transfer Manager 画面にドラッグすることで、ラベルテンプレートを P-touch Transfer Manager に転送できます。

ラベルテンプレートを Transfer Package ファイル（.pdz）として保存する

P-touch Transfer Express が使用できる形式でファイルを作成するために、ラベルテンプレートを Transfer Package ジファイル（.pdz）として保存します。

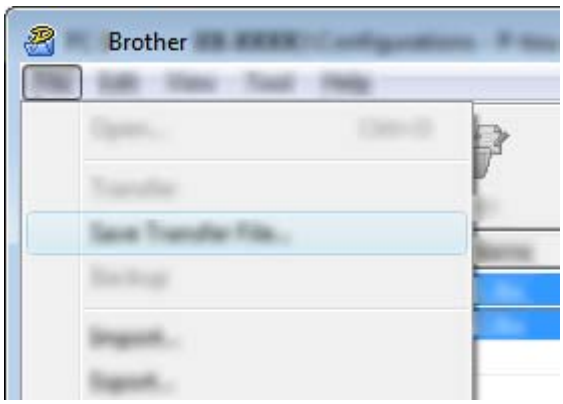
1. フォルダービューで、[**転送用データセット**] を選択します。



2. 配布するラベルテンプレートを選択します。

複数のラベルテンプレートを選択できます。

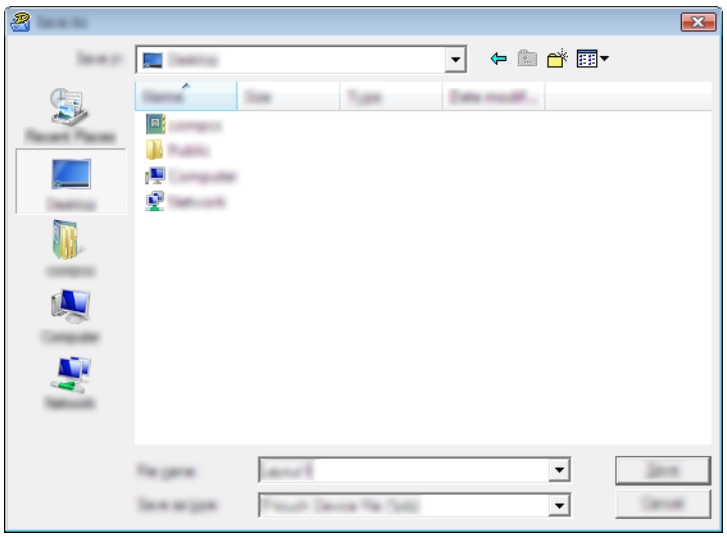
3 [ファイル] - [**転送ファイル保存**] をクリックします。



メモ

- **[転送用データセット]**または作成フォルダーを選択しながら**[転送ファイル保存]**をクリックすると、フォルダー内のすべてのラベルテンプレートが Transfer Package ファイル（.pdz）として保存されます。
- 複数のラベルテンプレートを、1 つの Transfer Package ファイル（.pdz）にまとめることができます。

4 名前を入力し、[**保存**] をクリックします。



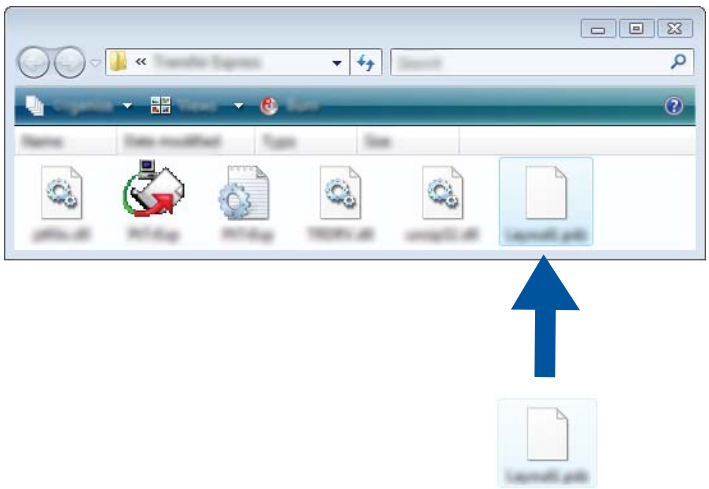
ラベルテンプレートは Transfer Package ファイル（.pdz）として保存されます。

Transfer Package ファイル（.pdz）と P-touch Transfer Express を利用者に配布する

メモ

利用者がすでに P-touch Transfer Express をダウンロードしている場合は、管理者は P-touch TransferExpress を利用者に配布する必要はありません。利用者は、受け取った Transfer Package ファイルをダウンロードしたフォルダーの中に入れてから、**[PtTrExp.exe]** を実行してください。

1. Transfer Package ファイル（.PDZ）をダウンロードしたフォルダーに移動します。



2. ダウンロードしたフォルダー内のすべてのファイルを利用者に配布します。

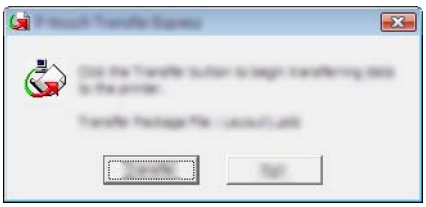
Transfer Package ファイル（.pdz）を プリンターに転送する

利用者は、管理者から受け取った P-touch Transfer Express を使って、Transfer Package ファイル（.pdz）をプリンターに転送します。

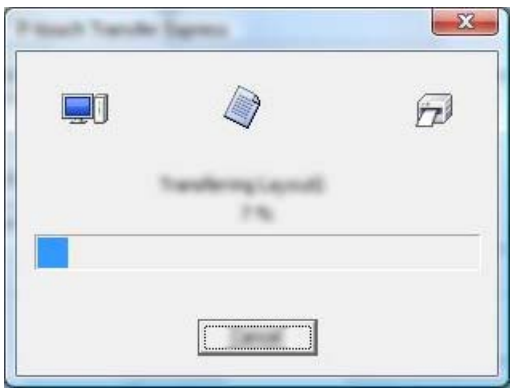
重要

テンプレートを転送中は電源を切らないでください。

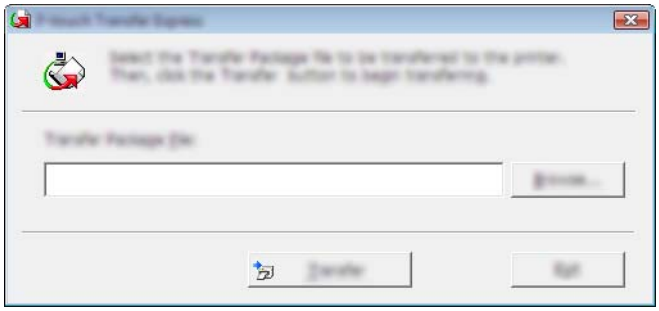
1. プリンターの電源を入れます。
2. プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続します。
3. 管理者から受け取った **[PtTrExp.exe]** をダブルクリックします。
4. **[PtTrExp.exe]** と同じフォルダー内に、Transfer Package ファイル（.pdz）が 1 つあるときは［開始］をクリックします。



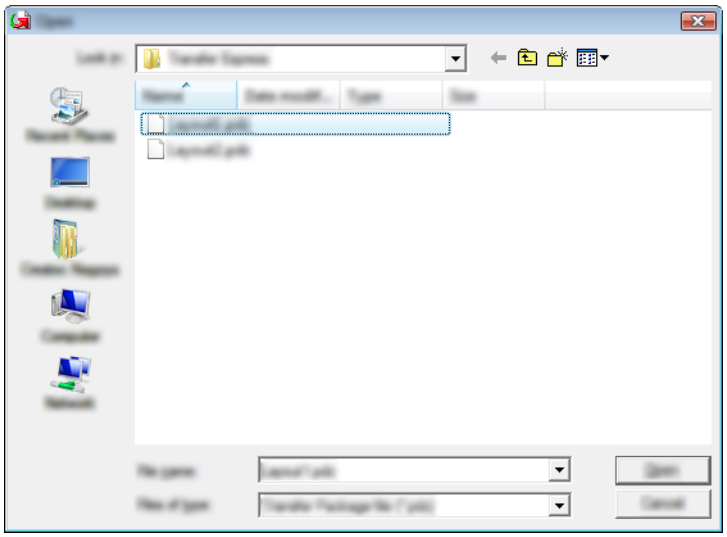
Transfer Package ファイルの転送が開始します。



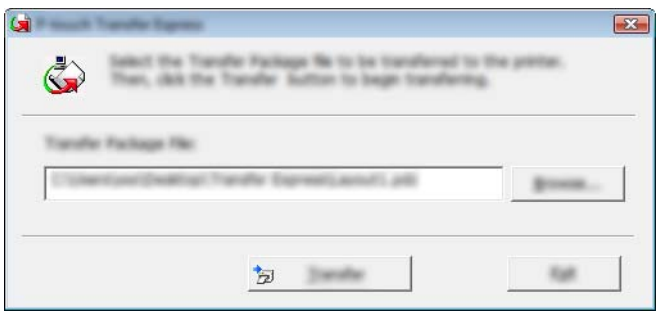
[PtTrExp.exe] を含むフォルダー内に複数の Transfer Package ファイル（.pdz）がある、または 1 つもない場合は、**[参照]** をクリックします。



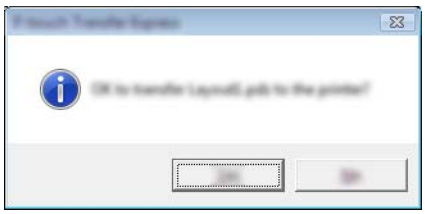
転送する Transfer Package ファイルを選択し、**[開く]** をクリックします。



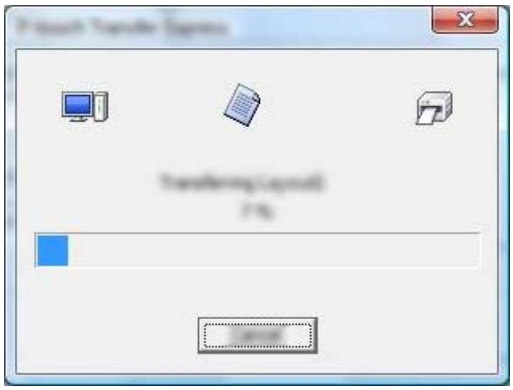
[開始] をクリックします。



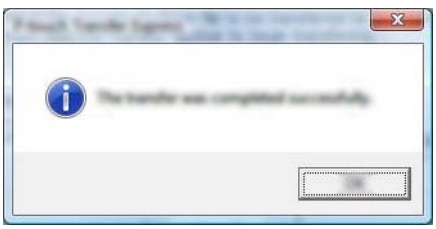
[はい] をクリックします。



Transfer Package ファイルの転送が開始します。



5 [**OK**] をクリックします。



Transfer Package ファイルの転送が完了しました。

13 P-touch Update Software を使用する

ソフトウェアは、このツールを使用して最新の使用可能なバージョンにアップグレードできます。
以下に示す手順に、XX-XXXX という表記があります。「XX」は自分のプリンター名を表しています。

メモ

- P-touch Update Software を使用するには、弊社 Web サイト（http://www.brother.com/inst/ja/）からダウンロードし、インストールしてください。インストールガイドはダウンロードページにあります。
- P-touch Update Software を使用するには、インターネットに接続する必要があります。
- ソフトウェアと本書の内容が異なる場合があります。
- P-touch Update Software をインストールすると、デスクトップにアイコンが自動的に表示され便利です。
- データを転送する場合またはファームウェアを更新する場合は、電源を切らないでください。

P-touch Editor をアップデートする

1. **Windows Vista®/Windows® 7/Windows Server® 2008/Windows Server® 2008 R2 の場合**
   [P-touch Update Software] アイコンをダブルクリックします。

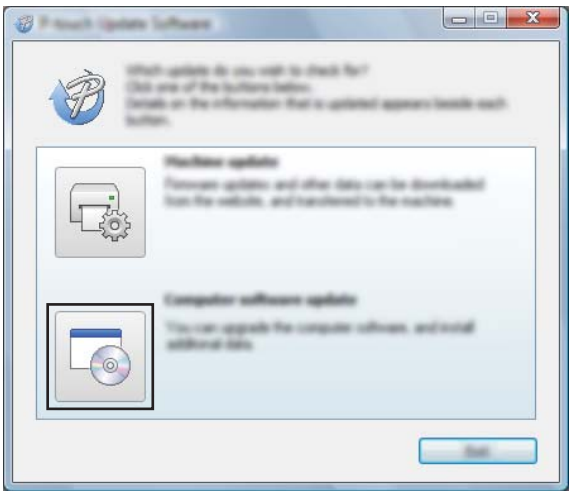
メモ

次の方法でも、P-touch Update Software を起動できます。

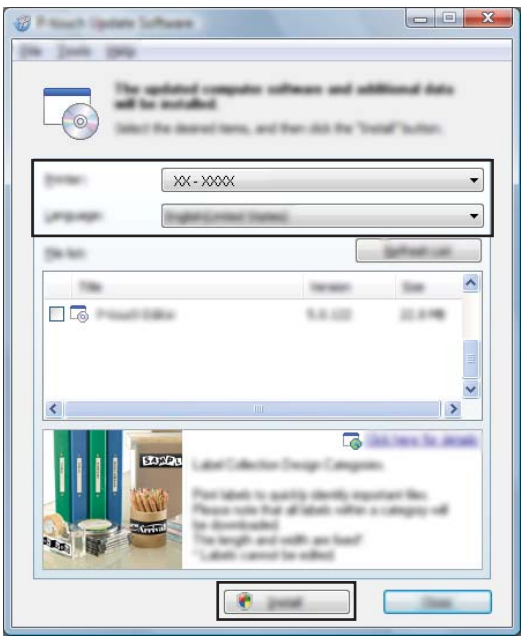
スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - **[Brother P-touch]** - **[P-touch Update Software]** を選択します。

Windows® 8/ Windows® 8.1/Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2 の場合
[アプリ] 画面で **[P-touch Update Software]** をクリックする、またはデスクトップの **[P-touch Update Software]** をダブルクリックします。

2 [**PC 系アップデート**] アイコンをクリックします。



3 [**プリンター**] と [**言語**] を選択し、P-touch Editor の隣にあるチェックボックスを選択し、[**インストール**] をクリックします。



4 インストール完了のメッセージが表示されます。

ファームウェアをアップデートする

重要

- データを転送する場合またはファームウェアを更新する場合は、電源を切らないでください。
- 他のアプリケーションを実行している場合は、アプリケーションを終了してください。

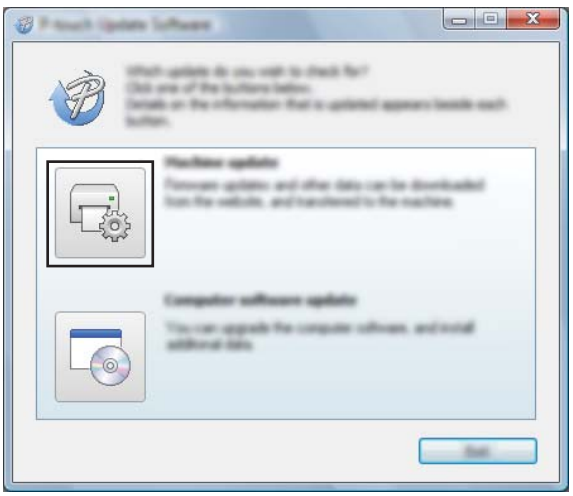
1. プリンターの電源を入れ、USB ケーブルを接続します。
2. **Windows Vista®/Windows® 7/Windows Server® 2008/Windows Server® 2008 R2 の場合**
   [P-touch Update Software] アイコンをダブルクリックします。

メモ

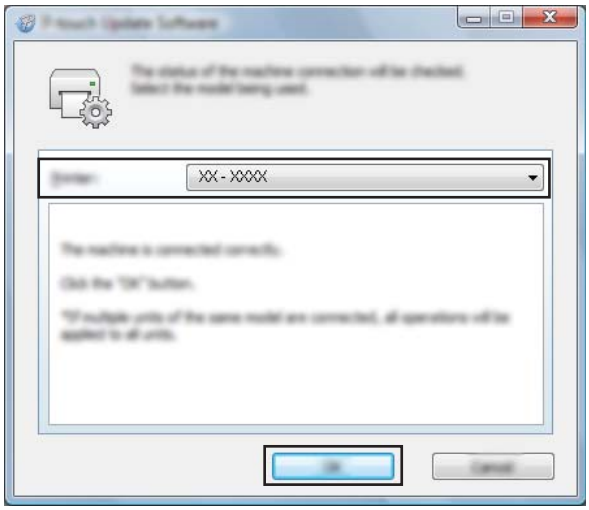
次の方法でも、P-touch Update Software を起動できます。
スタートボタンをクリックし、**[すべてのプログラム]** - **[Brother P-touch]** - **[P-touch Update Software]** を選択します。

Windows® 8/ Windows® 8.1/Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2 の場合
[アプリ] 画面で **[P-touch Update Software]** をクリックする、またはデスクトップの **[P-touch Update Software]** をダブルクリックします。

3. **[本体系アップデート]** アイコンをクリックします。



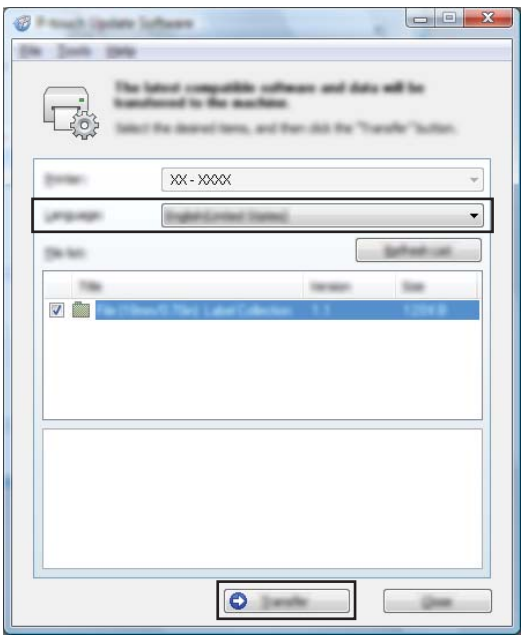
4 [プリンター] を選択し、[**本体は正しく接続されています。**] が表示されていることを確認し、[**OK**] をクリックします。



5 [**言語**] を選択し、更新するファームウェアの隣にあるチェックボックスを選択し、[**転送**] をクリックします。

重要

データ転送中は、プリンターの電源を切ったり、ケーブルを取り外したりしないでください。



6 アップデートしたい項目のチェックボックスをチェックして、[**開始**] をクリックします。
ソフトウェアのダウンロードが開始します。

メモ

アップデート中に本機の電源を切らないでください。

第 III 編

無線ネットワーク

はじめに 167
プリンターのネットワーク設定を変更する 168
無線 **LAN** を設定する 171
ウェブブラウザー（**Web Based Management**）で管理する 172
困ったときは 174
付録 **A** 179
付録 **B** 180

14 はじめに

ネットワーク機能

ブラザープリンターは、内部ネットワークプリントサーバーを使用して IEEE 802.11b/g/n 無線ネットワークで共有できます。プリントサーバーは、使用しているオペレーティングシステムに応じて、ネットワーク対応 TCP/IP に関する様々な機能および接続方式をサポートします。

15 プリンターのネットワーク設定を変更する

プリンターのネットワーク設定（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ）を変更する

BRAdmin Light ユーティリティを使用する

BRAdmin Light ユーティリティは、ブラザーネットワークに接続可能な装置の初期設定用に設計されています。また、TCP/IP 環境でブラザー製品を検索してステータスを表示し、IP アドレスなど基本ネットワーク設定を行うこともできます。

BRAdmin Light をインストールする

1. ソフトウェアのインストーラーとマニュアルは、弊社 Web サイト（http://www.brother.com/inst/ja/）からダウンロードできます。
2. ダウンロードした .exe ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。インストールする項目を選択するダイアログボックスで、BRAdmin Light を選択します。

メモ

- より高度なプリンター管理が必要な場合は、ブラザーソリューションセンターの http://support.brother.co.jp/ からダウンロードした最新の Brother BRAdmin Professional ユーティリティを使用してください。
- ファイアウォール、アンチスパイウェア、またはアンチウイルスソフトウェアを使用している場合は、それらを一時無効にします。印刷が可能であることを確認した後で、有効に戻します。
- 現在の BRAdmin Light 画面にノード名が表示されます。プリンター内のプリントサーバーの初期設定ノード名は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。（「xxxxxxxxxxxx」の部分は、本機の MAC アドレス / イーサネットアドレスに基づいています。）

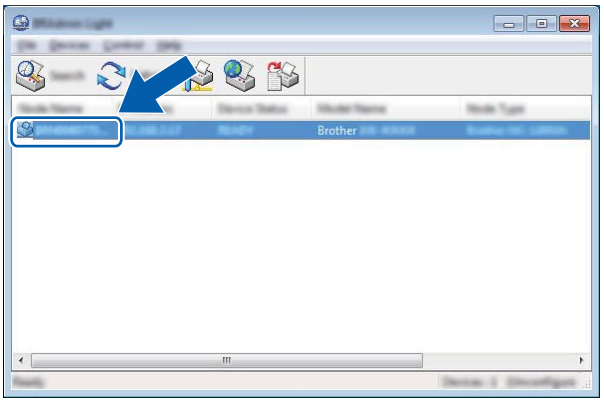
BRAdmin Light を使用して IP アドレス、サブネットマスクおよびゲートウェイを設定する

1. BRAdmin Light ユーティリティを起動します。
   - Windows Vista®/Windows® 7/Windows Server® 2008/Windows Server® 2008 R2 の場合

     [スタート] - [すべてのプログラム] - **[Brother]** - **[BRAdmin Light]** - **[BRAdmin Light]** をクリックします。
   - Windows® 8/Windows® 8.1/Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2 の場合

     [アプリ] 画面で、**[BRAdmin Light]** をクリックします。
2. BRAdmin Light は自動的に新しいデバイスを検索します。

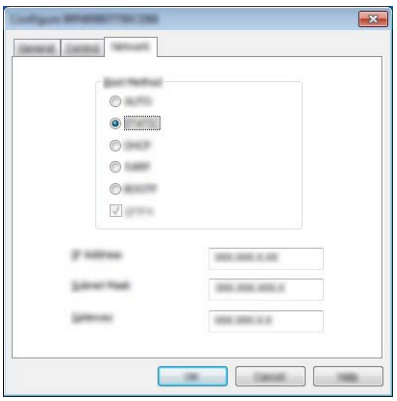
3 新しいデバイスをダブルクリックします。



メモ

DHCP/BOOTP/RARP サーバーを使用しない場合は、検索されたデバイスは [**未設定**] と表示されます。

4 [**IP 取得方法**] の [**STATIC**] を選択します。必要に応じて、プリントサーバーの [**IP アドレス**]、[**サブネットマスク**]、[**ゲートウェイ**] を入力します。



5 [**OK**] をクリックします。

6 IP アドレスが正しく設定されると、リストに本機のノード名やプリンター名が表示されます。

その他の管理ユーティリティ

ブラザープリンターは、BRAdmin Light ユーティリティ以外に次の管理ユーティリティで使用できます。これらのユーティリティを使用して、ネットワーク設定を変更できます。

ウェブブラウザー（Web Based Management）を使用する

HTTP（ハイパーテキストトランスファープロトコル）を使用してプリントサーバーの設定を変更できます。（「ウェブブラウザーを使用して本機を設定する」（173 ページ）をご覧ください。）

BRAdmin Professional ユーティリティを使用する

BRAdmin Professional は、ネットワークに接続されたブラザー機器のより高度な管理用ユーティリティです。このユーティリティはネットワークでブラザー製品を検索し、見やすいエクスプローラー型の画面で装置のステータスを表示できます。この画面では、色を変化させて各装置のステータスを表示します。ローカルエリアネットワーク（LAN）の Windows® コンピューターから装置ファームウェアを更新できるほか、ネットワークと本体設定を構成することもできます。BRAdmin Professional はネットワークでブラザー機器の動作を記録し、ログデータを HTML、CSV、TXT または SQL 形式でエクスポートできます。

詳細とダウンロードについては、http://support.brother.co.jp/ をご覧ください。

メモ

- http://www.brother.com/inst/ja/ から最新バージョンの BRAdmin Professional ユーティリティをダウンロードしてご使用ください。
- ファイアウォール、アンチスパイウェア、またはアンチウイルスソフトウェアを使用している場合は、それらを一時無効にします。印刷が可能であることを確認した後で、有効に戻します。
- 現在の BRAdmin Professional 画面にノード名が表示されます。お買い上げ時のノード名は、「BRWxxxxxxxxxxxx」となっています。（「xxxxxxxxxxxx」の部分は、本機の MAC アドレス / イーサネットアドレスに基づいています。）

16 無線 LAN を設定する

プリンター独自の機能を使用する（RJ-3150 のみ）

プリンターのオプション設定で無線 LAN 接続を確立しネットワーク設定を構成または表示できます。

無線 LAN 接続を確立する

1. [Menu]、[▲]、または [▼] ボタンを押して [無線 LAN] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。
2. [無線 LAN (On/Off)] を [オン] に設定します。
   これで、Wi-Fi 通信が使用できます。

ネットワーク設定を表示する

1. [Menu]、[▲]、または [▼] ボタンを押して [無線 LAN] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。
2. [無線 LAN ステータス] を選択し、[OK] ボタンを押します。
   現在の設定が表示されます。
3. [OK] ボタンを押すと、画面はメイン画面に戻ります。

WPS を使用して無線 LAN 接続を確立する

1. 最初に、無線 LAN アクセスポイント / ルーターに WPS 記号があることを確認します。

2. [Menu]、[▲]、または [▼] ボタンを押して [無線 LAN] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。
3. [WPS] を [する] に設定します。
4. 本機を WPS アクセスポイント / ルーターの範囲内に置きます。この範囲は環境によって異なります。
   アクセスポイント / ルーターのマニュアルをご覧ください。
5. 無線 LAN アクセスポイント / ルーターの WPS ボタンとプリンターの [OK] ボタンを押します。
6. LCD に「WPS 設定中」と表示され、その後無線 LAN アイコンが青色で表示されます。

メモ

- WPS を使用して接続を 2 分間試みます。この間に [OK] ボタンを押すと、プリンターはボタンを押した時点からさらに 2 分間接続を試みます。
- ネットワークに接続できない場合は、LCD に Wi-Fi マークが表示されません。

17 ウェブブラウザー（Web Based Management）で管理する

概要

HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用して、ネットワークに接続されている本機を管理することができます。

- 本機のステータス情報
- TCP/IP などのネットワーク設定変更
- 本機とプリントサーバーのソフトウェアバージョン情報の取得
- ネットワークと本機の詳細設定

メモ

Microsoft® Internet Explorer® 7.0 以降または Firefox® 25.0.1 以降を推奨します。

いずれのブラウザーを使用している場合でも、JavaScript およびクッキーが常に有効であることを確認してください。

本機とパソコンが有効な IP アドレスを割り当てられ、TCP/IP プロトコルによってネットワーク接続されていることを確認してください。

ウェブブラウザーを使用して本機を設定する

HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用し、プリントサーバーの設定を変更できます。

1. ウェブブラウザーのアドレス欄に、「http://printer_ip_address/」と入力します。（「printer_ip_address/」はご使用になる本機の IP アドレスです。）
   - 例（プリンターの IP アドレスが 192.168.1.2. の場合）

     http://192.168.1.2/

メモ

ホストファイルを編集した場合や、またはドメインネームシステムを使用している場合は、IP アドレスではなく、本機に割り当てた名前を入力します。本機は、TCP/IP および NetBIOS をサポートしているため、本機の NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名は、プリンター設定一覧に表示されます。NetBIOS 名は、ノード名の最初の 15 文字が割り当てられます。初期設定では、「BRWxxxxxxxxxxxx」と表示されます。「xxxxxxxxxxxx」はイーサネットアドレスです。

2. 以下の手順でプリントサーバー設定を変更できます。

メモ

パスワードを設定する

ウェブブラウザーへの不正アクセスを防止するために、ログインパスワードを設定することを推奨します。

1. **[ネットワーク管理者]** をクリックします。
2. 任意のパスワードを入力します（32 文字まで）。
3. **[新しいパスワードの確認]** ボックスにパスワードを再入力します。
4. **[OK]** をクリックします。
   次回ウェブブラウザーにアクセスするときは、**[ログイン]** ボックスにパスワードを入力し、→をクリックします。
   設定後、→をクリックしログアウトします。

ログインパスワードを設定していない場合は、プリンターのウェブページの **[パスワードを設定してください]** をクリックすると、パスワードを設定できます。

18 困ったときは

概要

本章では、プリンター使用時によくあるネットワークの問題を解決する方法について説明します。本章に記載された方法で問題が解決しない場合は、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）のウェブサイト、http://support.brother.co.jp/ をご覧ください。

問題を特定する

以下を最初に確認してください。
Li-ion 充電池が正しく挿入され、充電残量が十分にあり、プリンターの電源がはいっていること。
すべての保護パッケージが本機から取り除かれていること。
無線 LAN アクセスポイントまたはルーター電源が入り、リンクライトが点滅していること。
ロール紙カバーが完全に閉まっていること。
用紙がロール紙収納スペースに正しく挿入されていること。

次のリストから解決方法が記載されているページに進みます

問題	参照ページ
プリンターから Wi-Fi または Bluetooth を設定するとき、エラーメッセージが表示されます（RJ-3150 のみ）。	174
Wi-Fi 設定ネットワークセットアップを構成できません。	175
ネットワーク装置が正しく動作しているのか確認したい。	178

無線 LAN または Bluetooth の設定が完了できない（RJ-3150 のみ）

エラーメッセージ	原因 / 解決方法
パスワードが違います。	■ 管理者パスワードが間違っていませんか？ 正しいパスワードを入力してください。 ■ パスワードを忘れた場合は、[プリンター設定ツール] の [本体設定] を使用してパスワードをリセットできます。詳しくは、「画面設定 (1)（RJ-3150 のみ）」（74 ページ）の 11 管理パスワードをご覧ください。
通信に失敗しました。	無線 LAN または Bluetooth の接続が切断されていませんか？ 無線 LAN または Bluetooth の接続が切断されました。本機の電源を切り、再度電源を入れてください。
無線 LAN 設定に失敗しました。再度やり直してください。	■ アクセスポイントを検索できませんでした。 ■ 接続を確立するアクセスポイントを特定できませんでした。

無線 LAN 接続の確立、ネットワーク設定が完了できない

質問	解決方法
セキュリティソフトウェアを使用していますか？	■ インストーラーダイアログボックスの設定を確認してください。 ■ プリンターインストール時にセキュリティソフトウェアの警告メッセージが表示された場合、アクセスを許可してください。
セキュリティ設定（SSID/ ネットワークキー）は正しいですか？	正しいセキュリティ設定を確認し、正しく選択してください。 ■ 無線 LAN アクセスポイント / ルーターのメーカー名またはモデル番号は、デフォルトセキュリティ設定として使用できます。 ■ セキュリティ設定を特定する詳細は、無線 LAN アクセスポイント / ルーターに添付されているマニュアルをご覧ください。 ■ 無線 LAN アクセスポイント / ルーターのメーカーにお問い合わせください。または、インターネットプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
本機とモバイル機器との距離が遠すぎませんか？	無線 LAN の設定時は、無線 LAN アクセスポイント / ルーターから約 1m 以内に本機を移動してください。
本機とモバイル機器との間に障害物（壁や家具など）がありませんか？	本機を障害物のない場所に移動してください。
本機や無線 LAN アクセスポイント / ルーターの近くに、無線 LAN パソコン、Bluetooth® 対応機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話がありませんか？	他の装置を本機から離してください。
MAC アドレスのフィルタリング機能を使用していますか？	プリンターセットアップ情報を印刷すると、MAC アドレスを確認できます。プリンターの↑(フィード）ボタンを長押しして、プリンターセットアップ情報を印刷してください。 RJ-3150 をご使用の場合は、プリンターの LCD で MAC アドレスを確認できます。 1 [Menu]、[▲]、または [▼] ボタンを押して [無線 LAN] メニューを選択し、[OK] ボタンを押します。 2 [▲] または [▼] を使用して [無線 LAN ステータス] を選択し、[OK] ボタンを押します。
無線 LAN アクセスポイント / ルーターがステルスモードになっていませんか（SSID を同報通信していませんか）？	■ インストール時、またはプリンター設定ツールで [**通信設定**] を使用する場合は、正しい SSID 名を入力する必要があります。 ■ 無線 LAN アクセスポイント / ルーターのマニュアルで SSID 名を確認し、無線ネットワークセットアップを再構成してください。

無線 LAN 接続の確立、ネットワーク設定が完了できない （続き）

質問	解決方法
本機がネットワークに正しく接続されていますか？	RJ-3150 の場合、LCD で無線 LAN アイコンを確認してください。 ： ネットワークは正しく接続されています。 ： ネットワークは正しく接続されていません。無線ネットワークセットアップを構成し直す必要があります。 ： 無線ネットワーク設定が無効になっています。 RJ-3050 の場合、本機の Wi-Fi ランプを確認してください。 ：ネットワークは正しく接続されています。 (3 秒に 1 回点滅）：ネットワークは正しく接続されていません。無線ネットワークセットアップを構成し直す必要があります。
上記のすべての項目を確認し、試したが、それでも無線 LAN の設定を完了できない場合。	本機の電源を切り、再度電源を入れてください。その後、Wi-Fi 設定を再度構成してください。

ネットワーク経由で印刷できない
インストール完了後、ネットワーク上に本機が見つからない

質問	解決方法
セキュリティソフトウェアを使用していますか？	「セキュリティソフトウェアを使用している」（178 ページ）をご覧ください。
本機に使用可能な IP アドレスが割り当てられていますか？	■ IP アドレスとサブネットマスクを確認してください。 お使いのパソコンと本機の IP アドレスおよびサブネットマスクがすべて正しく、また同じネットワーク上にあることを確認してください。 IP アドレスとサブネットマスクを確認する方法についての詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください ■ プリンター設定ツールの [**通信設定**] で、IP アドレス、サブネットマスク、およびその他のネットワーク設定を確認してください。 「プリンター設定ツール」（49 ページ）をご覧ください。

ネットワーク経由で印刷できない
インストール完了後、ネットワーク上に本機が見つからない （続き）

質問	解決方法
前回の印刷ジョブが失敗しませんでしたか？	■ 失敗した印刷ジョブがまだコンピューターの印刷待ち行列にある場合は、削除してください。 次のフォルダーのプリンターのアイコンをダブルクリックし、[**プリンタ**] メニューで [**すべてのドキュメントの取り消し**] を選択してください。 (Windows Vista®/Windows Server® 2008) 、[**コントロールパネル**]、[**ハードウェアとサウンド**]、[**プリンター**] をクリックします。 (Windows® 7/Windows Server® 2008 R2) 、[**デバイスとプリンター**]、[**プリンターと FAX**] からプリンターを選択します。 (Windows® 8/Windows® 8.1/Windows Server® 2012/Windows Server® 2012 R2) [**アプリ**] 画面、[**コントロールパネル**]、[**ハードウェアとサウンド**]、[**デバイスとプリンター**]、[**プリンターと FAX**] からプリンターを選択します。
ブラザープリンターがネットワークに正しく接続されていますか？	RJ-3150 の場合、LCD で無線 LAN アイコンを確認してください。 ： ネットワークは正しく接続されています。 ： ネットワークは正しく接続されていません。無線ネットワークセットアップを構成し直す必要があります。 ： 無線ネットワーク設定が無効になっています。 RJ-3050 の場合、プリンターの Wi-Fi ランプを確認してください。 ：ネットワークは正しく接続されています。 (3 秒に 1 回点滅)：ネットワークは正しく接続されていません。無線ネットワークセットアップを構成し直す必要があります。
上記のすべての項目を確認し、試したが、それでも印刷できない場合。	プリンターのドライバーとソフトウェアをアンインストールし、再インストールしてください。

セキュリティソフトウェアを使用している

質問	解決方法
標準インストール時または BRAdmin Light インストール時、または印刷機能を使用したときに、セキュリティ警告ダイアログボックスの受諾を選択しましたか？	セキュリティ警告ダイアログボックスの受諾を選択していない場合、セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能はアクセスを拒否することがあります。セキュリティソフトウェアによっては、セキュリティ警告ダイアログボックスを表示しないでアクセスをブロックすることもあります。アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアのマニュアルをご覧になるか、メーカーに問い合わせてください。
ブラザーネットワーク機能にはどんなポート番号が必要ですか？	ブラザーネットワーク機能では、次のポート番号を使用します。 ■ BRAdmin Light → ポート番号 161/ プロトコル UDP ポートの開き方について詳細は、セキュリティソフトウェアのマニュアルをご覧になるか、メーカーに問い合わせてください。

ネットワーク機器に問題がないか確認する

質問	解決方法
本機、アクセスポイント / ルーター、またはネットワークハブがオンになっていますか？	「以下を最初に確認してください。」（174 ページ）のすべての説明書を確認してください。
IP アドレスなど、本機のネットワーク設定はどこを見ればよいですか？	[**プリンター設定ツール**] の [**通信設定**] を確認してください。 「プリンター設定ツール」（49 ページ）をご覧ください。
本機がネットワークに正しく接続されていますか？	RJ-3150 の場合、LCD で無線 LAN アイコンを確認してください。 ： ネットワークは正しく接続されています。 ： ネットワークは正しく接続されていません。無線ネットワークセットアップを構成し直す必要があります。 ： 無線ネットワーク設定が無効になっています。 RJ-3050 の場合、プリンターの Wi-Fi ランプを確認してください。 ■：ネットワークは正しく接続されています。 （3 秒に 1 回点滅）：ネットワークは正しく接続されていません。無線ネットワークセットアップを構成し直す必要があります。

19 付録 A

サポートされるプロトコルとセキュリティ機能

インターフェイス	無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n（インフラストラクチャーモード）
		IEEE 802.11b（アドホックモード）
ネットワーク (共通)	プロトコル (IPv4)	ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA (Auto IP), mDNS, WINS, NetBIOS name resolution, DNS Resolver, LPR/LPD, Custom Raw Port/Port9100, FTP Server, TFTP client and server, SNTP client, ICMP, LLMNR responder, SNMPv1/v2c
	プロトコル (IPv6)	NDP, RA, DNS Resolver, LPR/LPD, mDNS, Custom Raw Port/Port9100, FTP Server, SNMPv1, TFTP client and server, ICMP, LLMNR responder, SNMPv1/v2c
ネットワーク (セキュリティ)	無線 LAN	WEP 64/128 bit、WPA/WPA2-PSK、LEAP、EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、EAP-TLS

20 付録 B

ネットワーク接続およびプロトコルの種類

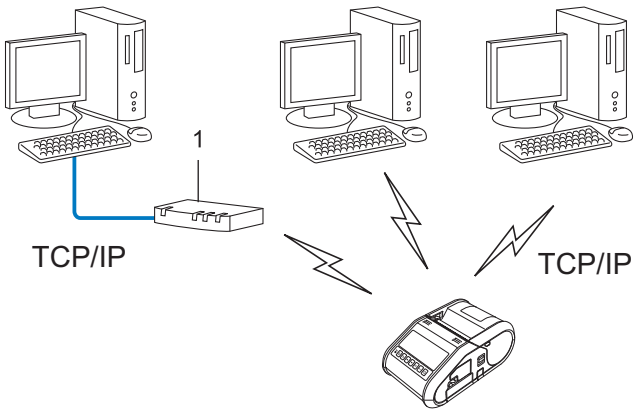
一般的なネットワーク構築および共通用語に加え、ブラザープリンターの高度なネットワーク機能について基本情報を提供します。

サポートされるプロトコルとネットワーク機能は、使用するモデルによって異なります。

ネットワーク接続方法について

TCP/IP を使用したピアツーピア印刷

ピアツーピア接続では、各コンピューターがお使いのプリンターと直接データを送受信します。ファイルの送受信を操作するサーバーやプリントサーバーなどは必要ありません。

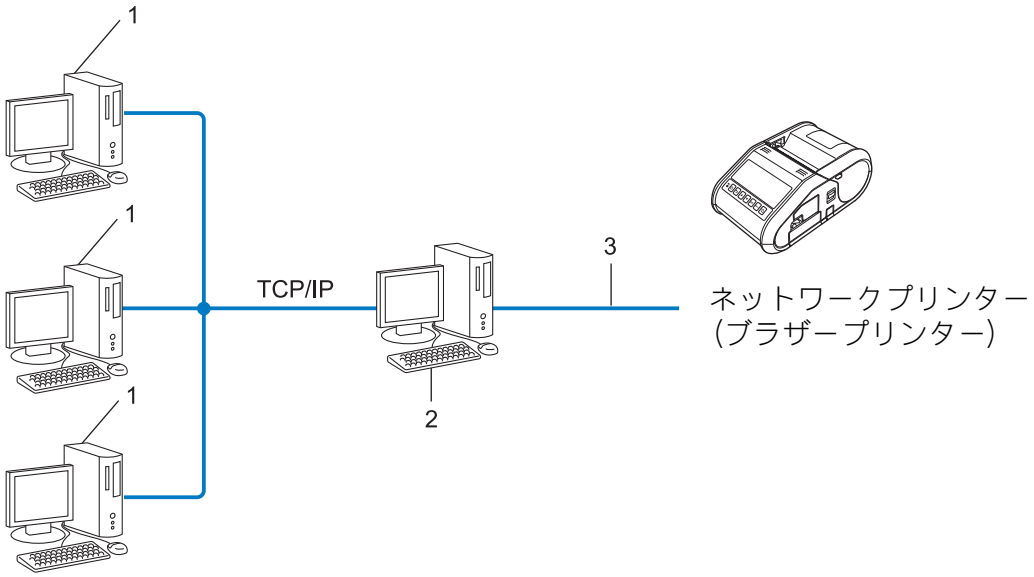


1 ルーター

- コンピューター 2、3 台程度の小規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷よりも簡単に設定できるピアツーピア印刷をお勧めします。「ネットワーク共有印刷」（181 ページ）をご覧ください。
- 各コンピューターに TCP/IP プロトコルの設定を行います。
- お使いのプリンターにも IP アドレスを設定する必要があります。
- ルーターをご使用の場合は、コンピューターとプリンターにゲートウェイアドレスの設定が必要です。

ネットワーク共有印刷

ネットワーク共有環境では、各コンピューターは中央制御されたコンピューターを介してデータを送信します。この種類のコンピューターは、通常「サーバー」または「プリントサーバー」と呼ばれます。すべての印刷ジョブの印刷を管理します。



1 クライアントコンピューター

2 「サーバー」または「プリントサーバー」とも言われます。

3 **TCP/IP** または **USB**

- 大規模なネットワークには、ネットワーク共有型の印刷環境を推奨します。
- 「サーバー」または「プリントサーバー」は TCP/IP 印刷プロトコルを使用する必要があります。
- サーバーまたはプリントサーバーに USB を経由して接続する場合以外は、お使いのプリンターに適切な IP アドレスを設定する必要があります。

ネットワークの設定について

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイについて

ネットワーク型 TCP/IP 環境でプリンターを使用するには、IP アドレスとサブネットマスクを設定する必要があります。プリントサーバーに割り当てる IP アドレスは、ホストコンピューターと同じ論理ネットワーク上にあることが必要です。同じ論理ネットワークにない場合は、サブネットマスクおよびゲートウェイアドレスを正しく設定する必要があります。

IP アドレスとは

IP アドレスとは、ネットワークに接続している各機器の住所に当たるものです。IP アドレスは、0 ～ 254 までの数字を「.（ピリオド）」で 4 つに区切って「192.168.1.3」のように表現します。

■ 例）ローカルネットワークでは、通常は最後の下線部の数字（ホストアドレス部）を変更します。

- 192.168.1.1
- 192.168.1.2
- 192.168.1.3

IP アドレスをプリントサーバーに割り当てる方法

ネットワークに DHCP/BOOTP/RARP サーバーがある場合は、プリントサーバーはそのサーバーから自動的に IP アドレスを取得します。

メモ

小規模なネットワークでは、DHCP サーバーはルーターも兼ねる場合もあります。

DHCP/BOOTP/RARP サーバーがない場合は、Automatic Private IP Addressing（APIPA）プロトコルが 169.254.0.1 から 169.254.254.254 までの範囲で IP アドレスを自動的に割り当てます。サブネットマスクは自動的に 255.255.0.0 に設定され、ゲートウェイアドレスは 0.0.0.0 に設定されます。

デフォルトでは、APIPA が有効になっています。APIPA プロトコルを無効にする場合は、BRAdmin Light またはウェブブラウザーを使用して無効化できます。

サブネットマスクとは

サブネットマスクはネットワーク通信を制限します。

■ 例）コンピューター 1 はコンピューター 2 と通信できます。

- コンピューター 1

  IP アドレス：192.168.1.2

  サブネットマスク：255.255.255.0

- コンピューター 2

  IP アドレス：192.168.1.3

  サブネットマスク：255.255.255.0

サブネットマスクに 0 が含まれている場合、アドレスのその部分に関しては、通信する機器を制限しないことを意味します。上記の例では、192.168.1.x.（x は 0 ～ 254 の数字）の IP アドレスが割り当てられたすべての機器と通信できることを表しています。

ゲートウェイ（ルーター）とは

ゲートウェイは、他のネットワークへの入口として動作し、ネットワークを介して伝送されたデータを正確な宛先に送信するネットワークポイントです。ルーターはゲートウェイに到着したデータの宛先を識別します。宛先が外部ネットワークにある場合、ルーターはデータを外部ネットワークに伝送します。ネットワークが他のネットワークと通信する場合、ゲートウェイ IP アドレスを設定する必要があります。
ゲートウェイ IP アドレスが不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

無線ネットワークの用語と概念

セキュリティ用語

認証と暗号化

ほとんどの無線ネットワークはある種のセキュリティ設定を使用しています。これらのセキュリティ設定は認証（装置が自らをネットワークに特定する方法）と暗号化（データがネットワークで伝送されたとき暗号化する方法）を定義します。**無線プリンターを構成する場合、これらのオプションを正しく指定しないと、無線ネットワークに接続できなくなります。**そのため、これらのオプションを構成する場合は注意が必要です。

個人無線ネットワーク用の認証と暗号化の方式

個人無線ネットワークは、たとえば、自宅で IEEE 802.1x をサポートしない無線ネットワークでプリンターを使用する小規模なネットワークです。

IEEE 802.1x をサポートする無線ネットワークでプリンターを使用する場合は、「エンタープライズ（無線ネットワーク）モードでの認証方式と暗号化について」（186 ページ）をご覧ください。

認証方式

■ オープンシステム

無線装置は認証なしにネットワークにアクセスできます。

■ 共有キー

無線ネットワークにアクセスするすべての装置が、既定の未公開キーを共有しています。

ブラザー無線プリンターは WEP キーを既定キーとして使用します。

■ WPA-PSK

Wi-Fi Protected Access Pre-shared キー（WPA-PSK）を有効にします。、WPA-PSK は、WPA-PSK 用の TKIP を使用して無線プリンターをアクセスポイントに関連付けることができます。

■ WPA2-PSK

Wi-Fi Protected Access Pre-shared キー（WPA2-PSK）を有効にします。WPA2-PSK は、WPA2-PSK（WPA-Personal）用の AES を使用して無線プリンターをアクセスポイントに関連付けることができます。

■ WPA/WPA2-PSK

Wireless Protected Access Pre-shared キー（WPA-PSK/WPA2-PSK）を有効にします。WPA-PSK/WPA2-PSK は、WPA-PSK 用の TKIP または WPA-PSK および WPA2-PSK（WPA-Personal）用の AES を使用して、無線プリンターをアクセスポイントに関連付けることができます。

暗号化方式

■ なし

暗号化方式は使用しません。

■ WEP

WEP(Wired Equivalent Privacy）を使用すると、データをセキュアキーで送受信します。

■ TKIP

TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）はパケットごとにキーミキシング、メッセージ完全性チェック、およびリキーイング機構を提供します。

■ AES

Advanced Encryption Standard（AES）は、対称キー暗号化を使用して強力なデータ保護を提供します。

[接続モード] を [アドホック] に設定する場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし
	WEP

[接続モード] を [インフラストラクチャー] に設定する場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし
	WEP
共有キー認証	WEP
WPA-PSK	TKIP
WPA2-PSK	AES
WPA/WPA2-PSK	TKIP
	AES

ネットワークキー

■ オープンシステム /WEP との共有キー

このキーは 64 ビットまたは 128 ビットの値で、ASCII または 16 進形式で入力する必要があります。

- 64（40）ビット ASCII：

  「WSLAN」など 5 文字のテキスト文字を使用します（大文字と小文字を区別します。）
- 64（40）ビット 16 進数：

  「71f2234aba」など、10 桁の 16 進数データを使用します。
- 128（104）ビット ASCII：

  「Wirelesscomms」など 13 文字のテキスト文字を使用します（大文字と小文字を区別します。）
- 128（104）ビット 16 進数：

  「71f2234ab56cd709e5412aa2ba」など、26 桁の 16 進数データを使用します。

■ WPA-PSK/WPA2-PSK と TKIP または AES、AES による WPA2

長さが 8 文字以上 63 文字までの Pre-Shared Key（PSK）を使用します。

エンタープライズ（無線ネットワーク）モードでの認証方式と暗号化について

エンタープライズモードとは、例えば、大規模な企業などの大規模な無線 LAN で、IEEE802.1x 認証方式をサポートしているモードです。IEEE802.1x 認証方式をサポートしている無線ネットワークで本機を使用する場合は、次の認証方式と暗号化方式を使用することができます。

認証方式

■ LEAP（無線ネットワーク用）

Cisco LEAP（Light Extensible Authentication Protocol）は Cisco Systems 社が開発しました。認証にユーザー ID とパスワードを使用します。

■ EAP-FAST

EAP-FAST（Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secured Tunnel）は Cisco Systems 社が開発しました。認証にユーザー ID とパスワード、および対称キーアルゴリズムを使用して、トンネル型の認証処理を実行します。

ブラザープリンターは次の内部認証方式をサポートします。

- EAP-FAST/NONE
- EAP-FAST/MS-CHAPv2
- EAP-FAST/GTC

■ PEAP

PEAP（Protected Extensible Authentication Protocol）は、Microsoft Corporation、Cisco Systems と RSA Security が開発しました。PEAP は、ユーザー ID とパスワードを送信するためにクライアントと認証サーバー間に、暗号化した SSL（Secure Sockets Layer）/TLS（Transport Layer Security）トンネルを作成します。PEAP はサーバーとクライアント間に相互認証を提供します。

ブラザープリンターは次の内部認証方式をサポートします。

- PEAP/MS-CHAPv2
- PEAP/GTC

■ EAP-TTLS

EAP-TTLS（Extensible Authentication Protocol Tunnelled Transport Layer Security）は Funk Software と Certicom が開発しました。EAP-TTLS は、ユーザー ID とパスワードを送信するために、クライアントと認証サーバー間に PEAP と同様の暗号化 SSL トンネルを作成します。EAP-TTLS はサーバーとクライアント間に相互認証を提供します。

ブラザープリンターは次の内部認証方式をサポートします。

- EAP-TTLS/CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAPv2
- EAP-TTLS/PAP

■ EAP-TLS

EAP-TLS（Extensible Authentication Protocol Transport Layer Security）では、クライアントと認証サーバーの両方でデジタル証明書の認証が必要です。

暗号化方式

■ TKIP

TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）はパケットごとにキーミキシング、メッセージ完全性チェック、リキーイング機構を提供します。

■ AES

Advanced Encryption Standard（AES）は、対称キー暗号化を使用して強力なデータ保護を提供します。

■ CKIP

Cisco Systems 社の LEAP 用のオリジナル Key Integrity Protocol

[接続モード] を [インフラストラクチャー] に設定する場合

認証方式	暗号化方式
LEAP	CKIP
EAP-FAST/NONE	TKIP
	AES
EAP-FAST/MS-CHAPv2	TKIP
	AES
EAP-FAST/GTC	TKIP
	AES
PEAP/MS-CHAPv2	TKIP
	AES
PEAP/GTC	TKIP
	AES
EAP-TTLS/CHAP	TKIP
	AES
EAP-TTLS/MS-CHAP	TKIP
	AES
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	TKIP
	AES
EAP-TTLS/PAP	TKIP
	AES
EAP-TLS	TKIP
	AES

ユーザー ID およびパスワード

次のセキュリティ方式は長さが 64 文字以下のユーザー ID と 32 文字以下のパスワードをサポートします。

- LEAP
- EAP-FAST
- PEAP
- EAP-TTLS
- EAP-TLS（ユーザー ID 用）